

2026年度 大学院学生募集要項

〔医療福祉学研究科〕

- ◆修士課程 保健医療学専攻
医療福祉経営専攻
臨床心理学専攻
- ◆博士課程 保健医療学専攻

〔薬科学研究科〕

- ◆修士課程 生命薬科学専攻

〔薬学研究科〕

- ◆博士課程 医療・生命薬学専攻



国際医療福祉大学大学院

医学研究科の募集要項は別冊です。

目次

はじめに

- アドミッション・ポリシー P. 1
- 出願準備から入学までの流れ P. 3
- 研究指導教員の選定と事前相談について P. 4
 - 研究指導教員の選定
 - 研究指導教員との事前相談
 - 諸注意
 - その他
- 募集専攻・分野・領域一覧 P. 5
- 受講地く社会人が学びやすい本学大学院の特長＞・キャンパスの所在地について P. 9
 - 受講地について P. 9
 - キャンパスの所在地と連絡先 P. 10

入試情報

- 入試日程一覧 P. 14
- 医療福祉学研究科
 - 修士課程
 - 保健医療学専攻 P. 21
 - 医療福祉経営専攻 P. 36
 - 臨床心理学専攻 P. 47
 - 博士課程
 - 保健医療学専攻 P. 51
- 薬科学研究科
 - 修士課程
 - 生命薬科学専攻 P. 58
- 薬学研究科
 - 博士課程
 - 医療・生命薬学専攻 P. 61

共通事項

- 「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」 P. 66
- 学生納付金 P. 67
- 出願・受験・入学手続
 - 出願上の留意事項 P. 71
 - 感染症に関する注意事項 P. 71
 - 身体等に障害のある志願者について P. 71
 - 出願締切日および入学試験 P. 71

- 入学検定料の納入方法 P. 72
- 受験上の注意 P. 73
- 合格発表 P. 73
- 入学手続 P. 73
- 留学生の入学手続 P. 73
- 在留資格認定証明書交付申請について P. 73
- 入学辞退 P. 73
- 長期履修について P. 74
- 奨学金 P. 75
- 修学資金・学資ローン P. 75
- 個人情報の取り扱いについて P. 75
- 教育充実基金（寄付金）のお願い P. 75

■ 大学院Q&A P. 76

- 出願資格審査 手続フローチャート P. 80
- 学内推薦入試 手続フローチャート P. 80

■ 志願票等の記入方法

- 志願票 P. 81
- 留学生個人票 P. 83

■ 入学・卒業年度早見表 P. 85

【本学大学院の教育理念】

国際医療福祉大学は、「人間中心の大学」、「社会に開かれた大学」、「国際性を目指した大学」という3つの基本理念と、この理念を実現するための7つの教育理念（人格形成、専門性、学際性、情報科学技術、国際性、自由な発想、新しい大学運営）とを掲げ、病む人も、障害のある人も、元気な人も、互いに互いを尊敬しあいながら「共に生きる社会」の実現を目指した教育を行っている。

国際医療福祉大学大学院（以下「本大学院」という。）は、上記の基本理念と教育理念とを踏まえながら、学校教育法が大学院の目的として「高度の専門性が求められる職業についてそれを担うための深い学識と卓越した能力を培うこと」及び「学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめること」の2つを掲げていることを念頭に置いて、保健医療福祉分野において、特に国際性を身につけた指導的な専門職業人を養成することを目指している。

とくに修士課程では、「保健医療福祉の分野において他分野を理解し、連携することのできる高度専門職または研究職」を育成することをめざし、博士課程では、「保健医療福祉の分野において高度な研究能力を有し指導者の役割を果たすことのできる人材」を育成することを目標にしている。

本大学院教育は以上の趣旨を踏まえ、この目標を達成するため、以下に示す大学院における4つの教育理念を掲げる。

1. 専門性：修士課程では、大学を卒業した保健・医療・福祉分野の専門職またはこれに準じる人々に高度かつ先進的な専門教育の場を提供することにより、高度専門職を養成する。また博士課程の学生、および修士課程でも研究者を志す学生には、徹底した研究指導を行う。
2. 学際性：種々の領域の講義を聴講できる、あるいは他領域の教員や学生と討論を行うことができる場の提供により、保健・医療・福祉分野の幅広い視野を持つ専門職の養成に努める。
3. 学術性：各教員が、日進月歩する保健・医療・福祉の高度化・専門分化に対応した教育と研究の推進に努める。
4. 利便性：働きながらでも学修できる授業時間割編成、同時双方向遠隔授業やeラーニングなど多様なメディア授業を高度に利用した授業の導入などにより、従来なら時間的、空間的制約のため大学院教育を受けられなかった社会人に対して大学院教育の門戸を開く。

近年、わが国の保健医療福祉は、内容的にも社会制度的にも大きな変革を重ねてきており、この変革を国際的な視野に立ってより良く担う実践家及び教育・研究者を育てることへの需要が増してきている。

従って本大学院は、多様化する保健医療福祉分野の需要に対応できる、国際性を身につけた、指導的な専門職業人の養成を実現すべく、年齢を問わず、また学生であるか社会人であるかを問わず、生涯にわたって学習の機会を提供し、このような社会的な需要に応える教育を展開するものである。

【国際医療福祉大学大学院アドミッション・ポリシー】

大学の基本理念・教育理念および大学院の教育理念をふまえて、本大学院が入学者に求める要件は、以下のとおりである。

1. 国際医療福祉大学の基本理念と教育理念とを十分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を有していること。そのための豊かで幅広い人間性と高い倫理的責任感を有し、生命の尊厳を尊重できる感性を有すること。
2. 保健・医療・福祉の専門分野でトレーニングを受けるための基礎知識を有し、研究や実践を通じて自らの能力を活かそうとする強い意欲と積極性を有すること。
3. 大学院の勉学における自らの目的を明確に意識していること。すなわち保健・医療・福祉分野における課題への追求意欲を持ち、自己啓発に積極的であること。

4. 個別的な知識を統合し、科学的エビデンスを分析できる論理的思考力を持ち、実践家又は教育・研究者としての自立性を志向する者であること。
5. 保健・医療・福祉の発展に寄与する意欲を有し、生涯にわたり専門職としての社会への貢献と後進の指導を行うことを目指していること。
6. 志望分野が特定の要件を要求する場合、それを満たしていること。

各研究科が入学者に求める学生像は、大学院が入学者に求める要件をふまえ以下のとおりである。

●医療福祉学研究科

医療福祉学研究科では、医療福祉の各分野における高度な研究開発能力を備え、また高度な専門技術の実践を担う人材を育成することを目的としており、入学者に求める学生像は、以下のとおりである。

- 1) 保健医療福祉分野において国際的視野に立ち、多様化する保健医療福祉の需要に対応できる高度な専門職業人を目指す者であること。
- 2) 保健医療福祉分野において専門職業人として活躍しうる基本的知識と能力を備え、様々な医療福祉上の問題に対して積極的に取り組む姿勢を示す者であること。
- 3) 学術研究と臨床実践をバランス良く推進して、将来保健医療福祉分野のリーダーとして活躍しうる指導的な専門職業人として成長してゆく意欲を有する者であること。
- 4) 保健医療福祉分野の知識を礎として、自らの研究分野において課題解決に向けて積極的に研究を実施する意志を有する者であること。

各専攻では入学者選考において、以下の点が問われる。

【保健医療学専攻（修士課程及び博士課程）】

本専攻の修士課程では、保健医療の分野における高度な専門家（研究者、教育者、高度専門職業人）の育成を目的としている。

本専攻では看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、福祉支援工学、放射線・情報科学、臨床検査学、及びその他保健医療等を構成する各種の学術に関し、保健医療学に関する基本的な知識を礎として、論理的思考過程や研究能力を習得し、健康の増進や疾病の克服に寄与しようとする意欲のある者を求めている。さらに、自領域を超えた視野を持ち連携を図る力を高め、保健医療の各分野において高い学識を有する指導者として分野の発展に貢献する意欲のある者を求めている。

また時代の新たな需要に応え、特定行為看護師、生殖補助医療胚培養士、助産師、遺伝カウンセラーなどの高度専門職の分野に置いて実践的に大いに活躍する意欲を有する者を求めている。

本専攻の博士課程では、保健医療の各分野における先進的研究を推進する研究者の養成を目的とし、独創的研究能力を有する者を求めている。また国内外において指導者としてそれぞれの分野で指導的な役割を果たし、分野の発展に貢献する意欲を有する者を求めている。

【医療福祉経営専攻（修士課程）】

本専攻においては、医療福祉機関の管理運営及び福祉の提供に関し、研究開発又は高度専門技術の実践を担う人材を育成することを目的としている。

本専攻は、深い学識と能力をもつ人材を送り出すことを目的としており、医療と福祉をさまざまな角度から学ぶことで、つねに時代の要請に応えられる人材として社会に貢献しようとする意欲を持つ者を求めている。医療介護福祉の現場の実践者として、医療事業の経営管理や診療情報アナリストとして、あるいは医療ジャーナリストや医療通訳者として、改めて医療福祉をとらえ直し自己研鑽を図ろうとする意欲を有する者を求めている。

【臨床心理学専攻（修士課程）】

本専攻においては、臨床心理学の分野における研究能力を備え、医療、福祉、教育、司法・矯正、労働・産業などの分野に関し、今日的な社会的要請に応えうる臨床心理の実践を担う人材を育成することを目的とする。

本専攻では、研究者や教育者はもとより、本学の特色である他分野の専門職と協働して医療福祉に貢献でき、そして現代社会のニーズに応えることのできる高度専門職業人としての臨床心理士を目指す意欲を有する者を求めている。また、本学大学院では、公認心理師の資格取得を目指す者も対象としている。

●薬学研究科**【医療・生命薬学専攻（博士課程）】**

- 1) 国際医療福祉大学の基本理念と教育理念とを十分に理解し、高い倫理観を持った高度専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を有する者であること。
- 2) 薬学分野の先端研究を国際的に推進する意欲と語学能力を有しており、高度な修練実施により薬学または薬物治療上の問題に対して積極的に取り組む意欲を示す者であること。
- 3) 薬学研究者または高度専門職業人としての自覚を持ち、大きく変貌を遂げる薬学の未来を担う意欲を示す者であること。
- 4) 多様化する薬学の需要に指導的立場で対応できる薬学研究者または高度専門職業人を目指し、薬学や医療福祉分野の発展に貢献したいという強い意志を有する者であること。
- 5) 薬剤師として医療や薬学研究・教育の現場において、常に自己研鑽に務め、薬物療法の発展に係わる目的を有する者であること。

●薬科学研究科**【生命薬科学専攻（修士課程）】**

- 1) 国際医療福祉大学の基本理念と教育理念とを十分に理解し、高い倫理観を持って薬学研究者または高度専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を有する者であること。
- 2) 薬学分野の先端研究を推進し、研究の実施により薬学または臨床上の問題に対して積極的に取り組む問題解決能力を醸成する意思を持つ者であること。
- 3) 薬学研究者または高度専門職業人としてライフサイエンス分野における高度の研究を実施し、医薬品開発に携わる研究者・技術者さらに薬学・環境行政や教育者を目指す者であること。
- 4) 多様化する薬学の需要に対応できる薬学研究者または高度専門職業人を目指し、薬学の発展に貢献したいという強い意志を有する者であること。
- 5) 臨床や医薬品開発研究の現場で問題点を抽出した上で、自らの研究分野において自らの専門性を持って探求し、質の高い薬学研究に寄与する意志を有する者であること。

1. 入試区分は以下のとおりである。

- 1) 一般入試：各専攻・分野の出願基準を満たしていれば、誰でも出願できる。
- 2) 社会人入試：一般入試の出願資格を満たし、かつ各分野が指定する年数以上の職務経験がある者などを対象として施行する。
- 3) 留学生入試：本大学院への出願資格を満たし、入学時まで「留学」の在留資格が得られる日本以外の国籍を有する者を対象として施行する。
- 4) 学内推薦入試：国際医療福祉大学卒業（見込）者、国際医療福祉大学大学院修了（見込）者を対象として施行する。

分野・専攻によっては一部の入試区分を用いて入試を実施する。その要項については別に定める。

2. 出願資格は原則として以下のとおりである。

- 1) 修士課程においては、4年制大学を卒業した（卒業見込みを含む）あるいは学士の学位を授与された（授与見込みを含む）者、または入学時点で満22歳以上であり本大学院による出願資格審査において4年制大学を卒業同等以上と認められた者。
 - 2) 博士課程においては、医療福祉学専攻科では修士の学位または専門職学位を取得した者（取得見込みを含む）、薬学専攻科では薬学部を卒業した者（卒業見込みを含む）、医学専攻科では修士の学位を取得した者（取得見込みを含む）または6年制の課程（医学、歯学、獣医学、薬学）を卒業した者（卒業見込みを含む）。
- 出願資格の詳細については別に定める。なお、志望分野が特定の要件を要求する場合、それを満たしている必要がある。

3. 選抜方法は以下のとおりである。

- 1) 分野・専攻によってそれぞれ試験日および試験場（キャンパス）を設定して入試を実施する。
- 2) 試験は学力、人物などを総合的に評価して実施する。その要項については別に定める。

はじめに ▶ 出願準備から入学までの流れ

1

学びたい内容を明確にする

○大学院に通う目的や研究したいテーマを明確にしてください。

2

志望する専攻・分野・領域（コース）を検討し、受講するキャンパスを選択する

→P.5～11

○自分の志望にあてはまる専攻・分野・領域（コース）をP.5～8で確認してください。
○P.9～11を参考に入学後の受講希望キャンパスを選んでください。
分野・専攻によっては開講キャンパスを限定しています。必ずP.9の（受講地について）をご確認ください。

3

出願資格および選抜方法を確認する

→P.14～64

○P.14～64を参考にし出願資格を確認し、出願する入試区分、および選抜方法等をよく確認してください。
<入試区分について>
一般入試：各専攻・分野の出願資格を満たしていれば、どなたでも出願できる入試です。
社会人入試：一般入試の出願資格を満たし、かつ各分野が指定する年数以上の職務経験がある方等を対象とした入試です。
留学生入試：本大学院への出願資格を満たし、入学時までに「留学」の在留資格が得られる日本以外の国籍を有する方を対象とした入試です。
学内推薦入試：国際医療福祉大学卒業（見込）者、国際医療福祉大学大学院修了（見込）者、福岡国際医療福祉大学卒業（見込）者を対象とした入試です。
分野・専攻によっては一部の入試区分でのみ、試験を実施しています。要項をよくご確認ください。

4

研究指導教員を選定し、事前相談を行う（出願資格審査）

→P.4

○研究指導教員の選定と事前相談の方法については、P.4を参照してください。
<研究指導教員とは>
学位論文・課題研究の指導を受ける教員のことをいい、その教員の指示にしたがって授業科目を履修し、研究指導を受けることになります。
（修士課程 臨床心理学専攻は、入学後に研究指導教員を決定しますので、事前相談を行う必要はありません。）
※出願資格審査を要する方は、ここで審査を行います（一部の分野を除く）。

5

出願書類を準備する（所定用紙はホームページよりダウンロード）

→P.14～64、→P.81～83

○各分野の「出願書類」の項目を参考にし、出願書類を不足なく準備してください。
※志願票を記入する際は、P.81～83志願票等の記入方法を参照してください。
○志望する課程・専攻・分野、入試区分、出願資格によって出願書類が異なる場合がありますので、注意してください。
○作成・取り寄せに時間がかかる書類もありますので、早めに準備してください。
※志願票等の所定用紙は本学ホームページ（<https://www.uhwh.ac.jp/daigakuin/>）からダウンロードし、A4縦の用紙に印刷してご利用ください。

6

入学検定料を納入する

→P.72

○出願書類を送付する前に、入学検定料を納入してください。
詳細はP.72を参照してください。

7

出願書類を提出する

→P.71

○出願書類を準備し、必要書類が全て揃ったら、本学東京赤坂キャンパス入試事務室の宛先を明記した封筒で提出してください。
○出願期間は専攻・分野によって異なりますので、注意してください。
（出願資格審査にて出願の許可を得た方は出願書類とともに、必要な書類を提出してください。）

8

試験日について

→P.14～20

試験日は、専攻・分野によって異なります。
○募集要項上で決められた試験日がある専攻・分野は、その日程に沿って試験を実施します。
○試験日が決められていない専攻・分野は、出願書類到着後、本学東京赤坂キャンパス入試事務室から主にメールにて個別に試験日調整の連絡をします。

9

受験票を受け取る

○試験日や試験場を記載した受験票を本学東京赤坂キャンパス入試事務室から郵送します。受験票の記載事項に誤りがないか必ず確認してください。

10

入学試験

→P.14～64

○試験科目、選抜方法については各分野の「選抜方法」の項目を参照し、指定された科目を受験してください。

11

合格発表・入学手続

→P.73

○合格発表および入学手続についてはP.73を参照してください。合格者には合格通知書とともに入学手続書類を郵送します。入学手続締切日まで「学生納付金」を納入の上、入学手続書類を郵送してください。入学手続完了者には、入学手続期間終了後、入学許可証を発行します。

12

入学（4月）

○入学手続完了者には、3月末頃に、入学式およびオリエンテーション等の案内をお知らせします。

はじめに ▶ 研究指導教員の選定と事前相談について

研究指導教員の選定

志望分野・領域(コース)、受講希望地を選定後、**本学ホームページ**を参照の上、研究指導教員を選定してください。

<研究指導教員とは>

研究指導教員とは、学位論文・課題研究の指導を受ける教員のことをいい、その教員の指示にしたがって授業科目を履修し、研究指導を受けることになります。受講を希望するキャンパスに関わらず、本学の全キャンパスの教員が研究指導教員の対象となります。ただし、研究指導教員が主として常駐するキャンパスによって対面指導の受け方は様々な形態が考えられますので、詳細は事前相談の際に研究指導教員に直接確認してください。

研究指導教員との事前相談

志望分野・領域(コース)、受講希望地、研究指導教員を選定後、**出願前に**、必ず事前相談を行い、出願の許可を得てください。

※修士課程 臨床心理学専攻は、入学後に研究指導教員を決定しますので、事前相談を行う必要はありません。

【事前相談の進め方および主な相談内容】

- ①本学ホームページを参照の上、各自、選定した研究指導教員または各分野の窓口担当教員に、メール等で直接連絡をする。
- ②本大学院への進学の意志を伝え、研究テーマや修学にあたっての留意事項、自身で確認したいこと等を教員に相談する。

<事前相談内容の例>

- ・大学院で学びたい研究内容やテーマとその研究指導教員の専門領域との一致性
- ・研究指導教員の研究指導方針および方法
- ・研究指導教員の授業時間帯や必要となる出席時間数の目安
- ・他の教員の授業を含めた履修の全体的なイメージ
- ・在職者であれば、勤務と受講の両立の可否
- ・その他、本大学院に関わる事項
- ・出願資格審査

※出願資格審査を申請する場合は「出願資格審査申請書」を提出してください(一部の分野を除く)。

- ③事前相談で研究指導教員から出願の許可を得た後、出願書類を提出する。

諸注意

- 研究指導教員によっては、メール等で連絡の後、直接面談を行う場合もあります。
- 複数の研究指導教員に相談してもかまいません。
- 希望した研究指導教員と連絡が取れない場合、受講希望キャンパスの事務担当者(P.10、11【キャンパスの所在地と連絡先】を参照)、もしくは東京赤坂キャンパス入試事務室までご連絡ください。
- 事前相談は随時受け付けていますが、出願期間締切に間に合うように余裕をもって事前相談を完了してください(出願受付期間は、専攻・分野により異なります。P.14~20を参照)。

その他

以下の相談については研究指導教員以外でも相談に応じます。

- 分野の教育内容等に関する相談
各分野の窓口担当教員(本学ホームページ参照)
- キャンパス事情や受講上の注意事項
各キャンパス事務担当者(P.10、11【キャンパスの所在地と連絡先】を参照)
- 出願書類の記載方法や入学試験全般
東京赤坂キャンパス入試事務室
(TEL: 03-5574-3903 FAX: 03-5574-3901 E-mail: daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp)
- カリキュラムについて
東京赤坂キャンパス事務室
(TEL: 03-5574-3900 E-mail: tokyo.s.c@ihwg.jp)

はじめに ▶ 募集専攻・分野・領域一覧

研究科	課程	専攻	募集人員	取得できる学位
医療福祉学研究科	修士課程	保健医療学専攻	200名 募集人員には、以下の人員を含む 看護学分野公衆衛生看護学領域 (実践(保健師)コース) 15名 特定行為看護師養成分野 25名 助産学分野(大田原・東京赤坂) 20名	修士(保健医療学)、修士(看護学) 修士(助産学)、修士(言語聴覚学) 修士(生殖補助医療学) 修士(医療福祉教育・管理学) 修士(臨床検査学) 修士(災害医療学) 修士(遺伝カウンセリング学)
		医療福祉経営専攻	50名	修士(医療福祉学)、修士(診療情報管理学) 修士(医療ビジネス経営学) 修士(医療福祉管理学) 修士(介護福祉・ケアマネジメント学) 修士(自立支援介護学) 修士(自立支援実践ケアマネジメント学) 修士(医療福祉ジャーナリズム学) 修士(医療通訳・国際医療マネジメント学)
		臨床心理学専攻	35名	修士(臨床心理学)
	博士課程	保健医療学専攻	80名	博士(保健医療学)、博士(看護学) 博士(助産学)、博士(言語聴覚学) 博士(生殖補助医療学) 博士(医療福祉教育・管理学) 博士(臨床検査学)、博士(災害医療学) 博士(医療福祉経営学) 博士(医療福祉学)、博士(医療遺伝学) 博士(診療情報管理学) 博士(介護福祉・ケアマネジメント学) 博士(医療福祉ジャーナリズム学) 博士(臨床心理学)
		生命薬科学専攻	5名	修士(薬科学)
		医療・生命薬学専攻	5名	博士(薬学)
薬科学研究科	修士課程	生命薬科学専攻	5名	修士(薬科学)
薬学研究科	博士課程	医療・生命薬学専攻	5名	博士(薬学)

【医療福祉学研究科】

◆修士課程へ出願にあたっての注意

- ・出願にあたっては、P.5～6の表から志望する分野・領域(コース)を一つ選ぶこと。
- ・本学ホームページを参照の上、自らの目的・研究テーマと合致する研究指導教員を選び、出願前に、必ず個別に事前相談を行うこと(修士課程 臨床心理学専攻を除く)。
- ※各教員の研究テーマおよび事前相談の連絡先については、本学ホームページを参照のこと。
- ※事前相談の進め方については、P.4参照のこと。

◆修士課程 保健医療学専攻

分野	領域〔コース〕	
看護学	看護管理・政策学領域	老年看護学領域
	看護教育学領域 〔CNEコース〕 ※東京赤坂キャンパスのみ	がん看護学領域 〔専門看護師(CNS)コース〕 ※東京赤坂キャンパスのみ
	感染管理・感染看護学領域 〔研究コース〕 〔専門看護師(CNS)コース〕 ※東京赤坂キャンパスのみ	周麻酔期看護学領域
	精神看護学領域 〔研究コース〕 〔専門看護師(CNS)コース〕 ※東京赤坂キャンパスのみ	家族看護学領域
	リプロダクティブヘルス看護学領域	在宅看護学領域 〔研究コース〕 〔専門看護師(CNS)コース〕 ※東京赤坂キャンパスのみ
	小児看護学領域	公衆衛生看護学領域 〔研究コース〕 〔実践(保健師)コース〕 ※東京赤坂キャンパスのみ
	成人看護学領域	
	国際看護学領域	
特定行為看護師養成*	特定行為看護師養成領域 ※東京赤坂キャンパスのみ	
助産学	助産学領域 〔修士論文コース〕 ※大田原・東京赤坂キャンパスのみ 〔実践(有資格者)コース〕	
理学療法学	基礎理学療法学領域	応用理学療法学領域
作業療法学	作業活動分析学領域	作業活動支援学領域
言語聴覚	言語聴覚障害学領域	発声発語・嚥下障害学領域
視機能療法学	視機能療法学領域	
福祉支援工学	福祉支援工学領域	福祉用具管理指導者領域 〔福祉用具管理指導者コース〕 ※東京赤坂キャンパスのみ 〔福祉用具コース〕
リハビリテーション学	リハビリテーション学領域	

募集専攻・分野・領域一覧

分野	領域〔コース〕	
放射線・情報科学	医用画像学領域 〔基盤研究コース〕 〔医学物理コース〕	放射線治療学領域 〔基盤研究コース〕 〔医学物理コース〕
生殖補助医療胚培養	生殖補助医療胚培養領域	
医療福祉教育・管理	医療福祉教育・管理領域 〔修士論文コース〕 〔1年修了コース〕	
臨床検査学	臨床検査学領域 ※大田原・成田・大川キャンパスのみ 〔先端医学検査コース〕 〔細胞検査士養成コース〕	
災害医療	災害医療領域 ※東京赤坂キャンパスのみ	
遺伝カウンセリング	遺伝カウンセリング領域 ※東京赤坂キャンパスのみ	
医療機器イノベーション	医療機器イノベーション領域 ※大田原・成田・東京赤坂・大川キャンパスのみ	

* 厚生労働省 特定行為に係る看護師の研修制度 準拠

◆修士課程 医療福祉経営専攻

分野	領域〔コース〕	
医療経営管理	医療経営管理領域 ※医療経営管理分野の共通科目は東京赤坂キャンパスのみで開講 〔医療経営戦略コース(h-MBAコース)〕 ※東京赤坂キャンパスのみ 〔医療福祉管理学コース(研究コース)〕	
診療情報アナリスト養成	診療情報アナリスト養成領域 ※東京赤坂キャンパスでの集中講義あり 〔実践コース〕 〔研究コース〕	
先進的ケア・ネットワーク開発研究	介護福祉・ケアマネジメント学領域 自立支援介護学領域* ※東京赤坂キャンパスのみ	自立支援実践ケアマネジメント学領域* ※東京赤坂キャンパスのみ
医療福祉学	医療福祉学領域	
医療福祉ジャーナリズム	医療福祉ジャーナリズム領域	
医療通訳・国際医療マネジメント	医療通訳・国際医療マネジメント領域 〔1年修了コース(英語)〕 ※東京赤坂キャンパスのみ 〔1年修了コース(中国語)〕 ※東京赤坂キャンパスのみ 〔修士論文コース〕 ※東京赤坂・成田キャンパスのみ	

* 1年で修了するコースです。

◆修士課程 臨床心理学専攻 ※東京赤坂キャンパスのみ 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会 第1種指定大学院

- 修士課程 臨床心理学専攻では、入学後に研究指導教員を決定するため、出願の際に事前相談を行う必要はありません。
- 修士課程 臨床心理学専攻は、分野・領域に分かれていません。

◆博士課程 保健医療学専攻

博士課程へ出願にあたっての注意

- ・出願にあたっては、下表から志望する分野・領域を一つ選ぶこと。
- ・本学ホームページを参照の上、自らの目的・研究テーマと合致する研究指導教員を選び、出願前に、必ず個別に事前相談を行うこと。

※各教員の研究テーマおよび事前相談の連絡先については、本学ホームページを参照のこと。

※事前相談の進め方については、P.4参照のこと。

分野	領域	
看護学	看護管理・政策学領域	小児看護学領域
	看護教育学領域	成人看護学領域
	感染管理・感染看護学領域	老年看護学領域
	精神看護学領域	家族看護学領域
	リプロダクティブヘルス看護学領域	在宅看護学領域
	管理実践看護学領域（DNPコース）	公衆衛生看護学領域
助産学	助産学領域	
理学療法学	基礎理学療法学領域	応用理学療法学領域
作業療法学	作業活動分析学領域	作業活動支援学領域
言語聴覚	言語障害学領域	発声発語・嚥下障害学領域
	聴覚障害学領域	
視機能療法学	視機能療法学領域	
福祉支援工学	福祉支援工学領域	
リハビリテーション学	リハビリテーション学領域	
放射線・情報科学	医用画像学領域	放射線治療学領域
生殖補助医療胚培養	生殖補助医療胚培養領域	
医療福祉教育・管理	医療福祉教育・管理領域	
臨床検査学	臨床検査学領域 ※大田原・成田・大川キャンパスのみ	
災害医療	災害医療領域 ※東京赤坂キャンパスのみ	
医療遺伝学	医療遺伝学領域 ※東京赤坂キャンパスのみ	
医療福祉経営学	医療福祉経営学領域	
診療情報管理・分析学	診療情報管理・分析学領域	
先進的ケア・ネットワーク開発研究	介護福祉学領域	ケアマネジメント学領域
医療福祉学	医療福祉学領域	
医療福祉ジャーナリズム	医療福祉ジャーナリズム領域	
臨床心理学	臨床心理学領域 ※東京赤坂キャンパスのみ	

募集専攻・分野・領域一覧

<薬科学研究科／薬学研究科へ出願にあたっての注意>

- ・薬科学研究科の出願にあたっては、下表から志望する分野・領域を一つ選ぶこと。
- ・入試区分・志望分野にかかわらず、薬科学研究科および薬学研究科の出願を希望する場合は、出願前に必ず以下の教員と事前相談を行うこと。

【大田原・東京赤坂キャンパス】

<連絡先> 清水貴壽（しみずたかひさ）准教授

TEL：0287-24-3481（薬学事務室） E-mail：shimizut@ihwg.jp

【成田キャンパス】

<連絡先> 佐藤忠章（さとうただあき）教授

E-mail：tsatou@ihwg.jp

【大川キャンパス】

<連絡先> 阿部義人（あべよしと）教授

TEL：0944-32-6100（学科事務室） E-mail：y_abe@ihwg.jp

※事前相談の進め方については、P.4参照のこと。

【薬科学研究科】

◆修士課程 生命薬科学専攻 ※大田原・成田・東京赤坂・大川キャンパスのみ

分 野	領 域	
生 命 薬 学	生命薬学領域	
医 療 薬 学	がん薬物療法学領域	臨床薬学領域

【薬学研究科】

◆博士課程 医療・生命薬学専攻 ※大田原・成田・東京赤坂・大川キャンパスのみ

はじめに ▶ 受講地<社会人が学びやすい本学大学院の特長>

【受講地について】

- 出願するにあたっては、P.9～11を参考に入学後の受講希望地を7つのキャンパスから選択してください。
- 以下の専攻・分野・領域(コース)については、受講できるキャンパスが限られていますのでご注意ください。原則として、開講されているキャンパス以外では受講できません。

修士課程	看護学分野 公衆衛生看護学領域〔実践(保健師)コース〕	東京赤坂キャンパスのみでの開講	
	看護学分野 全ての専門看護師(CNS)コース		
	看護学分野 看護教育学領域(CNEコース)		
	特定行為看護師養成分野		
	福祉支援工学分野 福祉用具管理指導者領域〔福祉用具管理指導者コース〕		
	災害医療分野		
	遺伝カウンセリング分野		
	医療経営管理分野〔医療経営戦略コース(h-MBAコース)〕		
	先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 自立支援介護学領域		
	先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 自立支援実践ケアマネジメント学領域		
	医療通訳・国際医療マネジメント分野〔1年修了コース〕		
	臨床心理学専攻		
	医療通訳・国際医療マネジメント分野〔修士論文コース〕		東京赤坂・成田キャンパスのみでの開講
	助産学分野		大田原・東京赤坂キャンパスのみでの開講
	臨床検査学分野〔先端医学検査コース〕〔細胞検査士養成コース〕		成田・大川・大田原キャンパスのみでの開講
生命薬科学専攻	東京赤坂・大田原・大川・成田キャンパスのみでの開講		
医療機器イノベーション分野	大田原・成田・東京赤坂・大川キャンパスのみでの開講		

- 医療経営管理分野 医療経営戦略コース(h-MBAコース)と医療福祉管理学コース(研究コース)の共通科目は、東京赤坂キャンパスのみでの開講です。
- 診療情報アナリスト養成分野(全コース)は教室での演習授業、土曜日または日曜日・祝日などの休日に、東京赤坂キャンパスで集中講義形式で行います。詳細日程は入学時のオリエンテーションにて説明する予定です。

博士課程	看護学分野 管理実践看護学領域(DNPコース)	東京赤坂キャンパスのみでの開講
	災害医療分野	
	医療遺伝学分野	
	臨床心理学分野	成田・大川・大田原キャンパスのみでの開講
	臨床検査学分野	
	医療・生命薬学専攻	

※その他、分野・コースにより受講形態が定められている場合がありますので、事前相談時に、よく確認してください。

<社会人が学びやすい本学大学院の特長>

全国7都市(栃木県大田原市・千葉県成田市・東京都港区・神奈川県小田原市・静岡県熱海市・福岡県福岡市・福岡県大川市)にキャンパスがある本学大学院は、平日の夕方以降や土日祝日に授業を集約したカリキュラムとさまざまなICT教育ツールにより、全国の社会人の学びを支援しています。

ICT教育ツール

- 1 自宅など、どこからでも手軽に授業や研究指導を受けられる、Webコミュニケーションツール
- 2 通勤・休憩時間など、いつでもどこでも自分の都合に合わせて学修できる、eラーニングシステム
- 3 多数のコンテンツで保健・医療・福祉を幅広く学べる、VODライブラリー



キャンパスの所在地について

【キャンパスの所在地と連絡先】

それぞれのキャンパスによって受講環境は異なります。
受講上の注意事項などをあらかじめ各キャンパスの事務担当者にお問い合わせください。

<東京都> **東京赤坂キャンパス**

所在地：〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26
 電話：03-5574-3900 F A X：03-5574-3901
 E - m a i l：tokyo.s.c@ihwg.jp
 アクセス：東京メトロ銀座線・丸ノ内線
 「赤坂見附駅」A出入口から徒歩3分

<栃木県> **大田原キャンパス**

所在地：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1
 電話：0287-24-3729 F A X：0287-20-2059
 E - m a i l：otawara.s.c@ihwg.jp
 アクセス：
 ・東北新幹線・JR東北本線「那須塩原駅」東口からスクールバス（所要時間約20分）。または大田原市営バス「国際医療福祉大学」下車（所要時間約40分）
 ・JR東北本線「西那須野駅」東口から関東自動車バス「国際医療福祉大学」下車（所要時間約25分）
 ・東北自動車道 西那須野塩原I.C.から車で約30分
 黒磯板室I.C.から車で約30分

<千葉県> **成田キャンパス**

所在地：〒286-8686 千葉県成田市公津の杜4-3
 電話：0476-20-7703 F A X：0476-28-1159
 E - m a i l：narita.s.c@ihwg.jp
 アクセス：京成本線「公津の杜駅」から徒歩1分

キャンパスの所在地について

<神奈川県> 小田原キャンパス

所在地：〒250-8588 神奈川県小田原市城山1-2-25
 電話：0465-21-6500 F A X：0465-21-6501
 E-mail：odawara.s.c@ihwg.jp
 アクセス：東海道新幹線・JR東海道線・小田急線・箱根登山鉄道・大雄山線「小田原駅」西口から徒歩3分

<静岡県> 熱海キャンパス

所在地：〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町13-1
 国際医療福祉大学熱海病院内
 電話：大学院事務室直通／電話：0557-81-9197
 病院代表／電話：0557-81-9171 FAX：0557-83-6632
 E-mail：atami.s.c@ihwg.jp
 アクセス：JR「熱海駅」下車 徒歩8分
 またはバス「大学病院前」下車

・小田原キャンパスでの受講希望者は一部授業については熱海キャンパスで、また熱海キャンパス受講希望者は一部授業については小田原キャンパスでの受講となる場合もあります。

<福岡県> 福岡キャンパス

所在地：〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-4-16
 電話：092-407-0434 F A X：092-407-0474
 E-mail：fukucamp@ihwg.jp
 アクセス：

- ・西鉄バス「医師会館・ソフトリサーチパーク前」下車 徒歩1分
- ・地下鉄「西新駅」下車 徒歩15分

<福岡県> 大川キャンパス

所在地：〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1
 電話：0944-89-2018 F A X：0944-89-2001
 E-mail：oocamp@ihwg.jp
 アクセス：

- ・西鉄「柳川駅」下車
 駅前バス停③番のりばから西鉄バス「佐賀駅バスセンター行き」乗車(約20分)「国際医療福祉大学前」下車
- ・JR「佐賀駅」下車
 佐賀駅バスセンターから西鉄バス「西鉄 柳川駅行き」乗車(約30分)「国際医療福祉大学前」下車

入試情報

■ 入試日程一覽 P.14

■ 医療福祉学研究科

● 修士課程

保健医療学専攻 P.21

医療福祉経営専攻 P.36

臨床心理学専攻 P.47

● 博士課程

保健医療学専攻 P.51

■ 薬科学研究科

● 修士課程

生命薬科学専攻 P.58

■ 薬学研究科

● 博士課程

医療・生命薬学専攻 P.61

入試情報 ▶ 入試日程一覧

- 集合時間・集合場所等については、受験票等により通知・連絡する。
 - 決められた試験日がある分野については、事前相談の際に研究指導教員とどの日程で試験を受けるかを調整の上、出願すること（修士課程 臨床心理学専攻を除く）。
 - 試験場は、志願者の受講希望地を考慮の上、下表のキャンパスから本大学院が指定し、受験票にて志願者に通知する（試験場へのアクセスは、P.10、11【キャンパスの所在地と連絡先】を参照）。
 - 合格発表日に、可否通知を受験者全員に発送する（合格者には合格通知とともに入学手続の詳細を記載した入学手続要項を発送する）。
- ※日本国外に居住し、日本の在留資格を有していない者、または、在留資格「短期滞在」の者は、志望専攻・分野を問わず、必ず2025年12月1日(月)までに東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）に連絡の上出願すること。

修士課程 保健医療学専攻

▼一般入試／社会人入試／留学生入試

- 看護学分野周麻酔期看護学領域では、一般入試を実施しない。
看護学分野公衆衛生看護学領域〔実践（保健師）コース〕では、社会人入試・留学生入試を実施しない。
- 医療福祉教育・管理分野〔修士論文コース〕では、留学生入試を実施しない。
医療福祉教育・管理分野〔1年修了コース〕では、一般入試・留学生入試を実施しない。

分 野	出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (可否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
看 護 学 〔選抜方法〕は、P31を参照 〔出願書類〕は、P34、35を参照	第1回 2025年8月1日(金)～ 2025年8月15日(金)	2025年8月31日(日)	東京赤坂 福 岡	2025年9月17日(水)	2025年9月17日(水)～ 2025年10月1日(水)
	第2回 2025年10月20日(月)～ 2025年11月7日(金)	2025年11月29日(土)		2025年12月17日(水)	2025年12月17日(水)～ 2026年1月5日(月)
	第3回 2026年1月9日(金)～ 2026年1月23日(金)	2026年2月21日(土)		2026年3月11日(水)	2026年3月11日(水)～ 2026年3月25日(水)
看 護 学 〔公衆衛生看護学領域 (実践(保健師)コース)〕※2 〔選抜方法〕は、P31を参照 〔出願書類〕は、P34、35を参照	第1回 2025年8月1日(金)～ 2025年8月15日(金)	2025年8月31日(日)	東京赤坂	2025年9月17日(水)	2025年9月17日(水)～ 2025年10月1日(水)
	第2回 2025年10月20日(月)～ 2025年11月7日(金)	2025年11月29日(土)		2025年12月17日(水)	2025年12月17日(水)～ 2026年1月5日(月)
	第3回 2026年1月9日(金)～ 2026年1月23日(金)	2026年2月21日(土)		2026年3月11日(水)	2026年3月11日(水)～ 2026年3月25日(水)
特定行為看護師養成 (社会人入試のみ実施) 〔選抜方法〕は、P31を参照 〔出願書類〕は、P34、35を参照	2025年10月20日(月)～ 2025年11月4日(火)	筆記試験 2025年11月22日(土) 面接試験 2025年11月23日(日)	東京赤坂	2025年12月12日(金)	2025年12月12日(金)～ 2025年12月26日(金)
助 産 学※3 〔選抜方法〕は、P32を参照 〔出願書類〕は、P34、35を参照	第1回 2025年10月3日(金)～ 2025年10月17日(金)	2025年11月8日(土)	大 田 原 東京赤坂	2025年11月26日(水)	2025年11月26日(水)～ 2025年12月10日(水)
	第2回 2026年1月16日(金)～ 2026年1月30日(金)	2026年2月21日(土)		2026年3月11日(水)	2026年3月11日(水)～ 2026年3月25日(水)
福 祉 支 援 工 学 〔選抜方法〕は、P32を参照 〔出願書類〕は、P34、35を参照	第1回 2025年12月12日(金)～ 2025年12月26日(金)	2026年1月14日(水)	大 田 原 成 田 東京赤坂 小 田 原 熱 海 福 岡 大 川	2026年1月28日(水)	2026年1月28日(水)～ 2026年2月12日(水)
	第2回 2026年2月4日(水)～ 2026年2月18日(水)	2026年3月4日(水)		2026年3月11日(水)	2026年3月11日(水)～ 2026年3月25日(水)

入試日程一覧

分野	出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (可否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
災害医療 「選抜方法」は、P33を参照 「出願書類」は、P34、35を参照	第1回 2025年10月10日(金)～ 2025年10月24日(金)	2025年11月7日(金)	大田原 成田 東京赤坂 小田原 熱海 福岡 大川	2025年11月19日(水)	2025年11月19日(水)～ 2025年12月3日(水)
	第2回 2025年11月19日(水)～ 2025年12月3日(水)	2025年12月17日(水)		2026年1月7日(水)	2026年1月7日(水)～ 2026年1月21日(水)
	第3回 2025年12月24日(水)～ 2026年1月7日(水)	2026年1月21日(水)		2026年2月4日(水)	2026年2月4日(水)～ 2026年2月18日(水)
遺伝カウンセリング 「選抜方法」は、P33を参照 「出願書類」は、P34、35を参照	2025年10月20日(月)～ 2025年11月7日(金)	2025年11月23日(日)	東京赤坂	2025年12月12日(金)	2025年12月12日(金)～ 2025年12月26日(金)
作業療法学 言語聴覚 視機能療法学 リハビリテーション学 放射線・情報科学 生殖補助医療胚培養 臨床検査学※4 医療機器イノベーション 「選抜方法」は、P33を参照 「出願書類」は、P34、35を参照	第1次 2025年7月28日(月)～ 2025年8月12日(火)	2025年8月25日(月)～ 2025年9月5日(金)	大田原 成田 東京赤坂 小田原 熱海 福岡 大川	試験日から 3週間以内に発送	合格発表日から 2週間以内
	第2次 2025年9月8日(月)～ 2025年9月22日(月)	2025年10月6日(月)～ 2025年10月17日(金)			
	第3次 2025年10月20日(月)～ 2025年11月4日(火)	2025年11月25日(火)～ 2025年12月5日(金)			
	第4次 2025年12月1日(月)～ 2025年12月15日(月)	2026年1月13日(火)～ 2026年1月22日(水)			
	第5次 2026年1月5日(月)～ 2026年2月2日(月)	2026年2月24日(火)～ 2026年3月12日(水)			
第1次～第5次までの出願期間に対して設定された試験期間内で、試験日を個別調整。※5					
理学療法学 医療福祉教育・管理 「選抜方法」は、P33を参照 「出願書類」は、P34、35を参照	随時出願受付～ 最終出願受付締切日： 2026年2月2日(月)	出願書類到着後、 日程調整のご連絡を いたします。	東京赤坂	試験日から 3週間以内に発送	合格発表日から 2週間以内

※1 合格発表日に、本学より可否通知を発送する。到着日時は居住地により異なる。

※2 看護学分野公衆衛生看護学領域〔実践(保健師)コース〕では、第2回までの入試実施状況により第3回を実施しない場合があります。出願前に本学ホームページで確認してください。

※3 助産学分野は、大田原キャンパス・東京赤坂キャンパスのみで試験を実施する。

※4 臨床検査学分野は、大田原キャンパス・成田キャンパス・大川キャンパスのみで試験を実施する。

※5 第4次・第5次の試験は原則(火)(水)に実施する。

入試日程一覧

▼学内推薦入試

- 看護学分野公衆衛生看護学領域〔実践（保健師）コース〕・看護教育学領域（CNEコース）、特定行為看護師養成分野、災害医療分野では、学内推薦入試を実施しない。

分 野	出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (合否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
助産学※2 〔選抜方法〕は、P32を参照 〔出願書類〕は、P34、35を参照	2025年10月3日(金)～ 2025年10月17日(金)	2025年11月8日(土)	大田原 東京赤坂	2025年11月26日(水)	2025年11月26日(水)～ 2025年12月10日(水)
看護学 理学療法 作業療法 言語聴覚 視機能療法 福祉支援工 リハビリテーション学 放射線・情報科学 生殖補助医療胚培養 医療福祉教育・管理 臨床検査学 遺伝カウンセリング 医療機器イノベーション 〔選抜方法〕は、P31～33を参照 〔出願書類〕は、P34、35を参照	随時出願受付～ 最終出願受付締切日： 2026年2月27日(金) ※随時、書類選考を実施し、合格発表する	個別の学力試験等は課さない		出願書類が正式に 受理された日から 3週間以内に発送※3	合格発表日から 2週間以内

※1 合格発表日に、本学より合否通知を発送する。到着日時は居住地により異なる。

※2 助産学分野の学内推薦入試については、第1回入試のみ募集する。

※3 出願が集中する時期は発送までに通常よりも時間がかかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

修士課程 医療福祉経営専攻

▼一般入試/社会人入試/留学生入試

- 医療通訳・国際医療マネジメント分野〔1年修了コース（英語・中国語）〕では、社会人入試のみ実施する。
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野の自立支援介護学領域および自立支援実践ケアマネジメント学領域では、一般入試を実施しない。

分 野	出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (合否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
医療経営管理 〔選抜方法〕は、P42を参照 〔出願書類〕は、P44～46を参照	第1回 2025年12月1日(月)～ 2025年12月19日(金)	2026年1月10日(土)	東京赤坂	2026年1月28日(水)	2026年1月28日(水)～ 2026年2月12日(水)
	第2回 2026年1月5日(月)～ 2026年1月23日(金)	2026年2月15日(日)		2026年3月4日(水)	2026年3月4日(水)～ 2026年3月18日(水)
	第3回 2026年2月2日(月)～ 2026年2月16日(月)	2026年3月8日(日)		2026年3月18日(水)	2026年3月18日(水)～ 2026年3月27日(金)
診療情報アナリスト養成 〔実践コース〕 〔研究コース〕 〔選抜方法〕は、P42を参照 〔出願書類〕は、P44～46を参照	2026年1月5日(月)～ 2026年1月23日(金)	2026年2月8日(日)	東京赤坂	2026年2月25日(水)	2026年2月25日(水)～ 2026年3月11日(水)
先進的ケア・ネットワーク開発研究※2 〔選抜方法〕は、P43を参照 〔出願書類〕は、P44～46を参照	第1回 2025年12月12日(金)～ 2025年12月26日(金)	2026年1月14日(水)	東京赤坂	2026年1月28日(水)	2026年1月28日(水)～ 2026年2月12日(水)
	第2回 2026年2月4日(水)～ 2026年2月18日(水)	2026年3月4日(水)		2026年3月11日(水)	2026年3月11日(水)～ 2026年3月25日(水)

入試日程一覧

分野	出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (可否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
医療通訳・国際医療マネジメント 〔1年修了コース(英語・中国語)〕 〔修士論文コース〕 「選抜方法」は、P43を参照 「出願書類」は、P44～46を参照	第1回 2025年12月1日(月)～ 2025年12月19日(金)	2026年1月10日(土)	東京赤坂	2026年2月25日(水)	2026年2月25日(水)～ 2026年3月11日(水)
	第2回 2026年1月5日(月)～ 2026年1月23日(金)	2026年2月8日(日)			
医療福祉学 医療福祉ジャーナリズム 「選抜方法」は、P43を参照 「出願書類」は、P44～46を参照	第1次 2025年7月28日(月)～ 2025年8月12日(火)	2025年8月25日(月)～ 2025年9月5日(金)	大田原 成田 東京赤坂 小田原 熱海 福岡 大川	試験日から 3週間以内に発送	合格発表日から 2週間以内
	第2次 2025年9月8日(月)～ 2025年9月22日(月)	2025年10月6日(月)～ 2025年10月17日(金)			
	第3次 2025年10月20日(月)～ 2025年11月4日(火)	2025年11月25日(火)～ 2025年12月5日(金)			
	第4次 2025年12月1日(月)～ 2025年12月15日(月)	2026年1月13日(火)～ 2026年1月22日(水)			
	第5次 2026年1月5日(月)～ 2026年2月2日(月)	2026年2月24日(火)～ 2026年3月12日(水)			
	第1次～第5次までの出願期間に対して設定された試験期間内で、試験日を個別調整。※3				

- ※1 合格発表日に、本学より可否通知を発送する。到着日時は居住地により異なる。
 ※2 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野は、東京赤坂キャンパスのみで試験を実施する。
 ※3 第4次・第5次の試験は原則(火)(水)に実施する。

▼学内推薦入試

- 医療通訳・国際医療マネジメント分野では、学内推薦入試を実施しない。

分野	出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (可否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
医療経営管理 診療情報アナリスト養成 〔実践コース〕 〔研究コース〕 先進的ケア・ネットワーク開発研究 医療福祉学 医療福祉ジャーナリズム 「選抜方法」は、P42、43を参照 「出願書類」は、P44～46を参照	随時出願受付～ 最終出願受付締切日： 2026年2月27日(金) ※随時、書類選考を実施し、合格発表する	個別の学力試験等は課さない		出願書類が正式に受理された日から3週間以内に発送※2	合格発表日から2週間以内

- ※1 合格発表日に、本学より可否通知を発送する。到着日時は居住地により異なる。
 ※2 出願が集中する時期は発送までに通常よりも時間がかかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

入試日程一覧

修士課程 臨床心理学専攻

▼一般入試

- 臨床心理学専攻では社会人入試・留学生入試を実施しない。

分野	出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (合否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
臨床心理学 「選抜方法」は、P49を参照 「出願書類」は、P50を参照	第1回 2025年8月18日(月)～ 2025年9月5日(金)	2025年9月21日(日)	東京赤坂	2025年10月8日(水)	2025年10月8日(水)～ 2025年10月22日(水)
	第2回 2026年1月9日(金)～ 2026年1月23日(金)	2026年2月15日(日)		2026年3月4日(水)	2026年3月4日(水)～ 2026年3月18日(水)

※1 合格発表日に、本学より合否通知を発送する。到着日時は居住地により異なる。

博士課程 保健医療学専攻

▼一般入試/社会人入試/留学生入試

- 災害医療分野では、一般入試を実施しない。
- 臨床心理学分野では、社会人入試・留学生入試を実施しない。

分野	出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (合否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
看護学 「選抜方法」は、P53を参照 「出願書類」は、P56、57を参照	第1回 2025年8月1日(金)～ 2025年8月15日(金)	2025年8月31日(日)	東京赤坂 福岡	2025年9月17日(水)	2025年9月17日(水)～ 2025年10月1日(水)
	第2回 2025年10月20日(月)～ 2025年11月7日(金)	2025年11月29日(土)		2025年12月17日(水)	2025年12月17日(水)～ 2026年1月5日(月)
	第3回 2026年1月9日(金)～ 2026年1月23日(金)	2026年2月21日(土)		2026年3月11日(水)	2026年3月11日(水)～ 2026年3月25日(水)
福祉支援工学 「選抜方法」は、P54を参照 「出願書類」は、P56、57を参照	第1回 2025年12月12日(金)～ 2025年12月26日(金)	2026年1月14日(水)	大田原 成田 東京赤坂 小田原 熱海 福岡 大川	2026年1月28日(水)	2026年1月28日(水)～ 2026年2月12日(水)
	第2回 2026年2月4日(水)～ 2026年2月18日(水)	2026年3月4日(水)		2026年3月11日(水)	2026年3月11日(水)～ 2026年3月25日(水)
災害医療 「選抜方法」は、P53を参照 「出願書類」は、P56、57を参照	第1回 2025年10月10日(金)～ 2025年10月24日(金)	2025年11月7日(金)	大田原 成田 東京赤坂 小田原 熱海 福岡 大川	2025年11月19日(水)	2025年11月19日(水)～ 2025年12月3日(水)
	第2回 2025年11月19日(水)～ 2025年12月3日(水)	2025年12月17日(水)		2026年1月7日(水)	2026年1月7日(水)～ 2026年1月21日(水)
	第3回 2025年12月24日(水)～ 2026年1月7日(水)	2026年1月21日(水)		2026年2月4日(水)	2026年2月4日(水)～ 2026年2月18日(水)
医療遺伝学 「選抜方法」は、P54を参照 「出願書類」は、P56、57を参照	2025年10月20日(月)～ 2025年11月7日(金)	2025年11月23日(日)	東京赤坂	2025年12月12日(金)	2025年12月12日(金)～ 2025年12月26日(金)
医療福祉経営学 「選抜方法」は、P54を参照 「出願書類」は、P56、57を参照	第1回 2025年12月1日(月)～ 2025年12月19日(金)	2026年1月10日(土)	東京赤坂	2026年1月28日(水)	2026年1月28日(水)～ 2026年2月12日(水)
	第2回 2026年1月13日(水)～ 2026年1月30日(金)	2026年2月15日(日)		2026年3月4日(水)	2026年3月4日(水)～ 2026年3月18日(水)
	第3回 2026年2月2日(月)～ 2026年2月16日(月)	2026年3月8日(日)		2026年3月18日(水)	2026年3月18日(水)～ 2026年3月27日(金)

入試日程一覧

分野	出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (合否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
先進的ケア・ネットワーク開発研究※2 〔選抜方法〕は、P53を参照 〔出願書類〕は、P56、57を参照	第1回 2025年12月12日(金)～ 2025年12月26日(金)	2026年1月14日(水)	東京赤坂	2026年1月28日(水)	2026年1月28日(水)～ 2026年2月12日(木)
	第2回 2026年2月4日(水)～ 2026年2月18日(水)	2026年3月4日(水)		2026年3月11日(水)	2026年3月11日(水)～ 2026年3月25日(水)
臨床心理学 〔選抜方法〕は、P55を参照 〔出願書類〕は、P56、57を参照	第1回 2025年8月18日(月)～ 2025年9月5日(金)	2025年9月21日(日)	東京赤坂	2025年10月8日(水)	2025年10月8日(水)～ 2025年10月22日(水)
	第2回 2026年1月9日(金)～ 2026年1月23日(金)	2026年2月15日(日)		2026年3月4日(水)	2026年3月4日(水)～ 2026年3月18日(水)
助産学 作業療法学 言語聴覚学 視機能療法学 リハビリテーション学 放射線・情報科学 生殖補助医療胚培養 臨床検査学※3 診療情報管理・分析学 医療福祉学 医療福祉ジャーナリズム 〔選抜方法〕は、P53を参照 〔出願書類〕は、P56、57を参照	第1次 2025年7月28日(月)～ 2025年8月12日(火)	2025年8月25日(月)～ 2025年9月5日(金)	大田原 成田 東京赤坂 小田原 海岡 福大	試験日から 3週間以内に発送	合格発表日から 2週間以内
	第2次 2025年9月8日(月)～ 2025年9月22日(月)	2025年10月6日(月)～ 2025年10月17日(金)			
	第3次 2025年10月20日(月)～ 2025年11月4日(火)	2025年11月25日(火)～ 2025年12月5日(金)			
	第4次 2025年12月1日(月)～ 2025年12月15日(月)	2026年1月13日(火)～ 2026年1月22日(水)			
	第5次 2026年1月5日(月)～ 2026年2月2日(月)	2026年2月24日(火)～ 2026年3月12日(水)			
第1次～第5次までの出願期間に対して設定された試験期間内で、試験日を個別調整。※4					
理学療法学 医療福祉教育・管理 〔選抜方法〕は、P54を参照 〔出願書類〕は、P56、57を参照	随時出願受付～ 最終出願受付締切日： 2026年2月2日(月)	出願書類到着後、 日程調整のご連絡を いたします。	東京赤坂	試験日から 3週間以内に発送	合格発表日から 2週間以内

※1 合格発表日に、本学より合否通知を発送する。到着日時は居住地により異なる。

※2 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野は、東京赤坂キャンパスのみで試験を実施する。

※3 臨床検査学分野は、大田原キャンパス、成田キャンパス、大川キャンパスのみで試験を実施する。

※4 第4次・第5次の試験は原則(火)(水)に実施する。

▼学内推薦入試

分野	出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (合否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
看護学 助産学 理学療法学 作業療法学 言語聴覚学 視機能療法学 福祉支援工学 リハビリテーション学 放射線・情報科学 生殖補助医療胚培養 医療福祉教育・管理 臨床検査学 医療遺伝学 災害医療学 医療福祉経営学 診療情報管理・分析学 先進的ケア・ネットワーク開発研究 医療福祉学 医療福祉ジャーナリズム 臨床心理学 〔選抜方法〕は、P53～55を参照 〔出願書類〕は、P56、57を参照	随時出願受付～最終出願 受付締切日： 2026年2月27日(金) ※随時、書類選考を実施 し、合格発表する	個別の学力試験等は課さない		出願書類が正式に 受理された日から 3週間以内に発送※2	合格発表日から 2週間以内

※1 合格発表日に、本学より合否通知を発送する。到着日時は居住地により異なる。

※2 出願が集中する時期は発送までに通常よりも時間がかかる場合がございます。あらかじめご了承ください。

入試日程一覧

修士課程 生命薬科学専攻

▼一般入試／社会人入試／学内推薦入試

● 留学生入試は実施しない。留学生の志願者は、一般入試・社会人入試・学内推薦入試のいずれかの入試区分で出願すること。

分野		出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (合否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
生命薬学 医療薬学 [臨床薬学領域] [がん薬物療法学領域] 「選抜方法」は、P59を参照 「出願書類」は、P59、60を参照	第1次	2025年7月28日(月)～ 2025年8月12日(火)	2025年8月25日(月)～ 2025年9月5日(金)	大田原 成田 東京赤坂 大川	試験日から 3週間以内に発送	合格発表日から 2週間以内
	第2次	2025年9月8日(月)～ 2025年9月22日(月)	2025年10月6日(月)～ 2025年10月17日(金)			
	第3次	2025年10月20日(月)～ 2025年11月4日(火)	2025年11月25日(火)～ 2025年12月5日(金)			
	第4次	2025年12月1日(月)～ 2025年12月15日(月)	2026年1月13日(火)～ 2026年1月22日(木)			
	第5次	2026年1月5日(月)～ 2026年2月2日(月)	2026年2月24日(火)～ 2026年3月12日(木)			
	第1次～第5次までの出願期間に対して設定された試験期間内で、試験日を個別調整。※2					

※1 合格発表日に、本学より合否通知を発送する。到着日時は居住地により異なる。

※2 第4次・第5次の試験は原則(火)(水)に実施する。

博士課程 医療・生命薬学専攻

▼一般入試／社会人入試／学内推薦入試

● 留学生入試は実施しない。留学生の志願者は、一般入試・社会人入試・学内推薦入試のいずれかの入試区分で出願すること。

分野		出願期間 〔消印有効〕	試験日	試験場 (キャンパス)	合格発表日 (合否通知発送日※1)	入学手続期間 〔消印有効〕
医療・生命薬学専攻 「選抜方法」は、P62を参照 「出願書類」は、P63、64を参照	第1次	2025年7月28日(月)～ 2025年8月12日(火)	2025年8月25日(月)～ 2025年9月5日(金)	大田原 成田 東京赤坂 大川	試験日から 3週間以内に発送	合格発表日から 2週間以内
	第2次	2025年9月8日(月)～ 2025年9月22日(月)	2025年10月6日(月)～ 2025年10月17日(金)			
	第3次	2025年10月20日(月)～ 2025年11月4日(火)	2025年11月25日(火)～ 2025年12月5日(金)			
	第4次	2025年12月1日(月)～ 2025年12月15日(月)	2026年1月13日(火)～ 2026年1月22日(木)			
	第5次	2026年1月5日(月)～ 2026年2月2日(月)	2026年2月24日(火)～ 2026年3月12日(木)			
	第1次～第5次までの出願期間に対して設定された試験期間内で、試験日を個別調整。※2					

※1 合格発表日に、本学より合否通知を発送する。到着日時は居住地により異なる。

※2 第4次・第5次の試験は原則(火)(水)に実施する。

募集人員

課程・専攻	募集人員	備考
修士課程 保健医療学専攻	200名	募集人員には、以下の人員を含む 看護学分野 公衆衛生看護学領域（実践（保健師）コース） 15名 特定行為看護師養成分野 25名 助産学分野（大田原・東京赤坂） 20名

出願資格

1. 一般入試

分野	出願資格
看護学 理学療法学 作業療法学 言語聴覚 視機能療法学 福祉支援工学 リハビリテーション学 放射線・情報科学 生殖補助医療胚培養 臨床検査学 〔先端医学検査コース〕 遺伝カウンセリング 医療機器イノベーション	次の各号のいずれかに該当する者 (1)大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者 (2)学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、および2026年3月末までに授与見込みの者（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、および授与見込みの者） (3)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者 (4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者 (5)日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者 (6)外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了し学士の学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与見込みの者 (7)専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準に該当するものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者（高度専門士の称号を授与された者、および授与見込みの者） (8)文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号） ※小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭、もしくは養護教諭の専修免許状または一種免許状を有する者で、2026年4月1日現在満22歳以上のもの、等 (9)上記(1)～(8)に該当しない者のうち、2026年4月1日現在満22歳以上の者で、本大学院による出願資格審査において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの（短期大学・専門学校等を卒業した者や、外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、本大学院の定める出願資格審査の申請条件に該当するもの） (10)上記(1)～(9)に該当しない者のうち、本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
看護学 〔公衆衛生看護学領域（実践（保健師）コース）〕	上記の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、日本の看護師国家資格を有する者、または看護師国家試験受験資格を有し看護師国家資格を取得見込みの者※ ※原則として、入学時、看護師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。
看護学 〔周麻酔期看護学領域〕	一般入試は実施しません ※本分野への出願を希望する場合は、社会人入試、留学生入試、学内推薦入試のいずれかによる出願となります。なお、出願にあたっては、出願する入試区分の出願資格を満たしている必要があります。
看護学 〔看護教育学領域（CNEコース）〕	一般入試は実施しません ※本分野への出願を希望する場合は、社会人入試での出願となります。なお、出願にあたっては、社会人入試の出願資格を満たしている必要があります。
特定行為看護師養成	一般入試は実施しません ※本分野への出願を希望する場合は、社会人入試での出願となります。なお、出願にあたっては、社会人入試の出願資格を満たしている必要があります。

※一般入試の出願資格(9)で出願しようとする者は、P.27、28「出願資格審査」を確認すること。

※一般入試の出願資格(10)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）まで問い合わせること。

出願資格

分野	出 願 資 格
助産学 〔修士論文コース〕 〔実践(有資格者)コース〕	前項の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、助産師国家資格を有する者
医療福祉教育・管理 〔修士論文コース〕	前項の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの医療福祉関連の国家資格を有する者
医療福祉教育・管理 〔1年修了コース〕	一般入試は実施しません ※本分野への出願を希望する場合は、社会人入試、学内推薦入試のいずれかによる出願となります。なお、出願にあたっては、出願する入試区分の出願資格を満たしている必要があります。
臨床検査学 〔細胞検査士養成コース〕	前項の出願資格(1)～(10)のいずれかを満たし、臨床検査技師の国家資格を有する者、または臨床検査技師国家試験受験資格を有し臨床検査技師国家資格を取得見込みの者※ ※原則として、入学時、臨床検査技師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。
災害医療	前項の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、以下のいずれかに該当する者 ・医療機関、社会福祉施設、行政機関、教育機関等に勤務し、災害時の保健医療・危機管理の業務に従事している、もしくは今後従事することを希望する者 ・国内外で災害時の保健医療支援を行う政府組織、非政府組織（NPO、職能団体等）等に属し、災害時の保健医療支援活動に従事している、もしくは今後従事することを希望する者

※一般入試の出願資格(9)で出願しようとする者は、P.27、28「出願資格審査」を確認すること。

※一般入試の出願資格(10)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）まで問い合わせること。

2. 社会人入試

分野	出願資格
看護学 理学療法学 作業療法学 言語聴覚 視機能療法学 福祉支援工学 リハビリテーション学 放射線・情報科学 生殖補助医療胚培養 臨床検査学 〔先端医学検査コース〕 遺伝カウンセリング 医療機器イノベーション	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、職務経験が3年以上となる者
看護学 〔公衆衛生看護学領域(実践(保健師)コース)〕	社会人入試は実施しません。 ※本分野への出願を希望する場合は、一般入試による出願となります。
看護学 〔周麻酔期看護学領域〕	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、日本の看護師国家資格を有し、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、手術室、急性期病棟、ICUのいずれかでの看護師としての実務経験を有し、それらの実務経験が合わせて3年以上となる者
看護学 〔看護教育学領域(CNEコース)〕	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、以下の条件をすべて満たす者 ・日本の看護師国家資格を有する者 ・本学入学までに臨床経験5年以上となる者 ・教育機関または病院等において、学生または看護師の教育経験がある者
特定行為看護師養成	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、日本の看護師国家資格を有する者で、本学入学までに日本での常勤看護師としての臨床経験が原則5年以上となるもの
助産学 〔修士論文コース〕 〔実践(有資格者)コース〕	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、日本の看護師国家資格を取得後、3年以上の看護関連の実務経験を有する者で、助産師国家資格を有するもの
医療福祉教育・管理 〔修士論文コース〕 〔1年修了コース〕	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの医療福祉関連の国家資格を有する者で、本学入学までに国家資格取得後、3年以上の実務経験を有するもの
臨床検査学 〔細胞検査士養成コース〕	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、職務経験が3年以上となる者で、臨床検査技師の国家資格を有するもの、または臨床検査技師国家試験受験資格を有し臨床検査技師国家資格を取得見込みのもの※ ※原則として、入学時、臨床検査技師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。
災害医療	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、職務経験が3年以上となる者で、以下のいずれかに該当する者 ・医療機関、社会福祉施設、行政機関、教育機関等に勤務し、災害時の保健医療・危機管理の業務に従事している、もしくは今後従事することを希望する者 ・国内外で災害時の保健医療支援を行う政府組織、非政府組織(NPO、職能団体等)等に属し、災害時の保健医療支援活動に従事している、もしくは今後従事することを希望する者

※一般入試の出願資格(9)で出願しようとする者は、P.27、28「出願資格審査」を確認すること。

※一般入試の出願資格(10)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室(TEL:03-5574-3903 E-mail: daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp)まで問い合わせること。

出願資格

3. 留学生入試

日本国外に居住し、日本の在留資格を有していない者、または、在留資格「短期滞在」の者は、必ず2025年12月1日(月)までに東京赤坂キャンパス入試事務室に連絡の上出願すること。

分野	出願資格
看護学 理学療法学 作業療法学 言語聴覚 視機能療法学 福祉支援工学 リハビリテーション学 放射線・情報科学 生殖補助医療胚培養 臨床検査学 〔先端医学検査コース〕 医療機器イノベーション	一般入試の出願資格(1)~(10)のいずれかの条件を満たし、入学時までに「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者
看護学 〔公衆衛生看護学領域(実践(保健師)コース)〕	留学生入試は実施しません ※本分野への出願を希望する場合は、一般入試による出願となります。
看護学 〔周麻酔期看護学領域〕	一般入試の出願資格(1)~(10)のいずれかを満たし、入学時までに「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者で、次のいずれかの条件を満たすもの ・日本の看護師国家資格を有する者 ・本学入学までに常勤・非常勤を問わず、手術室、急性期病棟、ICUの経験のいずれかでの看護師としての実務経験を有し、それらの実務経験が合わせて3年以上となる者
看護学 〔看護教育学領域(CNEコース)〕	留学生入試は実施しません ※本分野への出願を希望する場合は、社会人入試での出願となります。なお、出願にあたっては、社会人入試の出願資格を満たしている必要があります。
特定行為看護師養成	留学生入試は実施しません ※本分野への出願を希望する場合は、社会人入試での出願となります。なお、出願にあたっては、社会人入試の出願資格を満たしている必要があります。
助産学 〔修士論文コース〕 〔実践(有資格者)コース〕	一般入試の出願資格(1)~(10)のいずれかの条件を満たし、入学時までに「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者で、次のいずれかの条件を満たすもの ・日本の助産師国家資格を有する者 ・外国の助産師資格を有する者
医療福祉教育・管理	留学生入試は実施しません ※本分野への出願を希望する場合は、社会人入試、学内推薦入試のいずれかによる出願となります。なお、出願にあたっては、出願する入試区分の出願資格を満たしている必要があります。

臨床検査学 〔細胞検査士養成コース〕	一般入試の出願資格(1)~(10)のいずれかの条件を満たし、入学時まで「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者で、次の条件を満たすもの ・日本の臨床検査技師の国家資格を有する者、または日本の臨床検査技師国家試験受験資格を有し、臨床検査技師国家資格を取得見込みの者※ ※入学時、臨床検査技師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。
災害医療	一般入試の出願資格(1)~(10)のいずれかの条件を満たし、入学時まで「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者。かつ、防災・減災の推進や災害時の保健医療を課題研究のテーマとして想定しうる者。ただし、日本語能力試験N1（1級）の日本語能力を有する者に限る。
遺伝カウンセリング	一般入試の出願資格(1)~(10)のいずれかの条件を満たし、入学まで「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者。ただし日本語能力試験N1（1級）の日本語能力を有する者に限る。

※留学生入試志願者は、日本語能力試験N1（1級）程度の日本語能力を有していることが望ましい。

※一般入試の出願資格(9)で出願しようとする者は、P.27、28「出願資格審査」を確認すること。

※一般入試の出願資格(10)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室まで問い合わせること。

〈連絡先〉東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）

出願資格

4. 学内推薦入試

学内推薦入試の出願手続については、P.80「学内推薦入試（医療福祉学研究科）手続フローチャート」を確認すること。

分野	出願資格 ^{※8}
看護学 理学療法学 作業療法学 言語聴覚 視機能療法学 福祉支援工学 リハビリテーション学 放射線・情報科学 生殖補助医療胚培養 臨床検査学 〔先端医学検査コース〕 医療機器イノベーション	国際医療福祉大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者で、本学専任教員が推薦し ^{※1} 卒業（見込）学科の現学科長が承認したもの ^{※2}
看護学 〔公衆衛生看護学領域(実践(保健師)コース)〕	学内推薦入試は実施しません
看護学 〔周麻酔期看護学領域〕	国際医療福祉大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者で、次のすべての条件を満たすもの ・本学専任教員が推薦し ^{※1} 卒業（見込）学科の現学科長が承認した者 ^{※2} ・日本の看護師国家資格を有し、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、手術室、急性期病棟、ICUのいずれかでの看護師としての実務経験を有し、それらの実務経験が合わせて3年以上となる者
看護学 〔看護教育学領域(CNEコース)〕	学内推薦入試は実施しません
特定行為看護師養成	学内推薦入試は実施しません
助産学 〔修士論文コース〕 〔実践(有資格者)コース〕	国際医療福祉大学を卒業後、助産師教育課程を修了した者および2026年3月末までに修了見込みの者で、次のすべての条件を満たすもの ・本学専任教員が推薦し ^{※1} 、卒業学科の現学科長が承認した者 ^{※2} ・助産師国家資格を有する者、または助産師国家試験受験資格を有し、助産師国家資格を取得見込みの者 ^{※4}

医療福祉教育・管理 〔修士論文コース〕	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの医療福祉関連の国家資格を有し、次の各号のいずれかに該当する者 A：国際医療福祉大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者で、 本学専任教員が推薦し ^{※1} 卒業（見込）学科の現学科長が承認した者 ^{※2} B：国際医療福祉大学大学院修士課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者で、修士課程在籍時の研究指導教員が推薦する者 ^{※1} 、あるいは本学専任教員が推薦し ^{※1} 修士課程在籍時の分野の現分野責任者が承認した者 ^{※2}
医療福祉教育・管理 〔1年修了コース〕	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの医療福祉関連の国家資格を有し、本学入学までに国家資格取得後、3年以上の実務経験を有する者で、次の各号のいずれかに該当するもの A：国際医療福祉大学を卒業した者で、本学専任教員が推薦し ^{※1} 卒業学科の現学科長が承認したもの ^{※2} B：国際医療福祉大学大学院修士課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者で、修士課程在籍時の研究指導教員が推薦するもの、あるいは本学専任教員が推薦し ^{※1} 修士課程在籍時の分野の現分野責任者が承認したもの ^{※2}
臨床検査学 〔細胞検査士養成コース〕	国際医療福祉大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者で、次のすべての条件を満たすもの ・本学専任教員が推薦し ^{※1} 卒業（見込）学科の現学科長が承認した者 ^{※2} ・臨床検査技師国家資格を有する者、または臨床検査技師国家試験受験資格を有し臨床検査技師国家資格を取得見込みの者 ^{※5}
遺伝カウンセリング	国際医療福祉大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者で、看護師・保健師・臨床検査技師などの医療福祉関連の国家資格を有する者、または医療福祉関連の国家資格の受験資格を有し、その資格を取得見込みの者 ^{※6}
災害医療	学内推薦入試は実施しません

- ※1 推薦者は、出願時点で、大学・大学院を問わず、本学（全キャンパス）に在籍する教員に限る。推薦を得られない場合は、他の該当する入試区分で出願すること。
- ※2 承認を得られない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室より、入試区分変更の通知を行うので、学内推薦入試以外入試区分で受験すること。
- ※3 入学時、看護師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。
- ※4 入学時、助産師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す。
- ※5 入学時、臨床検査技師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。
- ※6 入学時、国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。
- ※7 福岡国際医療福祉大学も対象とする。

出願資格審査

一般入試・社会人入試・留学生入試における出願資格(9)で出願しようとする場合は、下記の申請条件を確認の上、出願資格審査を申請すること(事前相談と同時に出願資格審査を行う)。

※一部の分野では出願と同時に出願資格審査を行うため、事前相談時の出願資格審査申請書の提出は不要。詳しくは相談教員へ問い合わせること。

※日本以外の国籍を有する者で、入学時までに「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる者は、留学生に対する条件での申請を認める。

【申請条件】

分 野	申 請 条 件
看護学 作業療法学 言語聴覚学 視機能療法学 リハビリテーション学 放射線・情報科学 医療機器イノベーション	次のいずれかの国家資格を有する者 ・看護師 ・保健師 ・助産師 ・理学療法士 ・作業療法士 ・言語聴覚士 ・視能訓練士 ・義肢装具士 ・診療放射線技師 ・臨床検査技師 ・臨床工学技士 ※留学生の場合は、上記に加え、日本もしくは外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。
看護学	[公衆衛生看護学領域(実践(保健師)コース)] 看護師の国家資格を有する者、または看護師国家試験受験資格を有し看護師国家資格を取得見込みの者※ ※原則として、入学時、看護師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。 ※留学生の場合についても、日本の看護師国家資格を有する者、または日本の看護師国家試験受験資格を有し、看護師国家資格を取得見込みの者の申請を認めるが、入学時に看護師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。
	[周麻酔期看護学領域] 日本の看護師国家資格を有し、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、手術室、急性期病棟、ICUのいずれかでの看護師としての実務経験を有し、それらの実務経験が合わせて3年以上となる者 ※留学生の場合についても、日本国内の看護師国家資格を有し、上記条件を満たす者に限る。
	[看護教育学領域(CNEコース)] 以下の条件をすべて満たす者 ・日本の看護師国家資格を有する者 ・本学入学までに臨床経験5年以上となる者 ・教育機関または病院等において、学生または看護師の教育経験がある者
特定行為看護師養成	日本の看護師の国家資格を有し、本学入学までに日本の常勤看護師としての臨床経験が原則5年以上となる者
助産学	[修士論文コース] [実践(有資格者)コース] 助産師の国家資格を有する者 ※留学生の場合は、上記に加え、外国の助産師資格を有する者の申請も許可する。
理学療法学	理学療法士などの医療福祉関連の国家資格を有する者、または国家資格の受験資格を有し、本学入学までにその資格を取得見込みの者 ※留学生の場合は、上記に加え、日本もしくは外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。
福祉支援工学	医療介護福祉関連の国家資格を有する者 ※留学生の場合は、上記に加え、外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。
生殖補助医療胚培養	次のいずれかの条件を満たす者 ①専門学校卒業以上の学歴を持ち、現在胚培養の仕事にたずさわっている者 ②医療福祉関連の国家資格を有する者 ※留学生の場合は、上記に加え、日本もしくは外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。
医療福祉教育・管理 〔修士論文コース〕	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの医療福祉関連の国家資格を有する者、または国家資格の受験資格を有し、本学入学までにその資格を取得見込みの者
医療福祉教育・管理 〔1年修了コース〕	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの医療福祉関連の国家資格を有し、本学入学までに国家資格取得後、3年以上の実務経験を有する者

出願資格審査

	[先端医学検査コース]	次のいずれかの条件を満たす者 ①臨床検査技師の国家資格を有する者 ②生命科学分野で学士論文に相当する論文がある者 ※留学生の場合は、上記に加え、日本もしくは外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。
臨床検査学	[細胞検査士養成コース]	臨床検査技師の国家資格を有する者、または臨床検査技師国家試験受験資格を有し臨床検査技師国家資格を取得見込みの者 ※原則として、入学時、臨床検査技師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。 ※留学生の場合についても、日本の臨床検査技師国家資格を有する者、または日本の臨床検査技師国家試験受験資格を有し、臨床検査技師国家資格を取得見込みの者の申請を認めるが、入学時に臨床検査技師国家試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す場合がある。
災害医療		次のいずれかの条件を満たす者 ①行政機関、医療機関、教育機関及び福祉関連施設において継続して2年以上勤務し、災害・危機管理の業務に従事している者 ②主に保健医療福祉に係る専門資格を有する者 ※留学生の場合は、外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。
遺伝カウンセリング		次のいずれかの資格を有するもの ・看護師 ・保健師 ・助産師 ・臨床検査技師 ・胚培養士 ※留学生の場合は、上記に関して日本もしくは外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。

【申請方法】

「出願資格審査申請書」(本学所定の用紙 [様式4-1](#)) に記入し事前相談時に提出すること。事前相談を行った後、出願期間中に書類とともに、下記の書類を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

- ・「出願資格審査申請書」(本学所定の用紙 [様式4-1](#))
- ・「国家資格の免許証のコピー」、「保健医療福祉に係る専門資格の証明書のコピー」(A4サイズに統一すること)
- ・「在籍証明書」(生殖補助医療胚培養分野に、出願資格審査申請条件①で申請する者)
- ・「研究業績(学会発表や研究論文等)」(臨床検査学分野 先端医学検査コースに、出願資格審査申請条件②で申請する者)

※提出書類についての詳細は、P.34、35の「出願書類」を確認すること。

※志願票(1枚目)、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

【審査方法】

志願者は相談教員へ出願資格(9)出願資格審査で出願する旨を伝え、教員が出願資格の審査を行う。

【審査結果】

出願資格が認められた場合：

出願の許可(教員のサイン)を得た後、出願期間中に書類とともに、下記の書類を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

- ・「出願資格審査申請書」(教員のサインが入ったもの)
- ・「取得資格の免許証のコピー」等 出願資格に該当する書類(A4サイズに統一すること)

※提出書類は分野により異なるので該当部分を確認すること。

※志願票(1枚目)の最下段、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

※出願資格審査の申請手続については、P.80の【出願資格審査(医療福祉学研究科・薬学研究科)手続フローチャート】を確認すること。

【出願と同時に書類審査を行う分野について】

事前相談を行った後、出願期間中に書類とともに、「出願資格審査申請書」(本学所定の用紙 [様式4-2](#)) を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

※提出書類についての詳細は、P.34、35の「出願書類」を確認すること。

※志願票(1枚目)、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

- ・出願資格が認められた場合：

出願書類を正式に受理し、入試日程の調整を行う(入試日程が決まっている分野については、受験票を発送する)。

- ・出願資格が認められなかった場合：

主にメールにて連絡の上、入学検定料・出願書類を志願者宛に返却する。

入学検定料

30,000円

※P.72共通事項「入学検定料の納入方法」を参照の上、入学検定料を振込むこと。

出願上の注意

- 出願にあたってはP.5、6の表から志望分野・領域（コース）を一つ選ぶこと。
- P.9～11を参考に受講希望地を一つ選ぶこと。受講地が限定されている専攻・分野・領域（コース）があるので、P.9（受講地について）を必ず確認すること。
- 本学ホームページを参照の上、自らの目的・研究テーマと合致する研究指導教員を選び、出願前に、必ず個別に事前相談を行い、出願の許可を得た後、出願書類を提出する。
※各教員の研究テーマおよび事前相談の連絡先については本学ホームページ参照。
※事前相談の進め方についてはP.4参照。
- 記載の入試日程で受験できない者は、個別調整の上、試験を実施する場合がありますので、事前相談時に相談すること。

<看護学分野について>

- 感染管理・感染看護学領域、精神看護学領域、在宅看護学領域の志願者は、研究コースまたは専門看護師（CNSコース）のいずれかを選択し、必ず志願票の「コース名」欄に希望のコースを明記すること。
- 公衆衛生看護学領域の志願者は、研究コースまたは〔実践（保健師）コース〕のいずれかを選択し、必ず志願票の「コース名」欄に希望のコースを明記すること。
- 公衆衛生看護学領域〔実践（保健師）コース〕は、修了により保健師国家試験の受験資格を得られるカリキュラムのため、講義は平日日中に行われる。
働きながら就学するためには、職場における勤務調整ができ、2年次の臨地実習の期間中は休職することが前提となる。

<特定行為看護師養成分野について> ※厚生労働省 特定行為に係る看護師の研修制度 準拠

- 特定行為看護師養成分野は、厚生労働省「特定行為に係る看護師の研修制度」に準じて、最大で21区分38行為の特定行為にも対応した診療看護師（NP）の養成を目的とする大学院修士課程である。修了により大学院修士号および最大で21区分の特定行為研修修了証が取得でき、診療看護師（NP）資格認定試験の受験資格が得られる。
- 働きながら就学するためには職場における勤務調整ができ、2年次の臨床実習の期間中は休職することが前提となる。また、国際医療福祉大学関連病院および本学が厚生労働省に申請した協力施設で実習を行うことが入学の条件となるが、現勤務先等で実習を希望する場合は、事前相談時に、分野担当指導教員と入学後の状況についてよく話し合うこと。
- 原則として東京赤坂キャンパスで開講され、演習科目の一部は成田キャンパスで実施する。

<助産学分野について>

- 助産学分野志望者は、修士論文コース、実践（有資格者）コースから1コースを選択し、必ず志願票の「コース名」欄に希望のコースを明記すること。
- 助産学分野については、受講地が大田原・東京赤坂キャンパスのみとなる。
- 助産学分野の学内推薦入試については、第1回入試のみ募集する。

<福祉支援工学分野について>

- 福祉用具管理指導者領域志願者は、福祉用具管理指導者コース、福祉用具コースから1コースを選択し、必ず志願票の「コース」欄に希望のコースを明記すること。

出願上の注意

<放射線・情報科学分野について>

- 医用画像学領域の志願者は、基盤研究コースまたは医学物理コースのいずれかのコースを選択し、必ず志願票の「コース名」欄に希望のコースを明記すること。
- 放射線治療学領域の志願者は、基盤研究コース、医学物理コースから1コースを選択し、必ず志願票の「コース名」欄に希望のコースを明記すること。

<医療福祉教育・管理分野について>

- 医療福祉教育・管理分野は、修業年限が1年の1年修了コースと、2年の修士論文コースがある。
- 1年修了コースの以下のいずれかの場合は、学生納付金の授業料部分の金額が変わるので、P.68の学生納付金表欄外の注釈をよく確認すること。
 - ・本大学院修了（見込）生が、あらためて本分野に入学する場合
 - ・留年した場合
- 必ず志願票の「コース名」欄に希望のコースを明記すること。

<臨床検査学分野について>

- 先端医学検査コースまたは細胞検査士養成コースのいずれかのコースを選択し、必ず志願票の「コース名」欄に希望のコースを明記すること。

選抜方法

- 出願書類と下表の試験科目の結果を総合して可否を判定する。
- 時間割に変更がある場合は、受験票等により通知・連絡する。

分野	入試区分	試験時間		試験科目	備考
看護学 ^{※1}	一般入試 社会人入試	集合時間	13:00~13:15	—	●13:15から筆記試験入室開始。
		1時限目	13:30~14:45 (75分)	小論文試験	●1200字以内、分野に関する専門的なテーマから出題する。
		2時限目	15:00~	個人面接	—
	留学生入試	集合時間	13:00~13:15	—	●13:15から筆記試験入室開始。
		1時限目	13:30~14:30 (60分)	小論文試験	●600字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		2時限目	14:45~15:45 (60分)	日本語試験	●解答選択式 ●辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
		3時限目	16:00~	個人面接	—
学内推薦入試	—	—	書類選考	—	
看護学 〔公衆衛生看護学領域(実践(保健師)コース)] ^{※2}	一般入試	集合時間	11:45~12:00	—	—
		1時限目	12:15~13:15 (60分)	専門科目試験	●分野に関する専門科目試験。
		2時限目	13:30~14:45 (75分)	小論文試験	●1200字以内、分野に関する専門的なテーマから出題する。
		3時限目	15:00~	個人面接	—

※1 看護学分野周麻酔期看護学領域では、一般入試を実施しない。看護学分野看護教育学領域（CNEコース）では、社会人入試のみ実施する。

※2 看護学分野公衆衛生看護学領域（実践（保健師）コース）では、一般入試のみ実施する。

分野	入試区分	試験時間		試験科目	備考
特定行為看護師養成	社会人入試	入室時間	12:30~12:45	—	—
		1時限目	13:00~14:00 (60分)	小論文試験	●1200字以内、分野に関する専門的なテーマから出題する。
		2時限目	14:30~15:45 (75分)	専門科目試験	●分野に関する専門科目試験。
		2日目 3時限目	時間は別途指示 (正午頃の開始予定)	面接試験	—

※特定行為看護師養成分野は、社会人入試のみ実施する。

選抜方法

分野	入試区分	試験時間	試験科目	備考	
助産学	一般入試	入室時間	9:00~9:30	—	—
		1時限目	10:00~11:15 (75分)	小論文試験	●1200字以内、分野に関する専門的なテーマから出題する。
		2時限目	11:45~13:00 (75分)	学科試験	●専門科目(母性看護学領域)および英語を出題する。 ●英語試験での、辞書の持ち込み使用を可とする。
		3時限目	13:15~	個人面接	—
	社会人入試	入室時間	9:00~9:30	—	—
		1時限目	10:00~11:15 (75分)	小論文試験	●1200字以内、分野に関する専門的なテーマから出題する。
		2時限目	11:30~	個人面接	—
	留学生入試	入室時間	9:00~9:30	—	—
		1時限目	10:00~11:15 (75分)	小論文試験	●600字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		2時限目	11:45~13:00 (75分)	日本語試験	●解答選択式 ●辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
		3時限目	13:15~	個人面接	—
	学内推薦入試 (第1回入試のみ実施)	入室時間	9:00~9:30	—	—
		1時限目	10:00~	個人面接	—

分野	入試区分	試験時間	試験科目	備考	
福祉支援工学	一般入試	入室時間	13:00~13:15	—	—
		1時限目	13:30~14:45 (75分)	小論文試験	●1200字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		2時限目	15:00~	個人面接	—
	社会人入試	入室時間	13:00~13:15	—	—
		1時限目	13:30~	個人面接	—
	留学生入試	入室時間	12:00~12:15	—	—
		1時限目	12:30~13:30 (60分)	日本語試験	●解答選択式 ●辞書・電子辞書の持ち込みは不可とする。
		2時限目	13:45~14:45 (60分)	小論文試験	●600字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		3時限目	15:00~	個人面接	—
	学内推薦入試	—	書類選考	—	—

●試験開始時間は、個別調整の上、決定。受験票等により通知・連絡する。

分野	入試区分	試験科目	備考
理学療法学 作業療法学 言語聴覚 視機能療法学 リハビリテーション学 放射線・情報科学 (医学物理コースを除く) 生殖補助医療胚培養 医療福祉教育・管理※1 医療機器イノベーション	一般入試	●小論文試験(1200字以内・75分) ●個人面接	●小論文試験は、分野を問わず一般的なテーマから出題する。 ●日本語試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
	社会人入試	●個人面接	
	留学生入試	●日本語試験(60分・解答選択式) ●小論文試験(600字以内・60分) ●個人面接	
	学内推薦入試	●書類選考	
放射線・情報科学 (医学物理コース)	一般入試	●専門科目試験(記述式・90分) ●小論文試験(1200字以内・75分) ●個人面接	●小論文試験は、分野を問わず一般的なテーマから出題する。 ●日本語試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
	社会人入試	●専門科目試験(記述式・90分) ●個人面接	
	留学生入試	●日本語試験(60分・解答選択式) ●専門科目試験(記述式・90分) ●小論文試験(600字以内・60分) ●個人面接	
	学内推薦入試	●書類選考	
臨床検査学	一般入試	●英語試験(60分・記述式) ●小論文試験(1200字以内・75分) ●個人面接	●英語試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用を可とする。 ●小論文試験は、分野を問わず一般的なテーマから出題する。 ●日本語試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
	社会人入試	●英語試験(60分・記述式) ●個人面接	
	留学生入試	●日本語試験(60分・解答選択式) ●小論文試験(600字以内・60分) ●個人面接	
	学内推薦入試	●書類選考	
災害医療※2	一般入試	●英語試験(30分・記述式)	●英語試験での、辞書の持ち込みを可とする。(電子辞書は不可)。 ●小論文試験は、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
	社会人入試	●個人面接	
	留学生入試	●小論文試験(日本語1200字以内・75分) ●個人面接	

※1 医療福祉教育・管理分野〔修士論文コース〕では、留学生入試を実施しない。

医療福祉教育・管理分野〔1年修了コース〕では、一般入試・留学生入試を実施しない。

※2 災害医療分野では、学内推薦入試を実施しない。

分野	入試区分	試験時間	試験科目	備考	
遺伝カウンセリング	一般入試 社会人入試 留学生入試	入室時間	9:00~9:15	—	
		1時限目	9:30~10:20 (50分)	英語試験	●辞書・電子辞書の持ち込みは不可とする。
		2時限目	10:35~11:25 (50分)	基礎科目試験	●基礎科目試験は、遺伝学、カウンセリング理論、生命・医療倫理学分野の基本的事項を出題する。
		3時限目	11:40~12:30 (50分)	小論文試験	●小論文試験は、分野に関する専門的なテーマから出題する。
		4時限目	13:00~	個人面接	志願者数に応じて、筆記試験の結果により個人面接対象者を選抜することがある。
	学内推薦入試	—	書類選考	—	

出願書類

全 員 提 出	志願票 様式1	P.81、82「志願票等の記入方法」を参照の上、所定用紙 様式1 に必要事項を記入すること。
	写真	出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、背景なしのものとし、裏面には氏名、志望分野を記入した上で、志願票の所定欄に貼付すること。 ※カラー・白黒いずれも可、スピード写真も可。
	成績証明書 (原本または Certified Copy)	<p><一般入試志願者・社会人入試志願者・留学生入試志願者></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出願資格(1)・(3)・(4)・(5)・(6)・(7)・(8)に該当する者： 出願資格を満たす大学等の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。 ※通常は学士の学位を取得した大学のもの。編入学・転入学した場合は、それ以前の大学等の「成績証明書」も可能な限り提出すること。 ● 出願資格(2)に該当する者： 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が証明した「学位授与証明書（原本）」（授与見込の場合は、「学位授与申請受理証明書」を提出すること）、学位授与の対象となった専攻に関する学校の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。 ● 出願資格(9)に該当する者： 出願資格審査の申請条件に該当する国家資格の受験資格を取得した学校の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。 ※出願資格審査の申請条件が、国家資格の保持でない場合も、必ず最終学歴校の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。
	卒業（見込）証明書 (原本または Certified Copy)	<ul style="list-style-type: none"> ● 出願資格(10)による出願の場合： 事前に東京赤坂キャンパス入試事務室と相談の上、指示にしたがって各証明書を提出すること。 ◆ 上記の学校以外で、出願分野に関連する医療専門資格の受験資格を取得した者： 上記の学校の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」に加え、医療専門資格の受験資格を取得した教育機関（短期大学・専門学校・各種学校等）の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」も可能な限り提出すること。 ※卒業後の年数経過等の理由により「成績証明書」を発行できない場合、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。「単位修得証明書」も発行できない場合は、「卒業証明書」と当該学校作成の「単位修得証明書を発行できない旨を記載した文書」を提出してください。 <p><学内推薦入試志願者> 国際医療福祉大学の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。 ※各証明書については必ず原本を提出すること。</p>
志願理由書・研究計画書 様式3	<p>所定用紙 様式3 に志願理由を含んだ研究計画を2,000字以内で記入すること（文字数に参考文献は含めない）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※看護学分野（専門看護師（CNS）コース）、特定行為看護師養成分野、生殖補助医療胚培養分野、臨床検査学分野（細胞検査士養成コース）の志願者は志願理由のみでも可。 ※助産学分野（実践コース）の志願者は、「志願理由・これまでの研究および今後の研究について」記入すること。 ※所定用紙 様式3 を使用せず、パソコンなどで作成する場合は、必ず文頭に「志願理由書・研究計画書」である旨と、志望課程・専攻・分野および氏名を明記の上、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。 	

- ※成績証明書・卒業証明書が卒業校の事情により提出できない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること。
 ※証明書類のうち、再発行不可のものについては返却するので提出時に入試事務室へ申し出ること。
 ※外国語の証明書類等には日本語訳または英語訳を添付すること。なお科目、成績評価等が符号または略字等により表記されている場合は、その説明を添付すること。
 ※志願票等の所定用紙は本学ホームページ (<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>) からダウンロードして利用すること。
 ※ダウンロード可能な書類についてはパソコンを使用しての記入も可とする。提出する際はA4縦の用紙に印刷して提出すること。
 ※日本国外在住の留学希望者が海外から直接出願する場合、上記以外にも必要となる提出書類があるので、出願前に必ず東京赤坂キャンパス入試事務室 (TEL: 03-5574-3903 E-mail: daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp) まで問い合わせること。
 ※提出する証明書類は、「ホッチキス留め」、「糊付け」などをしないこと。
 ※研究業績一覧は、「ファイリング」「ホッチキス留め」などをしないこと。
 ※電子メディア (CD-ROM、USB等) の提出は不可とする。

該当者のみ提出	出願資格審査申請書 <small>様式4-1</small> または <small>様式4-2</small>	<p><出願資格(9)に該当し、出願資格審査を申請する者のみ> 所定用紙<small>様式4-1</small>に必要事項を記入し、相談教員の許可を得たものを提出すること。 出願と同時に出願資格審査を実施する分野については<small>様式4-2</small>に必要事項を記入し、提出すること。</p>
	取得資格免許証のコピー	<p><出願資格において、国家資格等を所持していることが条件になっている場合や、出願資格(9)に該当し、資格所持の条件にて出願する者> 出願資格で指定された国家資格等の免許証をA4サイズにコピーして提出すること。</p>
	在籍証明書 等	<p><看護学分野周麻酔期看護学領域志願者（全員）> 看護師としての実務経験が3年以上となることを証明する、勤務先が発行する在籍証明書（在籍期間・在籍部署が明記されているもの）等を提出すること（書式自由）。</p> <p><特定行為看護師養成分野志願者（全員）> 日本での常勤看護師としての臨床経験が原則5年以上となることを証明する、勤務先が発行する在籍証明書（在籍期間が明記されているもの）等を提出すること（書式自由）。 ※複数箇所を通算5年以上となる者は、過去の勤務先の在籍証明書等、合算して5年以上の勤務歴を証明できる書類も提出すること。 ※常勤・非常勤の別を明記すること。非常勤の場合は、特に勤務形態（勤務日数・時間）について詳細が分かるものを提出すること。</p> <p><出願資格(9)に該当し、出願資格審査を申請する者のうち、生殖補助医療胚培養分野の申請条件①で申請する者> 胚培養の仕事にたずさわっていることが証明できる、勤務先により発行された在籍証明書を提出すること（書式自由）。</p> <p><留学生入試志願者（該当者）> 留学ビザで日本に滞在している者は、在留資格に該当している在籍校（専門学校、日本語学校など）の在籍証明書を提出すること。既に卒業や退学している場合でも、可能な限り過去在籍証明書を提出すること。</p>
	看護学分野 就学承諾書 <small>様式6</small>	<p><周麻酔期看護学領域志願者のうち、在職のまま進学をする者> 所定用紙<small>様式6</small>に現在の勤務先の所属長の署名・捺印がされたものを提出すること。</p>
	特定行為看護師養成分野 推薦書 <small>様式7</small>	<p><特定行為看護師養成分野志願者（全員）> 所定用紙<small>様式7</small>を提出すること。推薦者は、志願者が論文指導を受けた教授（またはそれに準ずる者）とする。論文指導を受けていない場合は、過去または現在の職場の上司でも可とする。</p>
	学内推薦入試 推薦書 <small>様式5</small>	<p><学内推薦入試志願者（全員）> 所定用紙<small>様式5</small>に推薦者（本学専任教員に限る）の署名・捺印がされたものを提出すること。 ※助産学分野志願者は必ず特記事項を記入してもらうこと。</p>
	研究業績一覧	<p><研究業績がある者（任意提出）> これまでの研究業績（学会発表や研究論文等）をまとめ、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。</p> <p><出願資格(9)に該当し、出願資格審査を申請する者のうち、臨床検査学分野先端医学検査コースの申請条件②で申請する者> 生命科学分野で学士論文に相当する論文を提出すること。</p>
	戸籍抄本等	<p><出願時点で氏の氏名が、成績証明書・資格免許証等の提出書類に記載の氏名と異なる者のみ> 本人であることを証明する書類（戸籍抄本等）を提出すること。</p>
	留学生個人票 <small>様式2</small>	<p><留学生のみ> 所定用紙<small>様式2</small>を使用すること。記入にあたってはP.83「志願票等の記入方法」を参照すること。</p>
	パスポートのコピー	<p><留学生のみ> パスポートをA4サイズにコピーして提出すること。</p>
	住民票（原本）もしくは在留カードのコピー	<p><日本国内に在留している外国籍の者のみ> 在留資格および在留期間が確認できるものをA4サイズにコピーして提出すること。</p>
	日本語能力試験結果等	<p><留学生で日本語能力試験合格者のみ> 日本語能力試験合格を証明する証明書を提出すること（合否結果通知書または認定書の場合は、A4サイズにコピーして提出すること）。 ※この他の試験・検定等で、日本語能力を証明する書類を提出できる者は、参考資料とするので、A4サイズにコピーして提出すること。</p>

募集人員

課程・専攻	募集人員
修士課程 医療福祉経営専攻	50名

出願資格

1. 一般入試

分野	出願資格
医療経営管理 診療情報アナリスト養成 〔研究コース〕 先進的ケア・ネットワーク開発研究 〔介護福祉・ケアマネジメント学領域〕 医療福祉学 医療福祉ジャーナリズム 医療通訳・国際医療マネジメント 〔修士論文コース〕	<p>次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1)大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者</p> <p>(2)学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、および2026年3月末までに授与見込みの者（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、および授与見込みの者）</p> <p>(3)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者</p> <p>(4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者</p> <p>(5)日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者</p> <p>(6)外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了し学士の学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与見込みの者</p> <p>(7)専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準に該当するものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者（高度専門士の称号を授与された者、および授与見込みの者）</p> <p>(8)文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号） ※小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭、もしくは養護教諭の専修免許状または一種免許状を有する者で、2026年4月1日現在満22歳以上のもの、等</p> <p>(9)上記(1)～(8)に該当しない者のうち、2026年4月1日現在満22歳以上の者で、本大学院による出願資格審査において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの（短期大学・専門学校等を卒業した者や、外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、本大学院の定める出願資格審査の申請条件に該当するもの）</p> <p>(10)上記(1)～(9)に該当しない者のうち、本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者</p>
診療情報アナリスト養成 〔実践コース〕	<p>一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、診療情報管理士の資格を有する者、または診療情報管理士認定試験受験資格を有し診療情報管理士資格を取得見込みの者※</p> <p>※入学時、診療情報管理士認定試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す。</p>
先進的ケア・ネットワーク開発研究 〔自立支援介護学領域〕 〔自立支援実践ケアマネジメント学領域〕	<p>一般入試は実施しません</p> <p>※本コースへの出願を希望する場合は、社会人入試、留学生入試、学内推薦入試のいずれかによる出願となります。なお、出願にあたっては、出願する入試区分の出願資格を満たしている必要があります。</p>
医療通訳・国際医療マネジメント 〔1年修了コース〕	<p>一般入試は実施しません</p> <p>※本分野への出願を希望する場合は、社会人入試での出願となります。なお、出願にあたっては、社会人入試の出願資格を満たしている必要があります。</p>

※一般入試の出願資格(9)で出願しようとする者は、P.40、41「出願資格審査」を確認すること。

※一般入試の出願資格(10)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）まで問い合わせること。

2. 社会人入試

分野	出願資格
医療経営管理 診療情報アナリスト養成 [研究コース] 先進的ケア・ネットワーク開発研究 [介護福祉・ケアマネジメント学領域] 医療福祉学 医療福祉ジャーナリズム 医療通訳・国際医療マネジメント [修士論文コース]	一般入試の出願資格(1)~(10)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、職務経験が3年以上となる者
診療情報アナリスト養成 [実践コース]	一般入試の出願資格(1)~(10)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、職務経験が3年以上となる者で、次のいずれかの条件を満たすもの <ul style="list-style-type: none"> ・診療情報管理士の資格を有する者、または診療情報管理士認定試験受験資格を有し診療情報管理士資格を取得見込みの者※ ・本学入学までに診療情報管理の実務経験が3年以上となる者 ※入学時、診療情報管理士認定試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す。
先進的ケア・ネットワーク開発研究 [自立支援介護学領域]	一般入試の出願資格(1)~(10)のいずれかの条件を満たし、次のいずれかの条件を満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ・介護事業の管理運営経験が本学入学までに3年以上となる者 ・介護福祉士国家資格を有する者で、本学入学までに介護福祉士としての実務経験が3年以上となるもの
先進的ケア・ネットワーク開発研究 [自立支援実践ケアマネジメント学領域]	一般入試の出願資格(1)~(10)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに原則3年以上の保健医療福祉に関する実務経験を有する者
医療通訳・国際医療マネジメント [1年修了コース]	一般入試の出願資格(1)~(10)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、職務経験が3年以上となる者で、以下のすべての条件を満たすもの <ul style="list-style-type: none"> ・対象とする言語において、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）におけるB1レベル程度の語学力を有する者（CEFRと主な語学試験のスコアの関係についてはP.46の表を参照） ・医療通訳・国際医療マネジメントに関係する領域において一定（3年程度）以上の経験を有する者

※一般入試の出願資格(9)で出願しようとする者は、P.40、41「出願資格審査」を確認すること。

※一般入試の出願資格(10)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）まで問い合わせること。

出願資格

3. 留学生入試

日本国外に居住し、日本の在留資格を有していない者、または、在留資格「短期滞在」の者は、必ず2025年12月1日(月)までに東京赤坂キャンパス入試事務室に連絡の上出願すること。

分野	出願資格
医療経営管理 診療情報アナリスト養成 [研究コース] 先進的ケア・ネットワーク開発研究 [介護福祉・ケアマネジメント学領域] 医療福祉学 医療福祉ジャーナリズム 医療通訳・国際医療マネジメント [修士論文コース]	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、入学時までに「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者
診療情報アナリスト養成 [実践コース]	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、入学時までに「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者で、次のいずれかの条件を満たすもの ・日本の診療情報管理士の資格を有する者、または診療情報管理士認定試験受験資格を有し診療情報管理士資格を取得見込みの者※ ・本学入学までに日本において診療情報管理の実務経験が3年以上となる者 ※入学時、診療情報管理士認定試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す。
先進的ケア・ネットワーク開発研究 [自立支援介護学領域]	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、入学時までに「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者であり、次のいずれかの条件を満たすもの ・介護事業の管理運営経験が本学入学までに3年以上となる者 ・介護福祉士国家資格を有する者で、本学入学までに介護福祉士としての実務経験が3年以上となるもの
先進的ケア・ネットワーク開発研究 [自立支援実践ケアマネジメント学領域]	一般入試の出願資格(1)～(10)のいずれかの条件を満たし、入学時までに「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者であり、本学入学までに原則3年以上の保健医療福祉に関する実務経験を有するもの
医療通訳・国際医療マネジメント [1年修了コース]	留学生入試は実施しません ※本分野への出願を希望する場合には、社会人入試での出願となります。なお、出願にあたっては、社会人入試の出願資格を満たしている必要があります。

※留学生入試志願者は、日本語能力試験N1（1級）程度の日本語能力を有していることが望ましい。

※一般入試の出願資格(9)で出願しようとする者は、P.40、41「出願資格審査」を確認すること。

※一般入試の出願資格(10)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室まで問い合わせること。

〈連絡先〉東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）

4. 学内推薦入試

学内推薦入試の出願手続については、P.80「学内推薦入試（医療福祉学研究科）手続フローチャート」を確認すること。

分野	出願資格
医療経営管理 診療情報アナリスト養成 【研究コース】 先進的ケア・ネットワーク開発研究 【介護福祉・ケアマネジメント学領域】 医療福祉学 医療福祉ジャーナリズム	国際医療福祉大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者で、本学専任教員が推薦し ^{※1} 卒業（見込）学科の現学科長が承認したもの ^{※2}
診療情報アナリスト養成 【実践コース】	国際医療福祉大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者で、以下のいずれかの条件を満たし、本学専任教員が推薦し ^{※1} 卒業（見込）学科の現学科長が承認したもの ^{※2} ・診療情報管理士の資格を有する者、または診療情報管理士認定試験受験資格を有し診療情報管理士資格を取得見込みの者 [※] ・本学入学までに診療情報管理の実務経験が3年以上となる者 ※入学時、診療情報管理士認定試験に合格していることを入学の条件とする。不合格の場合は入学許可を取り消す。
先進的ケア・ネットワーク開発研究 【自立支援介護学領域】	国際医療福祉大学を卒業した者で、本学専任教員が推薦し ^{※1} 卒業学科の現学科長が承認した者 ^{※2} であり、次のいずれかの条件を満たすもの ・介護事業の管理運営経験が本学入学までに3年以上となる者 ・日本の介護福祉士国家資格を有する者で、本学入学までに介護福祉士としての実務経験が3年以上となるもの
先進的ケア・ネットワーク開発研究 【自立支援実践ケアマネジメント学領域】	国際医療福祉大学を卒業した者で、本学専任教員が推薦し ^{※1} 卒業学科の現学科長が承認した者 ^{※2} であり、本学入学までに原則3年以上の保健医療福祉に関する実務経験を有するもの
医療通訳・国際医療マネジメント	学内推薦入試は実施しません

※1 推薦者は、出願時点で、大学・大学院を問わず、本学（全キャンパス）に在籍する教員に限る。

推薦を得られない場合は、他の該当する入試区分で出願すること。

※2 承認を得られない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室より、入試区分変更の通知を行うので、学内推薦入試以外の入試区分で受験すること。

※3 福岡国際医療福祉大学も対象とする。

出願資格審査

一般入試・社会人入試・留学生入試における出願資格(9)で出願しようとする場合は、下記の申請条件を確認の上、出願資格審査を申請すること。(事前相談と同時に出願資格審査を行う)

※一部の分野では出願と同時に出願資格審査を行うため、事前相談時の出願資格審査申請書の提出は不要。詳しくは相談教員へ問い合わせること。

※入学時まで「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者は、留学生に対する条件での申請を認める。

【申請条件】

分 野	申 請 条 件
医 療 経 営 管 理	主に医療福祉に係る専門資格を有する者 ※留学生の場合は、外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。
診療情報アナリスト養成 〔実践コース〕	診療情報管理士の資格を有する者、または本学入学までに診療情報管理の実務経験が3年以上となる者 ※留学生の場合についても、日本国内の上記資格を有している者に限る。
診療情報アナリスト養成 〔研究コース〕	主に医療福祉に係る専門資格を有する者 ※留学生の場合は、外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。
先進的ケア・ネットワーク開発研究 〔介護福祉・ケアマネジメント学領域〕	次のいずれかの資格を有する者 ①医療福祉関連の国家資格 ②主任介護支援専門員 ③日本ケアマネジメント学会認定ケアマネジャー ※留学生の場合は、上記に加え、日本もしくは外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。
先進的ケア・ネットワーク開発研究 〔自立支援介護学領域〕	次のいずれかの条件を満たす者 ①介護事業の管理運営経験が本学入学までに3年以上となる者 ②介護福祉士国家資格を有する者で、本学入学までに介護福祉士としての実務経験が3年以上となるもの
先進的ケア・ネットワーク開発研究 〔自立支援実践ケアマネジメント学領域〕	本学入学までに原則3年以上の保健医療福祉に関する実務経験を有する者
医 療 福 祉 学	医療福祉関連の国家資格を有する者 ※留学生の場合は、外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。
医療福祉ジャーナリズム	次のいずれかの条件を満たす者 ①既にジャーナリストとして発信している者 ②医療福祉関係の仕事を体験している者 ③主に医療福祉に係る専門資格を有する者 ※留学生の場合は、上記に加え、日本もしくは外国の医療関係の資格を有する者の申請も許可する。
医療通訳・国際医療マネジメント	次のいずれかの条件を満たす者 ①主に医療福祉に係る専門資格を有する者 ②医療通訳・国際医療マネジメントに係る仕事に従事している者

【申請方法】

「出願資格審査申請書」(本学所定の用紙 [様式4-1](#)) に記入し事前相談時に提出すること。事前相談を行った後、出願期間中に書類とともに、下記の書類を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

- ・「出願資格審査申請書」(本学所定の用紙 [様式4-1](#))
- ・「資格の免許証・認定証・修了証等のコピー」(A4サイズに統一すること)
- ・「活動経歴・職務経歴書」(医療福祉ジャーナリズム分野に出願資格審査申請条件①・②で申請する者)

※提出書類についての詳細は、P.44~46の「出願書類」を確認すること。

※志願票(1枚目)、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

【審査方法】

志願者は相談教員へ出願資格(9)出願資格審査で出願する旨を伝え、教員が出願資格の審査を行う。

出願資格審査

【審査結果】

出願資格が認められた場合：

出願の許可（教員のサイン）を得た後、出願期間中に出願書類とともに、下記の書類を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

- ・「出願資格審査申請書」（教員のサインが入ったもの）
- ・「取得資格の免許証のコピー」等 出願資格に該当する書類（A4サイズに統一すること）

※提出書類は分野により異なるので該当部分を確認すること。

※志願票（1枚目）の最下段、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

※出願資格審査の申請手続については、P.80の【出願資格審査（医療福祉学研究所・薬学研究科）手続フローチャート】を確認すること。

【出願と同時に出願資格審査を行う分野について】

事前相談を行った後、出願期間中に出願書類とともに、「出願資格審査申請書」（本学所定の用紙 様式4-2）を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

※提出書類についての詳細は、P.44、45の「出願書類」を確認すること。

※志願票（1枚目）、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

- ・出願資格が認められた場合：

出願書類を正式に受理し、入試日程の調整を行う（入試日程が決まっている分野については、受験票を発送する）。

- ・出願資格が認められなかった場合：

主にメールにて連絡の上、入学検定料・出願書類を志願者宛に返却する。

入学検定料

30,000円

※P.72共通事項「入学検定料の納入方法」を参照の上、入学検定料を振込むこと。

出願上の注意

- 出願にあたってはP.6の該当する表から志望分野・領域（コース）を一つ選ぶこと。
- P.9～11を参考に受講希望地を一つ選ぶこと。
- 本学ホームページを参照の上、自らの目的・研究テーマと合致する研究指導教員を選び、出願前に、必ず個別に事前相談を行い、出願の許可を得た後、出願書類を提出する。
※各教員の研究テーマおよび事前相談の連絡先については本学ホームページ参照。
※事前相談の進め方についてはP.4参照。
- 記載の入試日程で受験できない者は、個別調整の上、試験を実施することがあるので、事前相談時に相談すること。

<医療経営管理分野について>

- 医療経営戦略コース（h-MBAコース）または医療福祉管理学コース（研究コース）のいずれかを選択し、必ず志願票の「コース名」欄に希望のコースを明記すること。

※各コースの共通科目は、東京赤坂キャンパスのみで開講される。

<診療情報アナリスト養成分野について>

- 実践コースまたは研究コースのいずれかを選択し、必ず志願票の「コース名」欄に希望のコースを明記すること。
- 出願にあたっては、次の受講上の注意点を考慮すること。
 - ・授業形態は、eラーニングと教室での授業である。

<先進的ケア・ネットワーク開発研究分野について>

- 修業年限が1年の自立支援介護学領域・自立支援実践ケアマネジメント学領域と、2年の介護福祉・ケアマネジメント学領域がある。
- 修業年限が1年のコースで留年した場合は、学生納付金の授業料部分の金額が変わるので、P.69の学生納付金表欄外の注釈をよく確認すること。

<医療通訳・国際医療マネジメント分野について>

- 修業年限が1年の1年修了コース（英語・中国語）と、2年の修士論文コースを開講している。
- 必ず志願票の「コース名」欄に希望のコースを明記すること。
- 留年した場合は、学生納付金の授業料部分の金額が変わるので、P.69の学生納付金表欄外の注釈をよく確認すること。

選抜方法

- 出願書類と下表の試験科目の結果を総合して可否を判定する。
- 時間割に変更がある場合は、受験票等により通知・連絡する。

分野	入試区分	試験時間		試験科目	備考
医療経営管理	一般入試	入室時間	9:00~9:15	—	—
		1時限目	9:30~10:45 (75分)	小論文試験	●1200字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		2時限目	11:00~	個人面接	—
	社会人入試	入室時間	9:00~9:15	—	—
		1時限目	9:30~	個人面接	—
	留学生入試	入室時間	9:00~9:15	—	—
		1時限目	9:30~10:30 (60分)	日本語試験	●解答選択式 ●辞書・電子辞書の持ち込みは不可とする。
		2時限目	10:45~11:45 (60分)	小論文試験	●600字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		3時限目	12:00~	個人面接	—
	学内推薦入試	—	書類選考	—	—

分野	入試区分	試験時間		試験科目	備考
診療情報アナリスト養成 〔実践コース〕 〔研究コース〕	一般入試 社会人入試	入室時間	9:00~9:15	—	—
		1時限目	9:30~10:30 (60分)	小論文試験	●1200字以内、分野に関する専門的なテーマから出題する。
		2時限目	11:00~	個人面接	—
	留学生入試	入室時間	9:00~9:15	—	—
		1時限目	9:30~10:30 (60分)	小論文試験	●1200字以内、分野に関する専門的なテーマから出題する。
		2時限目	10:45~11:45 (60分・ 解答選択式)	日本語試験	●辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
		3時限目	12:00~	個人面接	—
	学内推薦入試	—	●書類選考	—	—

分野	入試区分	試験科目	備考
先進的ケア・ネットワーク開発研究* 医療福祉学 医療福祉ジャーナリズム	一般入試	●小論文試験（1200字以内・75分） ●個人面接	●小論文試験は、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
	社会人入試	●個人面接	
	留学生入試	●日本語試験（60分・解答選択式） ●小論文試験（600字以内・60分） ●個人面接	●日本語試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
	学内推薦入試	●書類選考	

* 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野の自立支援介護学領域および自立支援実践ケアマネジメント学領域では一般入試を実施しない。

※試験開始時間は、個別調整の上、決定。受験票等により通知・連絡する。

分野	入試区分	試験科目	備考
医療通訳・国際医療マネジメント 〔1年修了コース(英語・中国語)〕	社会人入試	●個人面接 ●語学試験 (記述式：60分・英語もしくは中国語) (口述式：10分・英語もしくは中国語)	●語学試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
医療通訳・国際医療マネジメント 〔修士論文コース〕	一般入試	●小論文試験（1200字以内・75分） ●英語試験（60分・記述式） ●個人面接	●小論文試験は、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
	社会人入試	●英語試験（60分・記述式） ●個人面接	●英語試験・日本語試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
	留学生入試	●書類選考 ●日本語試験（60分・解答選択式） ●英語試験（60分・記述式） ●小論文試験（600字以内・60分） ●個人面接	●留学生入試では、日本語能力試験N1取得者は、日本語試験を免除する。

※試験開始時間は、個別調整の上、決定。受験票等により通知・連絡する。

出願書類

全 員 提 出	志願票 様式1	P.81、82「志願票等の記入方法」を参照の上、所定用紙 様式1 に必要事項を記入すること。
	写真	出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、背景なしのものとし、裏面には氏名、志望分野を記入した上で、志願票の所定欄に貼付すること。 ※カラー・白黒いずれも可、スピード写真も可。
	成績証明書 (原本または Certified Copy)	<p><一般入試志願者・社会人入試志願者・留学生入試志願者></p> <ul style="list-style-type: none"> ●出願資格(1)・(3)・(4)・(5)・(6)・(7)・(8)に該当する者： 出願資格を満たす大学等の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。 ※通常は学士の学位を取得した大学のもの。編入学・転入学した場合は、それ以前の大学等の「成績証明書」も可能な限り提出すること。 ●出願資格(2)に該当する者： 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が証明した「学位授与証明書（原本）」（授与見込の場合は、「学位授与申請受理証明書」を提出すること）、学位授与の対象となった専攻に関する学校の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。 ●出願資格(9)に該当する者： 出願資格審査の申請条件に該当する資格の受験資格を取得した学校の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。 ※短期大学・専門学校などの養成校を経ず、通信教育等により出願資格審査の申請条件に該当する資格を取得した場合は、最終学歴校の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。 ※出願資格審査の申請条件が、資格の保持でない場合も、必ず最終学歴校の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。 ●出願資格(10)による出願の場合： 事前に東京赤坂キャンパス入試事務室と相談の上、指示にしたがって各証明書を提出すること。 ※卒業後の年数経過等の理由により「成績証明書」を発行できない場合、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。「単位修得証明書」も発行できない場合は、「卒業証明書」と当該学校作成の「単位修得証明書を発行できない旨を記載した文書」を提出してください。 <p><学内推薦入試志願者></p> <p>国際医療福祉大学の「成績証明書」・「卒業（見込）証明書」を提出すること。 ※各証明書については必ず原本を提出すること。</p>
	卒業（見込）証明書 (原本または Certified Copy)	<p>※卒業後の年数経過等の理由により「成績証明書」を発行できない場合、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。「単位修得証明書」も発行できない場合は、「卒業証明書」と当該学校作成の「単位修得証明書を発行できない旨を記載した文書」を提出してください。</p>
	志願理由書・研究計画書 様式3	<p>所定用紙 様式3 に志願理由を含んだ研究計画を2,000字以内で記入すること（文字数に参考文献は含めない）。</p> <p>※医療経営管理分野 医療経営戦略コース（h-MBAコース）、医療福祉ジャーナリズム分野、医療通訳・国際医療マネジメント分野（1年修了コース（英語・中国語））の志願者は志願理由のみでも可。</p> <p>※所定用紙 様式3 を使用せず、パソコンなどで作成する場合は、必ず文頭に「志願理由書・研究計画書」である旨と、志望課程・専攻・分野および氏名を明記の上、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。</p>

- ※成績証明書・卒業証明書が卒業校の事情により提出できない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること。
- ※証明書類のうち、再発行不可のものについては返却するので提出時に入試事務室へ申し出ること。
- ※外国語の証明書類等には日本語または英語訳を添付すること。なお科目、成績評価等が符号または略字等により表記されている場合は、その説明を添付すること。
- ※志願票等の所定用紙は本学ホームページ (<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>) からダウンロードして利用すること。ダウンロード可能な書類についてはパソコンを使用しての記入も可とする。提出する際はA4縦の用紙に印刷して提出すること。
- ※日本国外在住の留学希望者が海外から直接出願する場合、上記以外にも必要となる提出書類があるので、出願前に必ず東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）まで問い合わせること。
- ※提出する証明書類は、「ホッチキス留め」、「糊付け」などをしないこと。
- ※研究業績一覧は、「ファイリング」「ホッチキス留め」などをしないこと。
- ※電子メディア（CD-ROM、USB等）の提出は不可とする。

該当者のみ提出	出願資格審査申請書 様式4-1または様式4-2	<p><出願資格(9)に該当し、出願資格審査を申請する者のみ> 所定用紙様式4-1に必要事項を記入し、相談教員の許可を得たものを提出すること。 出願と同時に出願資格審査を実施する分野については様式4-2に必要事項を記入し、提出すること。</p>
	取得資格免許証のコピー	<p><出願資格において、国家資格等を所持していることが条件になっている場合や、出願資格(9)に該当し、資格所持の条件にて出願する者> 出願資格で指定された資格の免許証等をA4サイズにコピーして提出すること。 <医療通訳・国際医療マネジメント分野志願者(該当する者のみ)> ヨーロッパ共通参照枠(CEFR: Common European Framework of Reference for Languages)の基準を満たしている者(次項参照)は、基準を満たしていることが分かる証明書類をA4サイズにコピーして提出すること。</p>
	在籍証明書等	<p><診療情報アナリスト養成分野〔実践コース〕(該当者)> 診療情報管理の実務経験が3年以上となることを証明する、勤務先が発行する在籍証明書(在籍期間が明記されているもの)等を提出すること(書式自由)。 <先進的ケア・ネットワーク開発研究分野の自立支援介護学領域の志願者(全員)> 介護事業の管理運営経験が3年以上となる者は、そのことを証明する、勤務先が発行する在籍証明(在籍期間が明記されているもの)等を提出すること(書式自由)。 介護福祉士国家資格を有する者で、介護福祉士としての実務経験が3年以上となるものは、そのことを証明する、勤務先が発行する在籍証明(在籍期間が明記されているもの)等を提出すること(書式自由)。 <留学生入試志願者(該当者)> 留学ビザで日本に滞在している者は、在留資格に該当している在籍校(専門学校、日本語学校など)の在籍証明書を提出すること。既に卒業や退学している場合でも、可能な限り過去在籍証明書を提出すること。</p>
	活動経歴・職務経歴書	<p><出願資格(9)に該当し、出願資格審査を申請する者のうち、医療福祉ジャーナリズム分野の申請条件①・②で申請する者> 過去・現在の活動経歴・職務経歴の概略をまとめ、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。</p>
	学内推薦入試 推薦書 様式5	<p><学内推薦入試志願者(全員)> 所定用紙様式5に推薦者(本学専任教員に限る)の署名・捺印がされたものを提出すること。</p>
	研究業績一覧	<p><研究業績がある者(任意提出)> これまでの研究業績(学会発表や研究論文等)をまとめ、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。</p>
	戸籍抄本等	<p><出願時点での氏名が、成績証明書・資格免許証等の提出書類に記載の氏名と異なる者のみ> 本人であることを証明する書類(戸籍抄本等)を提出すること。</p>
	留学生個人票 様式2	<p><留学生のみ> 所定用紙様式2を使用すること。記入にあたってはP.83「志願票等の記入方法」を参照すること。</p>
	パスポートのコピー	<p><留学生のみ> パスポートをA4サイズにコピーして提出すること。</p>
	住民票(原本)もしくは在留カードのコピー	<p><日本国内に在留している外国籍の者のみ> 在留資格および在留期間が確認できるものをA4サイズにコピーして提出すること。</p>
日本語能力試験結果等	<p><留学生で日本語能力試験合格者のみ> 日本語能力試験合格を証明する証明書を提出すること(合否結果通知書または認定書の場合は、A4サイズにコピーして提出すること)。 ※この他の試験・検定等で、日本語能力を証明する書類を提出できる者は、参考資料とするので、A4サイズにコピーして提出すること。</p>	

出願書類

■ヨーロッパ共通参照枠（CEFR: Common European Framework of Reference for Languages）と各試験スコアの比較表 <医療通訳・国際医療マネジメント分野志願者>

ヨーロッパ共通参照枠 (CEFR)		英語			中国語
		TOEIC/TOEIC L&R	TOEFL(iBT)	英検	新HSK
熟達した言語 使用者	C 2				6級
	C 1	Listening 490~ Reading 455~	95-120	1級	5級
自立した言語 使用者	B 2	Listening 400~ Reading 385~	72-94	準1級	4級
	B 1	Listening 275~ Reading 275~	42-71	2級	3級
基礎段階の言語 使用者	A 2	Listening 110~ Reading 115~		準2級	2級
	A 1	Listening 60~ Reading 60~		3級-5級	1級

(出典：TOEIC (IBC)、TOEFL (米国ETS)、英検 (日本英語検定協会)、新HSK (HSK))

■公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会 第1種指定大学院

本大学院の修士課程 臨床心理学専攻では、研究者や教育者はもとより、他分野の専門職と協働して医療・福祉・保健の分野に貢献でき、現代社会のニーズに応えることのできる高度専門職業人としての臨床心理士の育成を目指します。そのため、大学の心理学系学科・コース卒業（見込）者か否かに関わらず、医療・福祉・保健の分野に関心のある方の出願も可能です。

■国家資格 公認心理師の受験資格に対応したカリキュラムを展開

2017年から施行された国家資格の公認心理師の受験資格を得ることができるカリキュラムを設定しています。なお、カリキュラムを履修するためには、大学において公認心理師の受験資格に対応した心理学系の学科・コースなどを卒業していることが必須となります。

募集人員

課程・専攻	募集人員
修士課程 臨床心理学専攻	35名

(※学内推薦入試を含む)

出願資格

修士課程 臨床心理学専攻では、社会人入試・留学生入試を実施しません。志願者は全員、一般入試で出願してください。

1. 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者

- (1)大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者
- (2)学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、および2026年3月末までに授与見込みの者（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、および授与見込みの者）
- (3)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者
- (4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者
- (5)日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者
- (6)外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了し学士の学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与見込みの者
- (7)専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準に該当するものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者（高度専門士の称号を授与された者、および授与見込みの者）
- (8)文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
※小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭、もしくは養護教諭の専修免許状または一種免許状を有する者で、2026年4月1日現在満22歳以上のもの、等
- (9)上記(1)～(8)に該当しない者のうち、2026年4月1日現在満22歳以上の者で、本大学院による出願資格審査において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの（短期大学・専門学校等を卒業した者や、外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、本大学院の定める出願資格審査の申請条件に該当するもの）
- (10)上記(1)～(9)に該当しない者のうち、本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※出願資格(9)で出願しようとする者は、P.48「出願資格審査」を確認すること。

※出願資格(10)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室まで問い合わせること。

※日本国外に居住し、日本の在留資格を有していない者、または、在留資格「短期滞在」の者は、必ず出願期間開始日までに東京赤坂キャンパス入試事務室に連絡の上出願すること。

〈連絡先〉東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）

出願資格審査	一般入試における出願資格(9)で出願しようとする場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室へ連絡し、申請方法を確認すること。
入学検定料	30,000円 ※P.72共通事項「入学検定料の納入方法」を参照の上、入学検定料を振込むこと。
出願上の注意	<ul style="list-style-type: none">●修士課程 臨床心理学専攻では、入学後に研究指導教員を決定するため、事前相談の必要はない。●受講地は東京赤坂キャンパスのみとなるため、東京赤坂キャンパスに通学できることが出願の条件となる。●修士課程 臨床心理学専攻では、必修科目・選択科目とも平日昼間のみの開講となる。 なお、授業に加え、実習も昼間の時間帯にて行われる。

選抜方法

- 出願書類と下表の試験科目の結果を総合して可否を判定する。
- 時間割に変更がある場合は、受験票等により通知・連絡する。

専攻	試験	試験時間	試験科目	備考	
臨床心理学	筆記試験	入室時間	9:00~9:15	—	—
		1時限目	9:30~10:30 (60分)	学科試験	● 専門科目
		2時限目	10:50~11:30 (40分)	英語試験	● 英和辞書・和英辞書を各1冊まで持ち込み可とする(電子辞書不可)。
		3時限目	11:50~12:30 (40分)	小論文試験	● 1000字以内、専攻に関する専門的なテーマから出題する。
	昼食等休憩	12:30~	—	● 昼食時は校舎外に外出可能。持参する場合、飲食可能な場所を別途指示する。	
	面接試験	開始時間	13:00(予定)~	面接試験(1) 面接試験(2)	● 個別の面接時間等の詳細は、当日配布資料で告知する。 ● 個人面接は2回実施しそれぞれ質問する項目が異なる。

出願書類

全 員 提 出	志願票 様式1	P.81、82「志願票等の記入方法」を参照の上、所定用紙 様式1 に必要事項を記入すること。
	写真	出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、背景なしのものとし、裏面には氏名、志望専攻を記入した上で、志願票の所定欄に貼付すること。 ※カラー・白黒いずれも可、スピード写真も可。
	成績証明書 (原本または Certified Copy)	出願資格を満たす大学等の「成績証明書」・「卒業(見込)証明書」を提出すること。 ＜出願資格(2)に該当する者のみ＞ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が証明した「学位授与証明書(原本)」(授与見込の場合は、「学位授与申請受理証明書」を提出すること)、学位授与の対象となった専攻に関する学校の「成績証明書」・「卒業(見込)証明書」を提出すること。 ※通常は学士の学位を取得した大学のもの。4年制大学卒業(見込)者でない場合は、最終学歴校のもの。編入学・転入学した場合は、それ以前の大学等の「成績証明書」も可能な限り提出すること。 ※卒業後の年数経過等の理由により「成績証明書」を発行できない場合、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。「単位修得証明書」も発行できない場合は、「卒業証明書」と当該学校作成の「単位修得証明書を発行できない旨を記載した文書」を提出してください。 ※各証明書については必ず原本を提出すること。
	卒業(見込)証明書 (原本または Certified Copy)	※通常は学士の学位を取得した大学のもの。4年制大学卒業(見込)者でない場合は、最終学歴校のもの。編入学・転入学した場合は、それ以前の大学等の「成績証明書」も可能な限り提出すること。 ※卒業後の年数経過等の理由により「成績証明書」を発行できない場合、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。「単位修得証明書」も発行できない場合は、「卒業証明書」と当該学校作成の「単位修得証明書を発行できない旨を記載した文書」を提出してください。 ※各証明書については必ず原本を提出すること。
志願理由書・研究計画書 様式3	所定用紙 様式3 に志願理由を含んだ研究計画を2,000字以内で記入すること(文字数に参考文献は含めない)。卒業論文のタイトルを記入すること。(卒業論文を提出済みおよび作成中の者) ※所定用紙 様式3 を使用せず、パソコンなどで作成する場合は、必ず文頭に「志願理由書・研究計画書」である旨と、志望専攻および氏名を明記の上、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。	
該 当 者 の み 提 出	出願資格審査申請書 様式4-2	＜出願資格(9)に該当し、出願資格審査を申請する者のみ＞ 所定用紙 様式4-2 に必要事項を記入し、提出すること。
	研究業績一覧	＜研究業績がある者(任意提出)＞ これまでの研究業績(学会発表や研究論文等)をまとめ、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。
	戸籍抄本等	＜出願時点での氏名が、成績証明書・資格免許証等の提出書類に記載の氏名と異なる者のみ＞ 本人であることを証明する書類(戸籍抄本等)を提出すること。
	留学生個人票 様式2	＜留学生のみ＞ 所定用紙 様式2 を使用すること。記入にあたってはP.83「志願票等の記入方法」を参照すること。
	在籍証明書	＜留学生のみ＞ 留学ビザで日本に滞在している者は、在留資格に該当している在籍校(専門学校、日本語学校など)の在籍証明書を提出すること。既に卒業や退学している場合でも、可能な限り過去在籍証明書を提出すること。
	パスポートのコピー	＜留学生のみ＞ パスポートをA4サイズにコピーして提出すること。
	住民票(原本)もしくは 在留カードのコピー	＜日本国内に在留している外国籍の者のみ＞ 在留資格および在留期間が確認できるものをA4サイズにコピーして提出すること。
	日本語能力試験結果等	＜留学生で日本語能力試験合格者のみ＞ 日本語能力試験合格を証明する証明書を提出すること(合否結果通知書または認定書の場合は、A4サイズにコピーして提出すること)。 ※この他の試験・検定等で、日本語能力を証明する書類を提出できる者は、参考資料とするので、A4サイズにコピーして提出すること。

※成績証明書・卒業証明書が卒業校の事情により提出できない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること。

※証明書類のうち、再発行不可のものについては返却するので提出時に入試事務室へ申し出ること。

※外国語の証明書類等には日本語または英語訳を添付すること。なお科目、成績評価等が符号または略字等により表記されている場合は、その説明を添付すること。

※志願票等の所定用紙は本学ホームページ(<https://www.uhw.ac.jp/daigakuin/>)からダウンロードして利用すること。ダウンロード可能な書類についてはパソコンを使用しての記入も可とする。提出する際はA4縦の用紙に印刷して提出すること。

※日本国外在住の留学希望者が海外から直接出願する場合、上記以外にも必要となる提出書類があるので、出願前に必ず東京赤坂キャンパス入試事務室(TEL: 03-5574-3903 E-mail: daigakuin-nyushi@uhw.ac.jp)まで問い合わせること。

※提出する証明書類は、「ホッチキス留め」、「糊付け」などをしないこと。

※研究業績一覧は、「ファイリング」「ホッチキス留め」などをしないこと。

※電子メディア(CD-ROM、USB等)の提出は不可とする。

募集人員

課程・専攻	募集人員
博士課程 保健医療学専攻	80名

出願資格

- 博士課程災害医療分野では、一般入試を実施しません。なお、出願にあたっては、出願する入試区分の出願資格を満たしている必要があります。
- 博士課程臨床心理学分野では、社会人入試・留学生入試を実施しません。志願者は、一般入試もしくは学内推薦入試で出願してください。

1. 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者

- (1)修士の学位または専門職学位を有する者、および2026年3月末までに修士の学位または専門職学位を得る見込みの者
- (2)外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与される見込みの者
- (3)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修し修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与される見込みの者
- (4)日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与される見込みの者
- (5)国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与される見込みの者
- (6)上記の(1)～(5)に該当しない者のうち、2026年4月1日現在満24歳以上の者で、本大学院による出願資格審査において修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの（修士の学位または専門職学位を有しておらず、本大学院の定める出願資格審査の申請条件に該当する者）
- (7)上記(1)～(6)に該当しない者のうち、本大学院において修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの

※出願資格(6)で出願しようとする者は、P.52、53「出願資格審査」を確認すること。

※出願資格(7)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）まで問い合わせること。

2. 社会人入試**■全分野（看護学分野 管理実践看護学領域（DNPコース）以外）**

一般入試の出願資格(1)～(7)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、職務経験が3年以上となる者

※出願資格(6)で出願しようとする者は、P.52、53「出願資格審査」を確認すること。

※出願資格(7)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）まで問い合わせること。

■看護学分野 管理実践看護学領域（DNPコース）

- 一般入試の出願資格(1)～(7)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに常勤・非常勤を問わず、職務経験が5年以上となる者
- 看護主任、師長、副看護部長、看護部長等の管理経験を有する者が望ましい
- 日本看護協会の認定看護管理者教育課程（セカンドレベル・サードレベル）を履修していることが望ましい

3. 留学生入試

日本国外に居住し、日本の在留資格を有していない者、または、在留資格「短期滞在」の者は、必ず2025年12月1日(月)までに東京赤坂キャンパス入試事務室に連絡の上出願すること。

一般入試の出願資格(1)～(7)のいずれかの条件を満たし、入学時まで「出入国管理及び難民認定法」において「留学」の在留資格を取得できる日本以外の国籍を有する者

※留学生入試志願者は、日本語能力試験N1（1級）程度の日本語能力を有していることが望ましい。

※出願資格(6)で出願しようとする者は、P.52、53「出願資格審査」を確認すること。

※出願資格(7)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）まで問い合わせること。

出願資格

4. 学内推薦入試

学内推薦入試の出願手続については、P.80「学内推薦入試（医療福祉学研究科）手続フローチャート」を確認すること。

次の各号のいずれかに該当する者

- (A)国際医療福祉大学大学院修士課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者で、修士課程在籍時の研究指導教員が推薦するもの^{※1}、あるいは本学専任教員が推薦し^{※1}修士課程在籍時の分野の現分野責任者が承認したもの^{※2}
- (B)国際医療福祉大学を卒業後、他大学院にて修士の学位を得た者、および2026年3月末までに修士の学位を得る見込みの者で、本学専任教員が推薦し^{※1}卒業学科の現学科長が承認したもの^{※2}

※1 推薦者は、出願時点で、大学・大学院を問わず、本学（全キャンパス）に在籍する教員に限る。

推薦を得られない場合は、他の該当する入試区分で出願すること。

※2 承認を得られない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室より、入試区分変更の通知を行うので、学内推薦入試以外の入試区分で受験すること。

出願資格審査

一般入試・社会人入試・留学生入試における出願資格(6)で出願しようとする場合は、下記の申請条件を確認の上、出願資格審査を申請すること。（事前相談と同時に出願資格審査を行う）

※一部の分野では出願と同時に出願資格審査を行うため、事前相談時の出願資格審査申請書の提出は不要。詳しくは相談教員へ問い合わせること。

【申請条件】

分 野	申 請 条 件
全 分 野	次のいずれかの条件を満たす者 ①大学卒業後2年以上の研究歴の実績を有し、関連分野における査読のある学術雑誌に掲載された1編以上の原著論文（筆頭著者）があり、かつ指導を受けようとする教員が認めた者 [※] ②医学部・歯学部・薬学部・獣医学部等、大学の6年制学部を卒業した者で、指導を受けようとする教員が認めたもの

※本大学院では、平成元年文部省告示第118号による出願を申請する基準を「2年以上の研究歴の実績を有する者」とした上で、出願資格審査により判断する。

【申請方法】

「出願資格審査申請書」（本学所定の用紙 [様式4-1](#)）に記入し事前相談時に提出すること。事前相談を行った後、出願期間中に書類とともに、下記の書類を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

- ・「出願資格審査申請書」（本学所定の用紙 [様式4-1](#)）
- ・「研究業績一覧」（上記の出願資格審査申請条件①にて審査を申請する者）
- ・「在籍証明書」（上記の出願資格審査申請条件①にて審査を申請する者）

※提出書類についての詳細は、P.56、57の「出願書類」を確認すること。

※志願票（1枚目）、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

【審査方法】

志願者は相談教員へ出願資格(6)出願資格審査で出願する旨を伝え、教員が出願資格の審査を行う。

【審査結果】

出願資格が認められた場合：

出願の許可（教員のサイン）を得た後、出願期間中に書類とともに、下記の書類を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

- ・「出願資格審査申請書」（教員のサインが入ったもの）
- ・「業績一覧」等 出願資格に該当する書類（A4サイズに統一すること）

※提出書類は分野により異なるので該当部分を確認すること。

※志願票（1枚目）の最下段、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

※出願資格審査の申請手続については、P.80の【出願資格審査（医療福祉学研究科・薬学研究科）手続フローチャート】を確認すること。

入学検定料

30,000円

※P.72共通事項「入学検定料の納入方法」を参照の上、入学検定料を振込むこと。

出願上の注意

【出願と同時に出願資格審査を行う分野について】

事前相談を行った後、出願期間中に出願書類とともに、「出願資格審査申請書」（本学所定の用紙 様式4-2）を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

※提出書類についての詳細は、P.56、57（【申請方法】部分のページを引用してください）の「出願書類」を確認すること。

※志願票（1枚目）、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

・出願資格が認められた場合：

出願書類を正式に受理し、入試日程の調整を行う（入試日程が決まっている分野については、受験票を発送する）。

・出願資格が認められなかった場合：

主にメールにて連絡の上、入学検定料・出願書類を志願者宛に返却する。

●出願にあたってはP.7の表から志望分野・領域の一つ選ぶこと。

●P.9～11を参考に受講希望地の一つ選ぶこと。

●本学ホームページを参照の上、自らの目的・研究テーマと合致する研究指導教員を選び、出願前に、必ず個別に事前相談を行い、出願の許可を得た後、出願書類を提出する。

※各教員の研究テーマおよび事前相談の連絡先については本学ホームページ参照。

※事前相談の進め方についてはP.4参照。

選抜方法

●出願書類と下表の試験科目の結果を総合して可否を判定する。

●時間割に変更がある場合は、受験票等により通知・連絡する。

分 野	入試区分	試験時間		試験科目	備 考
看 護 学	一 般 入 試 社 会 人 入 試	入室時間	11：45～12：00	—	—
		1時限目	12：15～13：15 (60分)	英 語 試 験	●辞書・電子辞書の持ち込み使用を可とする。
		2時限目	13：30～14：45 (75分)	小論文試験	●1200字以内、分野に関する専門的なテーマから出題する。
		3時限目	15：00～	個 人 面 接	—
	留 学 生 入 試	入室時間	11：45～12：00	—	—
		1時限目	12：15～13：15 (60分)	英 語 試 験	●辞書・電子辞書の持ち込み使用を可とする。
		2時限目	13：30～14：30 (60分)	小論文試験	●600字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		3時限目	14：45～15：45 (60分)	日 本 語 試 験	●解答選択式 ●辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
		4時限目	16：00～	個 人 面 接	—
	学内推薦入試	—	—	書 類 選 考	—

●試験開始時間は、個別調整の上、決定。受験票等により通知・連絡する。

選抜方法

分 野	入試区分	試験科目	備 考
助産学 理学療法学 作業療法学 言語聴覚学 視機能療法学 リハビリテーション学 放射線・情報科学 生殖補助医療胚培養 医療福祉教育・管理 災害医療 ^{※1} 診療情報管理・分析学 先進的ケア・ネットワーク開発研究 医療福祉学 医療福祉ジャーナリズム	一般入試	●小論文試験（1200字以内・75分） ●個人面接	●小論文試験は、分野を問わず一般的なテーマから出題する。 ●日本語試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
	社会人入試	●個人面接	
	留学生入試	●日本語試験（60分・解答選択式） ●小論文試験（600字以内・60分） ●個人面接	
	学内推薦入試	●書類選考	
臨床検査学	一般入試	●英語試験（60分・記述式） ●小論文試験（1200字以内・75分） ●個人面接	●英語試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用を可とする。 ●小論文試験は、分野を問わず一般的なテーマから出題する。 ●日本語試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用は不可とする。
	社会人入試	●英語試験（60分・記述式） ●個人面接	
	留学生入試	●日本語試験（60分・解答選択式） ●小論文試験（600字以内・60分） ●個人面接	
	学内推薦入試	●書類選考	

※1 災害医療分野では、一般入試を実施しない。

分 野	入試区分	試験時間	試験科目	備 考	
福祉支援工学	一般入試	入室時間	13:00~13:15	—	—
		1時限目	13:30~14:45 (75分)	小論文試験	●1200字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		2時限目	15:00~	個人面接	—
	社会人入試	入室時間	13:00~13:15	—	—
		1時限目	13:30~	個人面接	—
	留学生入試	入室時間	12:00~12:15	—	—
		1時限目	12:30~13:30 (60分)	日本語試験	●解答選択式 ●辞書・電子辞書の持ち込みは不可とする。
		2時限目	13:45~14:45 (60分)	小論文試験	●600字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		3時限目	15:00~	個人面接	—
	学内推薦入試	—	書類選考	—	—

選抜方法

分野	入試区分	試験時間	試験科目	備考	
医療遺伝学	一般入試 社会人入試	入室時間	9:00~9:15	—	—
		1時限目	9:30~10:45 (75分)	小論文試験	●1200字以内、分野に関する専門的なテーマから出題する。
		2時限目	11:00~	個人面接	—
	留学生入試	入室時間	9:00~9:15	—	—
		1時限目	9:30~10:30 (60分)	日本語試験	●解答選択式 ●辞書・電子辞書の持ち込みは不可とする。
		2時限目	10:45~11:45 (60分)	小論文試験	●600字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		3時限目	12:00~	個人面接	—
	学内推薦入試	—	書類選考	—	—

分野	入試区分	試験時間	試験科目	備考	
医療福祉経営学	一般入試	入室時間	9:00~9:15	—	—
		1時限目	9:30~10:45 (75分)	小論文試験	●1200字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		2時限目	11:00~	個人面接	—
	社会人入試	入室時間	9:00~9:15	—	—
		1時限目	9:30~	個人面接	—
	留学生入試	入室時間	9:00~9:15	—	—
		1時限目	9:30~10:30 (60分)	日本語試験	●解答選択式 ●辞書・電子辞書の持ち込みは不可とする。
		2時限目	10:45~11:45 (60分)	小論文試験	●600字以内、分野を問わず一般的なテーマから出題する。
		3時限目	12:00~	個人面接	—
	学内推薦入試	—	書類選考	—	—

選抜方法

分野	入試区分	試験	試験時間		試験科目	備考
			入室時間	9:00~9:15		
臨床心理学	一般入試	筆記試験	1時限目	9:30~10:30 (60分)	小論文試験	●2000字以内、専攻に関する専門的なテーマから出題する。
			2時限目	10:50~11:50 (60分)	英語試験	●英和辞書・和英辞書を各1冊まで持ち込み可とする(電子辞書不可)。
		昼食等休憩	11:50~15:00	—	●昼食時は校舎外に外出可能。持参する場合、飲食可能な場を別途指示する。	
		面接試験	開始時間	13:00(予定)~	面接試験(1) 面接試験(2)	●個別の面接時間等の詳細は、当日配布資料で告知する。 ●個人面接は2回実施し、それぞれ質問する項目が異なる。
	学内推薦入試	—	—	—	書類選考	—

※臨床心理学分野では、社会人入試・留学生入試を実施しない。

出願書類

全員提出	志願票 様式1	P.81、82「志願票等の記入方法」を参照の上、所定用紙 様式1 に必要事項を記入すること。
	写真	出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、背景なしのものとし、裏面には氏名、志望分野を記入した上で、志願票の所定欄に貼付すること。 ※カラー・白黒いずれも可、スピード写真も可。
	成績証明書 (原本または Certified Copy)	<p><一般入試志願者・社会人入試志願者・留学生入試志願者> 出身大学院(研究科)修士課程の「成績証明書」・「修了(見込)証明書」を提出すること(出願資格(6)または(7)で出願しようとする者は、最終学歴のもの)。 ※出願資格審査の申請条件②で出願する者は、必ず卒業した6年制学部大学の「成績証明書」・「卒業(見込)証明書」を提出すること。</p> <p><学内推薦入試志願者> 国際医療福祉大学もしくは国際医療福祉大学大学院の「成績証明書」・「卒業(見込)証明書」・「修了(見込)証明書」を提出すること。 ※国際医療福祉大学の卒業生で、他大学院で修士の学位を得た者は、国際医療福祉大学の「成績証明書」・「卒業証明書」に加えて修士の学位を取得した、あるいは取得見込の大学院の「成績証明書」・「修了(見込)証明書」を提出すること。 ※卒業後の年数経過等の理由により「成績証明書」を発行できない場合、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。「単位修得証明書」も発行できない場合は、「卒業証明書」と当該学校作成の「単位修得証明書を発行できない旨を記載した文書」を提出してください。 ※各証明書については必ず<u>原本</u>を提出すること。</p>
	修了(見込)証明書 (原本または Certified Copy)	
志願理由書・研究計画書 様式3	所定用紙 様式3 に志願理由を含んだ研究計画を2,000字以内で記入すること(文字数に参考文献は含めない)。 ※所定用紙 様式3 を使用せず、パソコンなどで作成する場合は、必ず文頭に「志願理由書・研究計画書」である旨と、志望課程・専攻・分野および氏名を明記の上、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。	

該当者のみ提出	修士論文の要旨	<p><医療福祉教育・管理分野志願者は必須。ただし学内推薦入試の志願者については、修了論文を執筆した者のみ提出。></p> <p><修士論文を提出済みおよび作成中の者は必須。></p> <p>A4縦の用紙に、横書き・片面で2枚以内にまとめること。</p>
	出願資格審査申請書 様式4-1または様式4-2	<p><出願資格(6)に該当し、出願資格審査を申請する者のみ></p> <p>所定用紙(様式4-1)に必要事項を記入し、相談教員の許可を得たものを提出すること。</p> <p>出願と同時に出願資格審査を実施する分野については(様式4-2)に必要事項を記入し、提出すること。</p>
	取得資格免許証のコピー	<p><取得資格がある者(任意提出)></p> <p>出願時点で取得している医療福祉専門職の資格免許証をA4サイズにコピーして提出すること。</p>
	研究業績一覧	<p><医療福祉教育・管理分野(一般入試志願者・社会人入試志願者・留学生入試志願者)は必須></p> <p><出願資格(6)に該当する者のうち、出願資格審査の申請条件①で審査を申請する者は必須、その他の者は任意></p> <p>これまでの研究業績(学会発表や研究論文等)をまとめ、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。</p>
	在籍証明書	<p><出願資格(6)に該当する者のうち、出願資格審査の申請条件①で出願する者のみ></p> <p>2年以上研究に従事している証明として大学・研究所等が発行する在籍証明書(原本)を提出すること。</p> <p><留学生入試志願者(該当者)></p> <p>留学ビザで日本に滞在している者は、在留資格に該当している在籍校(専門学校、日本語学校など)の在籍証明書を提出すること。既に卒業や退学している場合でも、可能な限り過去在籍証明書を提出すること。</p>
	学内推薦入試 推薦書 様式5	<p><学内推薦入試志願者(全員)></p> <p>所定用紙(様式5)に推薦者(本学専任教員に限る)の署名・捺印がされたものを提出すること。</p>
	戸籍抄本等	<p><出願時点での氏名が、成績証明書・資格免許証等の提出書類に記載の氏名と異なる者のみ></p> <p>本人であることを証明する書類(戸籍抄本等)を提出すること。</p>
	留学生個人票 様式2	<p><留学生のみ></p> <p>所定用紙(様式2)を使用すること。記入にあたってはP.83「志願票等の記入方法」を参照すること。</p>
	パスポートのコピー	<p><留学生のみ></p> <p>パスポートをA4サイズにコピーして提出すること。</p>
	住民票(原本)もしくは在留カードのコピー	<p><日本国内に在留している外国籍の者のみ></p> <p>在留資格および在留期間が確認できるものをA4サイズにコピーして提出すること。</p>
日本語能力試験結果等	<p><留学生で日本語能力試験合格者のみ></p> <p>日本語能力試験合格を証明する証明書を提出すること(合否結果通知書または認定書の場合は、A4サイズにコピーして提出すること)。</p> <p>※この他の試験・検定等で、日本語能力を証明する書類を提出できる者は、参考資料とするので、A4サイズにコピーして提出すること。</p>	

- ※成績証明書・卒業証明書が卒業校の事情により提出できない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること。
- ※証明書類のうち、再発行不可のものについては返却するので提出時に入試事務室へ申し出ること。
- ※外国語の証明書類等には日本語訳または英語訳を添付すること。なお科目、成績評価等が符号または略字等により表記されている場合は、その説明を添付すること。
- ※志願票等の所定用紙は本学ホームページ(<https://www.uhw.ac.jp/daigakuin/>)からダウンロードして利用すること。ダウンロード可能な書類についてはパソコンを使用しての記入も可とする。提出する際はA4縦の用紙に印刷して提出すること。
- ※日本国外在住の留学希望者が海外から直接出願する場合、上記以外にも必要となる提出書類があるので、出願前に必ず東京赤坂キャンパス入試事務室(TEL: 03-5574-3903 E-mail: daigakuin-nyushi@uhw.ac.jp)まで問い合わせること。
- ※提出する証明書類は、「ホッチキス留め」、「糊付け」などをしないこと。
- ※研究業績一覧は、「ファイリング」「ホッチキス留め」などをしないこと。
- ※電子メディア(CD-ROM、USB等)の提出は不可とする。

募集人員

課程・専攻	募集人員
修士課程 生命薬科学専攻	5名

出願資格

留学生入試は実施しません。留学生の志願者は、一般入試・社会人入試・学内推薦入試のいずれかの入試区分で出願してください。

1. 一般入試

分野	出願資格
生命薬学 医療薬学 〔臨床薬学領域〕	次の各号のいずれかに該当する者 (1)大学を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者 (2)学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、および2026年3月末までに授与見込みの者（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、および授与見込みの者） (3)外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者 (4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者 (5)日本において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者 (6)外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了し学士の学位に相当する学位を授与された者、および2026年3月末までに授与見込みの者 (7)文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号） ※小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭、もしくは養護教諭の専修免許状または一種免許状を有する者で、2026年4月1日現在満22歳以上のもの、等 (8)上記(1)～(7)に該当しない者のうち、本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの
医療薬学 〔がん薬物療法学領域〕	薬剤師の国家資格を有し、本学入学までに3年以上の病院薬剤師としての実務経験を有する者

※出願資格(8)で出願しようとする者は、必ず事前に東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）まで問い合わせること。

2. 社会人入試

分野	出願資格
生命薬学 医療薬学 〔臨床薬学領域〕	一般入試の出願資格(1)～(8)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに常勤・非常勤を問わず職務経験がある者で、以下のいずれかの者が推薦するもの ・志願者の過去または現在の職場の上司（原則として所属する施設の長とする※1） ・志願者が卒業論文もしくは修士論文の指導を受けた教員※2
医療薬学 〔がん薬物療法学領域〕	薬剤師の国家資格を有し、本学入学までに3年以上の病院薬剤師としての実務経験を有する者で、以下のいずれかの者が推薦するもの ・志願者の過去または現在の職場の上司（原則として所属する施設の長とする※1） ・志願者が卒業論文もしくは修士論文の指導を受けた教員※2

※1 勤務先規模などによっては、推薦者の職位について相談に応じるので、事前相談時に申し出ること。

※2 副研究指導教員など、指導を受けた教員に準じる教員の推薦を受ける場合は、事前相談時に相談すること。

3. 学内推薦入試

分野	出願資格
生命薬学 医療薬学 〔臨床薬学領域〕	国際医療福祉大学薬学部を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者で、現薬学部長が推薦するもの
医療薬学 〔がん薬物療法学領域〕	国際医療福祉大学薬学部を卒業した者で、薬剤師の国家資格を有し、本学入学までに3年以上の病院薬剤師としての実務経験を有する、現薬学部長が推薦するもの

入学検定料

30,000円

※P.72共通事項「入学検定料の納入方法」を参照の上、入学検定料を振込むこと。

出願上の注意

- 出願にあたってはP.8の該当する表から志望分野・領域の一つを選ぶこと。
- 入試区分・志望分野にかかわらず、出願前に、必ず下記の教員と事前相談を行い、出願の許可を得ること。

【大田原・東京赤坂キャンパス】

<連絡先> 清水貴壽（しみずたかひさ）准教授

TEL：0287-24-3481（薬学事務室） E-mail：shimizut@ihwg.jp

【成田キャンパス】

<連絡先> 佐藤忠章（さとうただあき）教授

E-mail：tsatou@ihwg.jp

【大川キャンパス】

<連絡先> 阿部義人（あべよしと）教授

TEL：0944-32-6100（学科事務室） E-mail：y_abe@ihwg.jp

※事前相談の進め方については、P.4「研究指導教員との事前相談」を参照のこと。

- 東京赤坂キャンパス・大田原キャンパス・大川キャンパスのみで開講されるため、事前相談時によく確認すること。
- 入試区分にかかわらず、社会人で入学後も勤務を続ける者は、現在の勤務先の所属長の許可を得て、就学承諾書（本学所定の用紙 **様式8**）を提出すること。

選抜方法

- 出願書類と下表の試験科目の結果を総合して合否を判定する。

分野	入試区分	試験科目	備考
生命薬学 医療薬学 〔がん薬物療法学領域〕 〔臨床薬学領域〕	一般入試	●英語試験（60分・記述式） ●小論文試験（1200字以内・75分） ●個人面接	●英語試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用を可とする。
	社会人入試	●個人面接	●小論文試験は、分野に関する専門的なテーマから出題する。
	学内推薦入試	●個人面接	

※試験開始時間は、個別調整の上、決定。受験票等により通知・連絡する。

出願書類

全 員 提 出	志願票 様式1	P.81、82「志願票等の記入方法」を参照の上、所定用紙 様式1 に必要事項を記入すること。
	写真	出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、背景なしのものとし、裏面には氏名、志望分野を記入した上で、志願票の所定欄に貼付すること。 ※カラー・白黒いずれも可、スピード写真も可。
	成績証明書 (原本または Certified Copy)	<一般入試志願者・社会人入試志願者> 出願資格を満たす大学等の「成績証明書」・「卒業(見込)証明書」を提出すること。※通常は学士の学位を取得した大学のもの。 <学内推薦入試志願者> 国際医療福祉大学薬学部の「成績証明書」・「卒業(見込)証明書」を提出すること。
	卒業(見込)証明書 (原本または Certified Copy)	<出願資格(2)に該当する者のみ> 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が証明した学位授与証明書(原本)を提出すること。(授与見込の場合は、「学位授与申請受理証明書」を提出すること。) ※卒業後の年数経過等の理由により「成績証明書」を発行できない場合、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。「単位修得証明書」も発行できない場合は、「卒業証明書」と当該学校作成の「単位修得証明書を発行できない旨を記載した文書」を提出してください。 ※各証明書については必ず <u>原本</u> を提出すること。
	志願理由書・研究計画書 様式3	所定用紙 様式3 に志願理由を含んだ研究計画を2,000字以内で記入すること(文字数に参考文献は含めない)。 ※所定用紙 様式3 を使用せず、パソコンなどで作成する場合は、必ず文頭に「志願理由書・研究計画書」である旨と、志望課程・専攻・分野および氏名を明記の上、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。

該 当 者 の み 提 出	取得資格免許証のコピー	<医療薬学分野 がん薬物療法学領域志願者のみ> 薬剤師国家資格の免許証をA4サイズにコピーして提出すること。
	薬科学研究科 就学承諾書 様式8	<入試区分にかかわらず入学後も就労と学業を両立する者(全員)> 所定用紙「様式8」に現在の勤務先の所属長の署名・捺印がされたものを提出すること。
	薬科学研究科 社会人入試推薦書 様式9	<社会人入試志願者(全員)> 以下のいずれかの推薦者が必要事項を記入した推薦書 所定用紙「様式9」を提出すること。 ・志願者の過去または現在の職場の上司(原則として所属する施設の長とする※1) ・志願者が卒業論文もしくは修士論文の指導を受けた教員※2 ※1 勤務先規模などによっては、推薦者の職位について相談に応じるので、事前相談時に申し出ること。 ※2 副研究指導教員など、指導を受けた教員に準じる教員の推薦を受ける場合は、事前相談時に相談すること。
	学内推薦入試 推薦書 様式5	<学内推薦入試志願者(全員)> 所定用紙「様式5」に現薬学部長の署名・捺印がされたものを提出すること。
	研究業績一覧	<研究業績がある者(任意提出)> これまでの研究業績(学会発表や研究論文等)をまとめ、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。
	戸籍抄本等	<出願時点での氏名が、成績証明書・資格免許証等の提出書類に記載の氏名と異なる者のみ> 本人であることを証明する書類(戸籍抄本等)を提出すること。
	留学生個人票 様式2	<留学生のみ> 所定用紙「様式2」を使用すること。記入にあたってはP.83「志願票等の記入方法」を参照すること。
	パスポートのコピー	<留学生のみ> パスポートをA4サイズにコピーして提出すること。
	在籍証明書	<留学生のみ> 留学ビザで日本に滞在している者は、在留資格に該当している在籍校(専門学校、日本語学校など)の在籍証明書を提出すること。既に卒業や退学している場合でも、可能な限り過去在籍証明書を提出すること。
	住民票(原本)もしくは在留カードのコピー	<日本国内に在留している外国籍の者のみ> 在留資格および在留期間が確認できるものをA4サイズにコピーして提出すること。
	日本語能力試験結果等	<留学生で日本語能力試験合格者のみ> 日本語能力試験合格を証明する証明書を提出すること(合否結果通知書または認定書の場合は、A4サイズにコピーして提出すること)。 ※この他の試験・検定等で、日本語能力を証明する書類を提出できる者は、参考資料とするので、A4サイズにコピーして提出すること。

※成績証明書・卒業証明書が卒業校の事情により提出できない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること。

※証明書類のうち、再発行不可のものについては返却するので提出時に入試事務室へ申し出ること。

※外国語の証明書類等には日本語訳または英語訳を添付すること。なお科目、成績評価等が符号または略字等により表記されている場合は、その説明を添付すること。

※志願票等の所定用紙は本学ホームページ(<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>)からダウンロードして利用すること。ダウンロード可能な書類についてはパソコンを使用しての記入も可とする。提出する際はA4縦の用紙に印刷して提出すること。

※日本国外在住の留学希望者が海外から直接出願する場合、上記以外にも必要となる提出書類があるので、出願前に必ず東京赤坂キャンパス入試事務室(TEL:03-5574-3903 E-mail:daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp)まで問い合わせること。

※提出する証明書類は、「ホッチキス留め」、「糊付け」などをしないこと。

※研究業績一覧は、「ファイリング」「ホッチキス留め」などをしないこと。

※電子メディア(CD-ROM、USB等)の提出は不可とする。

募集人員

課程・専攻	募集人員
博士課程（4年制） 医療・生命薬学専攻	5名

出願資格

留学生入試は実施しません。留学生の志願者は、一般入試・社会人入試・学内推薦入試のいずれかの入試区分で出願してください。

1. 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者

- (1)大学における薬学部（6年制）を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者
- (2)大学における旧制度の薬学部（4年制）を卒業後、修士の学位または専門職学位を得た者、および2026年3月末までに修士の学位を得る見込みの者※₁
- (3)外国における前号の(1)または(2)に相当する学位を授与された者※₁
- (4)上記(1)～(3)に該当しない者のうち、2026年4月1日現在満24歳以上の者で、大学を卒業後、本大学院において本学の薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの※₂

- ※₁ 学位を確認するので、事前に東京赤坂キャンパス入試事務室（TEL：03-5574-3903 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp）に問い合わせること。学位の種類によっては、出願資格審査を行う場合がある。
- ※₂ 出願資格審査を行うので、下記「出願資格審査」の項目を確認すること。

2. 社会人入試

一般入試の出願資格(1)～(4)のいずれかの条件を満たし、本学入学までに常勤・非常勤を問わず職務経験がある者で、以下のいずれかの者が推薦するもの

- ・志願者の過去または現在の職場の上司（原則として所属する施設の長とする※₁）
- ・志願者が卒業論文もしくは修士論文の指導を受けた教員※₂

- ※₁ 勤務先規模などによっては、推薦者の職位について相談に応じるので、事前相談時に申し出ること。
- ※₂ 副研究指導教員など、指導を受けた教員に準じる教員の推薦を受ける場合は、事前相談時に相談すること。

3. 学内推薦入試

次の各号のいずれかに該当する者

- (A)国際医療福祉大学薬学部（6年制）を卒業した者、および2026年3月末までに卒業見込みの者で、現薬学部長が推薦するもの
- (B)国際医療福祉大学薬学部（4年制）を卒業後、他大学院にて修士の学位を得た者、および2026年3月末までに修士の学位を得る見込みの者で、現薬学部長が推薦するもの
- (C)国際医療福祉大学大学院 修士課程 薬科学研究科を修了した者、および2026年3月末までに修了見込みの者で、現薬科学研究科長が推薦するもの

出願資格審査

一般入試・社会人入試における出願資格(4)で出願しようとする場合は、下記の申請条件を確認の上、出願資格審査を申請すること。（事前相談と同時に出願資格審査を行う）

※一部の分野では出願と同時に出願資格審査を行うため、事前相談時の出願資格審査申請書の提出は不要。詳しくは相談教員へ問い合わせること。

【申請条件】

次のすべての条件を満たす者

- ①大学を卒業した者
- ②大学院、研究機関、企業等で研究・開発などに従事し、当該研究・業務による業績一覧を提出できる者

【申請方法】

「出願資格審査申請書」（本学所定の用紙 [様式4-1](#)）に記入し事前相談時に提出すること。事前相談を行った後、出願期間中に提出書類とともに、下記の書類を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

- ・「出願資格審査申請書」（本学所定の用紙 [様式4-1](#)）
- ・「研究業績一覧」（論文発表歴・学会発表歴等）や「業務実績一覧」等
- ※志願票（1枚目）、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

【審査方法】

志願者は相談教員へ出願資格(2)または(4)出願資格審査で出願する旨を伝え、教員が出願資格の審査を行う。

【審査結果】

出願資格が認められた場合：

出願の許可（教員のサイン）を得た後、出願期間中に提出書類とともに、下記の書類を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

- ・「出願資格審査申請書」（教員のサインが入ったもの）
- ・「業績一覧」等 出願資格に該当する書類（A4サイズに統一すること）
- ※提出書類は分野により異なるので該当部分を確認すること。
- ※志願票（1枚目）の最下段、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

※出願資格審査の申請手続については、P.80の【出願資格審査（医療福祉学研究科・薬学研究科）手続フローチャート】を確認すること。

出願資格審査

【出願と同時に出願資格審査を行う分野について】

事前相談を行った後、出願期間中に出願書類とともに、「出願資格審査申請書」（本学所定の用紙 様式4-2）を東京赤坂キャンパス入試事務室に提出すること。

※提出書類についての詳細は、P.63、64（【申請方法】部分のページを引用してください）の「出願書類」を確認すること。

※志願票（1枚目）、出願資格審査申請欄の「有」に○をつけること。

・出願資格が認められた場合：

出願書類を正式に受理し、入試日程の調整を行う（入試日程が決まっている分野については、受験票を発送する）。

・出願資格が認められなかった場合：

主にメールにて連絡の上、入学検定料・出願書類を志願者宛に返却する。

入学検定料

30,000円

※P.72共通事項「入学検定料の納入方法」を参照の上、入学検定料を振込むこと。

出願上の注意

●入試区分にかかわらず、**出願前に、必ず下記の教員と事前相談を行い、出願の許可を得ること。**

【大田原・東京赤坂キャンパス】

<連絡先> 清水真壽（しみずたかひさ）准教授

TEL：0287-24-3481（薬学事務室） E-mail：shimizut@ihwg.jp

【成田キャンパス】

<連絡先> 佐藤忠章（さとうただあき）教授

E-mail：tsatou@ihwg.jp

【大川キャンパス】

<連絡先> 阿部義人（あべよしと）教授

TEL：0944-32-6100（学科事務室） E-mail：y_abe@ihwg.jp

※事前相談の進め方については、P.4「研究指導教員との事前相談」を参照のこと。

●入試区分にかかわらず、社会人で入学後も勤務を続ける者は、現在の勤務先の所属長の許可を得て、就学承諾書（本学所定の用紙 [様式8]）を提出すること。

●東京赤坂キャンパス・大田原キャンパス・大川キャンパスのみで開講される。

選抜方法

●出願書類と下表の試験科目の結果を総合して合否を判定する。

専攻	入試区分	試験科目	備考
医療・生命薬学	一般入試	●英語試験（60分・記述式） ●小論文試験（1200字以内・75分） ●個人面接（口頭試問）	●英語試験での、辞書・電子辞書の持ち込み使用を可とする。
	社会人入試	●個人面接（口頭試問）	●小論文試験は、専攻に関する専門的なテーマから出題する。
	学内推薦入試	●個人面接（口頭試問）	

※試験開始時間は、個別調整の上、決定。受験票等により通知・連絡する。

※面接試験（口頭試問）は以下内容にもとづき行う。

- ・6年制薬学部を卒業した者、および卒業見込みの者：卒業論文の内容
- ・旧制度の4年制薬学部卒業後、修士の学位を得た者：修士論文の内容
- ・出願資格審査により出願資格が認められた者：卒業論文・修士論文の内容

「研究業績一覧」や「業務実績一覧」等の内容

出願書類

全 員 提 出	志願票 様式1	P.81、82「志願票等の記入方法」を参照の上、所定用紙 様式1 に必要事項を記入すること。
	写真	出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、背景なしのものとし、裏面には氏名、志望専攻を記入した上で、志願票の所定欄に貼付すること。 ※カラー・白黒いずれも可、スピード写真も可。
	成績証明書 (原本または Certified Copy)	<p><一般入試志願者・社会人入試志願者> 出願資格を満たす大学もしくは大学院の「成績証明書」・「卒業(見込)証明書」・「修了(見込)証明書」を提出すること。</p> <p><学内推薦入試志願者> 国際医療福祉大学薬学部もしくは国際医療福祉大学大学院薬科学研究科の「成績証明書」・「卒業(見込)証明書」・「修了(見込)証明書」を提出すること。 ※国際医療福祉大学薬学部(4年制)の卒業生で、他大学院で修士の学位を得た者は、国際医療福祉大学薬学部の「成績証明書」・「卒業証明書」に加えて修士の学位を取得した、あるいは取得見込の大学院の「成績証明書」・「修了(見込)証明書」を提出すること。 ※卒業後の年数経過等の理由により「成績証明書」を発行できない場合、「卒業証明書」と「単位修得証明書」を提出してください。「単位修得証明書」も発行できない場合は、「卒業証明書」と当該学校作成の「単位修得証明書を発行できない旨を記載した文書」を提出してください。 ※各証明書については必ず<u>原本</u>を提出すること。</p>
	卒業(見込)証明書 修了(見込)証明書 (原本または Certified Copy)	
	志願理由書・研究計画書 様式3	所定用紙 様式3 に志願理由を含んだ研究計画を2,000字以内で記入すること(文字数に参考文献は含めない)。 ※所定用紙 様式3 を使用せず、パソコンなどで作成する場合は、必ず文頭に「志願理由書・研究計画書」である旨と、志望課程・専攻および氏名を明記の上、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。
卒業論文もしくは 修士論文の要旨	A4縦の用紙に横書き・片面で2枚以内にまとめること。	

出願書類

該当者のみ提出	出願資格審査申請書 様式4-1または様式4-2	<出願資格(4)に該当する者、および出願資格(2)で本学により指示され、出願資格審査を申請する者のみ> 所定用紙[様式4-1]に必要事項を記入し、相談教員の許可を得たものを提出すること。 出願と同時に出願資格審査を実施する分野については[様式4-2]に必要事項を記入し、提出すること。
	薬学研究科 就学承諾書 様式8	<入試区分にかかわらず入学後も就労と学業を両立する者(全員)> 所定用紙[様式8]に現在の勤務先の所属長の署名・捺印がされたものを提出すること。
	薬学研究科 社会人入試推薦書 様式9	<社会人入試志願者(全員)> 以下のいずれかの推薦者が必要事項を記入した推薦書 所定用紙[様式9]を提出すること。 ・志願者の過去または現在の職場の上司(原則として所属する施設の長とする※1) ・志願者が卒業論文もしくは修士論文の指導を受けた教員※2 ※1 勤務先規模などによっては、推薦者の職位について相談に応じるので、事前相談時に申し出ること。 ※2 副研究指導教員など、指導を受けた教員に準じる教員の推薦を受ける場合は、事前相談時に相談すること。
	学内推薦入試 推薦書 様式5	<学内推薦入試志願者(全員)> 所定用紙[様式5]に現薬学部長・現薬科学研究科長の署名・捺印がされたものを提出すること。
	研究業績一覧 業務実績一覧	<研究業績や業務実績がある者(出願資格審査申請者は必須。それ以外の者は任意提出)> これまでの研究業績(論文発表歴・学会発表歴等)や業務実績をまとめ、A4縦の用紙に横書き・片面で作成し、提出すること。
	戸籍抄本等	<志願票の氏名が、成績証明書等の提出書類に記載の氏名と異なる者のみ> 本人であることを証明する書類(戸籍抄本等)を提出すること。
	留学生個人票 様式2	<留学生のみ> 所定用紙[様式2]を使用すること。記入にあたってはP.83「志願票等の記入方法」を参照すること。
	パスポートのコピー	<留学生のみ> パスポートをA4サイズにコピーして提出すること。
	在籍証明書	<留学生のみ> 留学ビザで日本に滞在している者は、在留資格に該当している在籍校(専門学校、日本語学校など)の在籍証明書を提出すること。既に卒業や退学している場合でも、可能な限り過去在籍証明書を提出すること。
	住民票(原本)もしくは在留カードのコピー	<日本国内に在留している外国籍の者のみ> 在留資格および在留期間が確認できるものをA4サイズにコピーして提出すること。
日本語能力試験結果等	<留学生で日本語能力試験合格者のみ> 日本語能力試験合格を証明する証明書を提出すること(合否結果通知書または認定書の場合は、A4サイズにコピーして提出すること)。 ※この他の試験・検定等で、日本語能力を証明する書類を提出できる者は、参考資料とするので、A4サイズにコピーして提出すること。	

※成績証明書・卒業証明書が卒業校の事情により提出できない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室に相談すること。

※証明書類のうち、再発行不可のものについては返却するので提出時に入試事務室へ申し出ること。

※外国語の証明書類等には日本語または英語訳を添付すること。なお科目、成績評価等が符号または略字等により表記されている場合は、その説明を添付すること。

※志願票等の所定用紙は本学ホームページ(<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>)からダウンロードして利用すること。ダウンロード可能な書類についてはパソコンを使用しての記入も可とする。提出する際はA4縦の用紙に印刷して提出すること。

※日本国外在住の留学希望者が海外から直接出願する場合、上記以外にも必要となる提出書類があるので、出願前に必ず東京赤坂キャンパス入試事務室(TEL:03-5574-3903 E-mail:daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp)まで問い合わせること。

※提出する証明書類は、「ホッチキス留め」、「糊付け」などをしないこと。

※研究業績一覧は、「ファイリング」「ホッチキス留め」などをしないこと。

※電子メディア(CD-ROM、USB等)の提出は不可とする。

共通事項

「共通事項」には、課程・専攻を問わず、全受験者に関わる大切な内容が記載されています。
必ず確認してください。

■	次世代のがんプロフェッショナル養成プラン	P.66
■	学生納付金	P.67
■	出願・受験・入学手続	
	出願上の留意事項	P.71
	感染症に関する注意事項	P.71
	身体等に障害のある志願者について	P.71
	出願締切日および入学試験	P.71
	入学検定料の納入方法	P.72
	受験上の注意	P.73
	合格発表	P.73
	入学手続	P.73
	留学生の入学手続	P.73
	在留資格認定証明書交付申請について	P.73
	入学辞退	P.73
	長期履修について	P.74
	奨学金	P.75
	修学資金・学資ローン	P.75
	個人情報の取り扱いについて	P.75
	教育充実基金（寄付金）のお願い	P.75
■	大学院Q & A	P.76
	出願資格審査 手続フローチャート	P.80
	学内推薦入試 手続フローチャート	P.80
■	志願票等の記入方法	
	志願票	P.81
	留学生個人票	P.83

「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」

令和5年6月、本学や東京科学大学を含む連携7大学が共同で取り組む「次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン」が、文部科学省「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」事業として採択されました。本学では、これまでの同事業の成果を継承しつつ、国が定める「第4期がん対策推進基本計画」のもと、①がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材②がん予防の推進を行う人材③新たな治療法を開発できる人材等のがん専門医療人材を養成するべく連携大学と共に推進しており、修士課程・博士課程にて下記のコースを準備しております。

①がん医療の現場で顕在化している課題に多職種連携で挑む人材育成コース

■対象者：修士課程

医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、診療情報管理士、理学・作業・言語聴覚療法士、など

■修業年限：2年

②がん個別化医療・創薬の推進を目指したゲノム医療やがん免疫療法の開発を担う人材養成コース

■対象者：修士課程

医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラーなど

■修業年限：2年

③がんのデータサイエンスに基づく予防医療やがんサバイバーケアを推進する人材育成コース

■対象者：修士課程

医師、看護師・保健師・歯科医、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラー、生殖補助医療胚培養師、理学・作業・言語聴覚療法士、社会福祉士・診療情報管理士など

■修業年限：2年

④がん看護CNSコース

■対象者：看護師・がん看護CNSコースに在籍している大学院生

■修業年限：2年

本学各コースにご参加頂くには、本学大学院修士課程・博士課程等にご入学・ご在籍頂き、履修登録をして頂くことが必要となります。

ご関心のある方は、右記のQRコードから本大学院ホームページをご覧ください。

※がん看護CNSコースは修士課程のみ

※博士課程を希望される方は「インテンシブコース修了要件」をご確認ください。



共通事項 ▶ 学生納付金

- 入学金を納入するのは初年度のみです。2年次以降は入学金を除く学生納付金を毎年次納入してください。
- 学生納付金は原則として一括納入としますが、授業料と施設設備費については入学時と入学後（9月）の2回に分けて納入することもできます（分割納入）。分割納入の場合、2回目納入分は入学後の7月頃に納付書を送付しますので、9月30日までに納入してください（納入額は下表のとおりです）。
- 入学時は入試区分ごとに定められた入学時期間内に行ってください。入学時期間内に所定の手続を行わなかった合格者については、入学を辞退したものと取り扱います。
- 下表のとおり、専攻・分野等により学生納付金は異なりますので、注意してください。
※実習費欄のカッコ内の金額は、2年次以降の実習費納入額です。
- 臨床実習時の交通費、宿泊費等は自己負担となります。また、別途同窓会費が必要です。
- 本学学部卒業（見込）生、大学院修了（見込）生は入学金を免除します。
- 本学関連大学・専門学校^{※1}卒業（見込）者は入学金を免除します。
※1 福岡国際医療福祉大学・国際医療福祉大学塩谷看護専門学校・柳川リハビリテーション学院・福岡国際医療福祉学院・大川看護福祉専門学校・福岡医療経営学院の6校。ただし、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校のみ、2010年3月以後の卒業生から入学金を免除の対象とします。
- 入学金はいかなる理由があっても返還しません。

〔医療福祉学研究科 修士課程 保健医療学専攻〕

単位（円）

分野	納入方法	入学金	授業料	施設設備費	実習費 ()内は2年次	分割 納入額	初年度 合計	2年間 合計
看護学 ※専門看護師（CNS）コース、 公衆衛生看護学領域（実践 （保健師）コース）、周麻酔 期看護学領域を除く	一括 入学時	300,000	800,000 (1・2年次共通)	200,000 (1・2年次共通)	—	—	1,300,000	2,300,000
	分割 入学時	300,000	400,000	100,000	—	800,000		
	分割 入学後（9月）	—	400,000	100,000	—	500,000		
看護学 〔専門看護師（CNS）コース〕	一括 入学時	300,000	800,000 (1・2年次共通)	200,000 (1・2年次共通)	100,000 (200,000)	—	1,400,000	2,600,000
	分割 入学時	300,000	400,000	100,000	100,000 (200,000)	900,000		
	分割 入学後（9月）	—	400,000	100,000	—	500,000		
看護学 〔公衆衛生看護学領域（実践（保健師） コース）〕	一括 入学時	300,000	800,000 (1・2年次共通)	200,000 (1・2年次共通)	0 (200,000)	—	1,300,000	2,500,000
	分割 入学時	300,000	400,000	100,000	0 (200,000)	800,000		
	分割 入学後（9月）	—	400,000	100,000	—	500,000		
看護学 〔周麻酔期看護学領域〕	一括 入学時	300,000	800,000 (1・2年次共通)	200,000 (1・2年次共通)	0 (200,000)	—	1,300,000	2,500,000
	分割 入学時	300,000	400,000	100,000	0 (200,000)	800,000		
	分割 入学後（9月）	—	400,000	100,000	—	500,000		
特定行為看護師養成	一括 入学時	300,000	800,000 (1・2年次共通)	200,000 (1・2年次共通)	0 (200,000)	—	1,300,000	2,500,000
	分割 入学時	300,000	400,000	100,000	0 (200,000)	800,000		
	分割 入学後（9月）	—	400,000	100,000	—	500,000		

学生納付金

単位 (円)

分野	納入方法	入学金	授業料	施設 設備費	実習費 ()内は2年次	分割 納入額	初年度 合計	2年間 合計	
助産学 〔修士論文コース〕	一括	入学時	300,000	1,100,000 (1・2年次共通)	200,000 (1・2年次共通)	-	1,600,000	2,900,000	
		入学後(9月)	-	550,000	100,000	-			650,000
	分割	入学時	300,000	550,000	100,000	-	950,000		
助産学 〔実践(有資格者)コース〕	一括	入学時	300,000	1,100,000 (1・2年次共通)	200,000 (1・2年次共通)	200,000 (200,000)	-	1,800,000	3,300,000
		入学後(9月)	-	550,000	100,000	-	650,000		
	分割	入学時	300,000	550,000	100,000	200,000 (200,000)	1,150,000		
理学療法 作業療法 言語聴覚 視機能療法 福祉支援工 リハビリテーション 放射線・情報科学 医療福祉教育・管理 〔修士論文コース〕 臨床検査 災害医療 医療機器イノベーション	一括	入学時	300,000	800,000 (1・2年次共通)	200,000 (1・2年次共通)	-	1,300,000	2,300,000	
		入学後(9月)	-	400,000	100,000	-			500,000
	分割	入学時	300,000	400,000	100,000	-	800,000		
生殖補助医療胚培養	一括	入学時	300,000	800,000 (1・2年次共通)	200,000 (1・2年次共通)	200,000 (200,000)	-	1,500,000	2,700,000
		入学後(9月)	-	400,000	100,000	-	500,000		
	分割	入学時	300,000	400,000	100,000	200,000 (200,000)	1,000,000		
遺伝カウンセリング	一括	入学時	200,000	700,000 (1・2年次共通)	150,000 (1・2年次共通)	100,000 (100,000)	-	1,150,000	2,100,000
		入学後(9月)	-	350,000	75,000	-	425,000		
	分割	入学時	200,000	350,000	75,000	100,000 (100,000)	725,000		

単位 (円)

分野	納入方法	入学金	授業料	施設 設備費	実習費	分割 納入額	合計
医療福祉教育・管理 〔1年修了コース〕	一括	入学時	300,000	1,100,000	200,000	-	1,600,000
		入学後(9月)	-	550,000	100,000	-	
	分割	入学時	300,000	550,000	100,000	-	950,000

<特記事項>

- ・本大学院修了(見込)生が、あらためて本分野に入学する場合は、入学金を免除し、学生納付金を、授業料の半額(55万円)、施設設備費20万円、計75万円とする。
- ・留年した場合は、2年目の学生納付金を授業料の半額(55万円)、施設設備費20万円、計75万円とする。

〔医療福祉学研究科 修士課程 医療福祉経営専攻〕

単位(円)

分野	納入方法		入学金	授業料	施設設備費	実習費	分割納入額	初年度合計	2年間合計
医療経営管理 〔医療経営戦略コース(h-MBAコース)〕	一括	入学時	200,000	900,000 (1・2年次共通)	150,000 (1・2年次共通)	—	—	1,250,000	2,300,000
		入学後(9月)	—	450,000	75,000	—	525,000		
	分割	入学時	200,000	450,000	75,000	—	725,000		
医療経営管理 〔医療福祉管理学コース(研究コース)〕 診療情報アナリスト養成 先進的ケア・ネットワーク開発研究 〔介護福祉・ケアマネジメント学領域)〕 医療福祉学 医療福祉ジャーナリズム 医療通訳・国際医療マネジメント 〔修士論文コース)〕	一括	入学時	200,000	700,000 (1・2年次共通)	150,000 (1・2年次共通)	—	—	1,050,000	1,900,000
		入学後(9月)	—	350,000	75,000	—	425,000		
	分割	入学時	200,000	350,000	75,000	—	625,000		
		入学後(9月)	—	350,000	75,000	—	425,000		

単位(円)

分野	納入方法		入学金	授業料	施設設備費	実習費	分割納入額	合計
先進的ケア・ネットワーク開発研究 〔自立支援介護学領域)〕 〔自立支援実践ケアマネジメント学領域)〕 ※1年修了コース	一括	入学時	200,000	700,000	150,000	100,000	—	1,150,000
		入学後(9月)	—	350,000	75,000	—	425,000	
	分割	入学時	200,000	350,000	75,000	100,000	725,000	
<p>＜特記事項＞ 留年した場合は、2年目の学生納付金を授業料の半額(35万円)、施設設備費15万円、実習費10万円、計60万円とする。</p>								

単位(円)

分野	納入方法		入学金	授業料	施設設備費	実習費	分割納入額	合計
医療通訳・国際医療マネジメント 〔1年修了コース(英語・中国語)〕	一括	入学時	200,000	1,100,000	200,000	100,000	—	1,600,000
		入学後(9月)	—	550,000	100,000	—	650,000	
	分割	入学時	200,000	550,000	100,000	100,000	950,000	
<p>＜特記事項＞ 留年した場合は、2年目の学生納付金を授業料の半額(55万円)、施設設備費20万円、実習費10万円、計85万円とする。</p>								

学生納付金

〔医療福祉学研究所 修士課程 臨床心理学専攻〕

単位(円)

専攻	納入方法		入学金	授業料	施設設備費	実習費	分割納入額	初年度合計	2年間合計
臨床心理学	一括	入学時	300,000	700,000 (1・2年次共通)	200,000 (1・2年次共通)	100,000 (1・2年次共通)	—	1,300,000	2,300,000
		入学後(9月)	—	350,000	100,000	—	450,000		
	分割	入学時	300,000	350,000	100,000	—	850,000		

〔医療福祉学研究所 博士課程 保健医療学専攻〕

単位(円)

分野	納入方法		入学金	授業料	施設設備費	実習費	分割納入額	初年度合計	3年間合計
全分野	一括	入学時	300,000	800,000 (1・2・3年次共通)	200,000 (1・2・3年次共通)	—	—	1,300,000	3,300,000
		入学後(9月)	—	400,000	100,000	—	500,000		
	分割	入学時	300,000	400,000	100,000	—	800,000		

〔薬科学研究科 修士課程 生命薬科学専攻〕

単位(円)

分野	納入方法		入学金	授業料	施設設備費	実習費	分割納入額	初年度合計	2年間合計
生命薬学 医療薬学	一括	入学時	200,000	700,000 (1・2年次共通)	150,000 (1・2年次共通)	—	—	1,050,000	1,900,000
		入学後(9月)	—	350,000	75,000	—	425,000		
	分割	入学時	200,000	350,000	75,000	—	625,000		

〔薬学研究科 博士課程 医療・生命薬学専攻〕

単位(円)

専攻	納入方法		入学金	授業料	施設設備費	実習費	分割納入額	初年度合計	4年間合計
医療・生命薬学	一括	入学時	200,000	600,000 (1・2・3・4年次共通)	100,000 (1・2・3・4年次共通)	—	—	900,000	3,000,000
		入学後(9月)	—	300,000	50,000	—	350,000		
	分割	入学時	200,000	300,000	50,000	—	550,000		

私費外国人留学生への学費減免制度について

入学までに「留学」の在留資格が取得可能な私費外国人留学生で、経済的理由により学生納付金の納入が困難と認められる者は、学費減免制度(授業料を30%免除)の適用を受けることができます。学費減免制度の適用条件については以下をご確認ください。

次のいずれかに該当する場合は、経済的理由により授業料の納入が困難であると認めます。

- ① 1か月あたりの仕送りの額(入学金、授業料等の学生納付金は除く)が、平均90,000円以下の場合
- ② 扶養親族と同居している場合は、当該扶養親族の年収が500万円以下の場合

※ 以下の項目に該当する場合は原則として私費外国人留学生授業料減免制度の適用を受けることができません。

1. 国費外国人留学生制度実施要項に定める国費外国人留学生および外国政府の派遣する留学生
2. 企業、病院、奨学金団体等により学費が負担される者

※ 授業料減免制度の適用期間は、本学で定める修業年限とします。

※ 留学生の学生納付金は分割納入とし、入学時(2年次以降は3月)は分割納入額を振り込んでいただきます。授業料の減免は、入学後(毎年6月頃)に申請・審査を行い、審査結果により確定した学生納付金額を8月頃に本人に通知しますので、通知に従って手続きを行ってください。

※ 入学後の成績が不良の場合や、本学が減免措置の継続が適当でないと判断した場合は、減免率の引下げや減免取り消しとなる場合があります。

共通事項 ▶ 出願・受験・入学手続

出願上の留意事項

- 出願書類を準備し、出願期間内に東京赤坂キャンパス入試事務室に郵送してください。なお封筒は市販の角型2号封筒を使用し、封筒の表にダウンロードした「封筒貼付用宛先用紙」を貼付して、郵便局から簡易書留・速達郵便にて送付すること。
- 出願期間を過ぎて提出された出願書類および内容に不備のある出願書類は受理しません。
- 一度受理した出願書類は返却しません。
- 出願書類は入学検定料納入後、出願期間内に提出してください。
- 試験日が迫って出願書類を受理し、受験票を発送しても行き違いになると判断した場合には、主にメールで連絡の上、試験場で受験票を交付することがあります。
- 外国語の証明書類等には日本語訳または英語訳を添付してください。なお科目、成績評価等が符号または略字等により表記されている場合は、その説明を添付すること。
- 出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、出願受理や、合格・入学許可を取り消すことがあります。
- 働きながら就学する場合は、あらかじめ勤務先とよく相談し、調整しておいてください。
- 本学卒業（見込）者、本大学院修了（見込）者は、必ず志願票の「該当者のみチェック欄」にチェックし、本学在籍時の学籍番号を記載してください。
- 本学教職員・本学関連施設勤務（予定）者は、必ず志願票の「該当者のみチェック欄」にチェックし、履歴欄にその旨を記載してください。
- 本学関連大学・専門学校※卒業（見込）者は、必ず志願票の「該当者のみチェック欄」にチェックし、履歴欄にその旨を記載してください。
※福岡国際医療福祉大学・国際医療福祉大学塩谷看護専門学校・柳川リハビリテーション学院・福岡国際医療福祉学院・大川看護福祉専門学校・福岡医療経営学院

感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者や試験監督者等へ感染のおそれがあるため、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師が感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として追試験や入学検定料の返還は行いません。

身体等に障害のある志願者について

身体等に障害のある志願者は必ず出願前に東京赤坂キャンパス入試事務室に連絡して、受験において必要となる特別な配慮および修学上の諸注意を確認してください。また、事前相談時に、研究指導教員とも相談してください。なお、試験当日や入学後に個々の状況に応じた配慮を必要とすることがありますので、医師の診断書等を提出していただく場合があります。

出願締切日および入学試験

- 各専攻・分野ごとに定められた出願期間を厳守してください。
- 試験日が定まっている場合と、出願期間ごとに一定の試験期間を設けている場合があります。
- 試験期間を設けている場合、出願書類受理後、試験日および試験場を個別調整の上、入学試験を実施します。
※試験場は受講希望地をもとに調整しますが、受講希望地以外の本学指定の試験場にて実施する場合があります。
※入学試験に伴い、宿泊を予定する者は各自で早めに宿泊先を手配してください。なお、本学では宿泊に関する問い合わせには一切応じられませんので、ご了承ください。

出願・受験・入学手続

入学検定料の納入方法

WEB出願の導入を検討しております。導入後の出願方法変更等のご案内についてはホームページをご確認ください。
WEB出願導入までは下記口座へ入学検定料を振込後、出願書類を東京赤坂キャンパス入試事務室まで郵送してください。

- 振込人名の前に必ず分野コードを入力してください。

受験者本人の氏名を入力してください。

入力例（修士課程_助産学分野を受験する場合）： 1119 コクフクハナコ

- 入学検定料は全専攻とも、30,000円です。出願書類を送付する前に、必ず入学検定料を納入してください。
- 一度お支払いされた入学検定料は、返金できません（ただし、出願資格審査により出願が認められなかった場合を除きます）。

入学検定料振込先：

足利銀行 大田原支店 普通 3244843 ガク) コクサイイリョウフクシダイガク

入学検定料振込用 分野コード

修士課程 保健医療学専攻

分野コード	分野
1111	看護学分野
1121	特定行為看護師養成分野
1119	助産学分野
1112	理学療法学分野
1113	作業療法学分野
1114	言語聴覚分野
1120	視機能療法学分野
1116	福祉支援工学分野
1117	リハビリテーション学分野
1115	放射線・情報科学分野
1118	生殖補助医療胚培養分野
1122	医療福祉教育・管理分野
1123	臨床検査学分野
1124	災害医療分野
1125	遺伝カウンセリング分野
1126	医療機器イノベーション分野

修士課程 医療福祉経営専攻

分野コード	分野
1212	医療経営管理分野
1215	診療情報アナリスト養成分野
1217	先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
1211	医療福祉学分野
1214	医療福祉ジャーナリズム分野
1219	医療通訳・国際医療マネジメント分野

修士課程 臨床心理学専攻

分野コード	分野
1411	臨床心理学専攻

修士課程 生命薬科学専攻

分野コード	分野
2211	生命薬科学専攻 生命薬学分野
2212	生命薬科学専攻 医療薬学分野

博士課程 医療・生命薬学専攻

分野コード	分野
3111	医療・生命薬学専攻

博士課程 保健医療学専攻

分野コード	分野
1311	看護学分野
1324	助産学分野
1312	理学療法学分野
1313	作業療法学分野
1314	言語聴覚分野
1322	視機能療法学分野
1316	福祉支援工学分野
1317	リハビリテーション学分野
1315	放射線・情報科学分野
1325	生殖補助医療胚培養分野
1318	医療福祉経営学分野
1326	診療情報管理・分析学分野
1321	先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
1319	医療福祉学分野
1327	医療福祉ジャーナリズム分野
1328	臨床心理学分野
1329	臨床検査学分野
1330	医療福祉教育・管理分野
1331	医療遺伝学分野
1332	災害医療分野

受験上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学試験当日は受験票を持参してください。試験場入室の際や試験室内にて確認します。 ● 受験票に記載されている集合時間までに試験場へ集合してください。 ● 原則として、試験開始後20分以上遅刻した場合は試験を受けることができません。ただし、公共交通機関の遅れが原因で遅刻した場合には、遅延証明書の提出により受験を許可します。 ● 試験室には時計が無いことがあります。また試験時間の管理は監督者の時計で行います。 ● 試験中、スマートフォン・携帯電話・PHS・ウェアラブル端末・音の出る機器等は必ずアラームを解除してから電源を切り、かばん等にしまってください。身につけて受験することはできません。また時計としての使用も認めません。 ● 試験会場内では職員の指示に従ってください。 ● 各試験場とも上履きを持参する必要はありません。 ● 大田原キャンパス・大川キャンパス以外では試験当日利用できる駐車場はありません。 ● 出願後から合格発表までの間に住所・メールアドレス・電話番号等が変更になった場合には、速やかに変更後の住所・メールアドレス・電話番号等を東京赤坂キャンパス入試事務室に連絡してください。
合格発表	<ul style="list-style-type: none"> ● 可否通知を受験者全員に簡易書留(速達)で郵送します。指定された合格発表日・期間に本学より発送しますので、到着日時は居住地により異なります。 ● 試験を欠席した者には通知しません。 ● 掲示による合格発表は行いません。 ● 電話や電子メール等による可否の問い合わせには一切応じません。
入学手続	<ul style="list-style-type: none"> ● 合格者には合格通知書・入学手続要項・手続書類一式を簡易書留で郵送します。 ● 事前相談をとまう専攻・分野の入試については、全て専願制入試として扱いますので、合格者は入学手続期間内に必ず入学手続を完了してください。 ● 入学手続期間内に学生納付金を納入した上で、入学手続書類を提出することにより、入学手続は完了となります。 ● 入学手続期間内に所定の手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。 ● 入学手続完了者(大学の指定口座への入金を済ませ、書類を提出済の者)には入学手続期間終了後、本学より「入学許可証」を郵送します。 ● 入学許可証は入学手続完了後に発送します。 ● 出願資格において卒業(修了)見込みあるいは大学改革支援・学位授与機構から学士の学位授与見込みであった者、またその他の出願資格において「見込み」として出願した者は、2026年3月31日までに「卒業(修了)証明書」等の証明書類の提出が必要となります。 ※出願締切日近くの出願については、入学手続期間をきわめて短期間に設定する場合があります。
留学生の入学手続	<ul style="list-style-type: none"> ● 留学生は、入学手続時に「誓約書・保証書・同意書」が必要になります。 ※身元保証人は、本人の親、親戚(成人の方)、学費負担者(本人以外)等とし、身分を証明する書類(運転免許証・パスポートの写し等)を「誓約書・保証書・同意書」に添付していただきます。
在留資格認定証明書交付申請について	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本国内在住の留学生は、「入学許可証」受領後、各自で入国管理局に在留期間更新・在留資格変更の申請を行ってください(所属キャンパスにより、状況が異なる場合があります)。 ● 日本国外在住の留学希望者で本学に入学を希望する場合は、本学にて在留資格認定証明書交付申請を行います。合格通知書に同封する入学手続要項を確認の上、申請に必要な書類等を速やかに提出してください。なお、審査は法務省が行うものであり、不交付となった場合、本学では一切責任を負いかねます。 <p>◇申請に関する問い合わせ先 東京赤坂キャンパス事務部 TEL: 03-5574-3900</p> <p>※2026年3月31日までに「留学」の在留資格が交付されなかった場合、入学が取り消される場合があります。</p>
入学辞退	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学手続完了後に、やむを得ない事情で入学を辞退する場合は、「入学辞退届(入学手続要項にしたがって作成したもの)」と「入学許可証」を簡易書留の速達で本学東京赤坂キャンパス入試事務室宛に郵送してください。 ● 2026年3月19日(木)17:00までに入学辞退した者については、入学金を除く学生納付金を速やかに返還します。 ● やむを得ずこれ以降2026年3月31日(火)17:00までに入学辞退した者についても入学金を除く学生納付金を返還しますが、返還時期は2026年5月以降となります。 ● 2026年4月1日(水)以降に入学辞退した者については、いかなる場合も学生納付金は返還しません。 ● 電子メールやFAX等による入学辞退は一切受け付けません。 ● 入学辞退に関する詳細は合格通知書に同封する「入学手続要項」で確認してください。

長期履修について

1. 概要

本学大学院学則により、修士課程の標準修業年限は2年間、博士課程の標準修業年限は3年間（医学研究科、薬学研究科博士課程は4年間）と定められていますが、就業上の理由や、家事・出産・育児、また外国において研究、研修を行う等の理由で、学修時間が十分確保できない事情が認められる場合には、修士課程ではあらかじめ3年間、博士課程では4年間（医学研究科、薬学研究科博士課程は5年間）での計画的な長期履修の申請をすることが可能です（但し、修士課程1年修了コースは対象外となります）。

長期履修が許可された場合の学生納付金（授業料、施設設備費、実習費）の額は、標準学修年限については長期履修をしない通常の学生と同額となりますが、以降、長期履修期間満了までの間については、在籍に係る諸経費として1年間の通常の学生納付金の額の10分の1を納付していただきます。

2. 対象

長期履修を申請できるのは、何らかの事情により著しく学修時間の制約を受け、標準修業年限では課程の修了が困難と考えられる方となります。具体的には、外国において研究、研修を行うことがあらかじめ確定している者、職業を有し、就業している者、家事・出産・育児・長期介護等を行う者、その他やむを得ない事情を有すると大学院長が認めた者が対象となります。

なお、留学生は長期履修の申請の対象となりません。

3. 申請

「長期履修申請書」及び「長期履修申請に係る履修計画書」※₁に必要事項を記入し、長期履修が必要であることを証明できる書類を添えて、**出願書類に同封の上、東京赤坂キャンパス入試事務室に提出してください。**なお、申請に際しては、あらかじめ指導予定教員等に履修計画について相談するとともに、申請の了解を得てください。また、長期履修は、申請すれば必ず認められるものではありません。審査により不可となる場合もありますので注意してください※₂。

※₁ 申請に必要な書式は、本大学院ホームページからダウンロードできます。（<https://www.uhw.ac.jp/daigakuin/>）

※₂ 入学試験合格後、長期履修申請についての審査結果を別途通知します。

4. その他

長期履修とは、長期にわたる計画的な履修をあらかじめ許可するものであり、単位の修得状況や論文等の執筆状況などによって修了が延期となる者（いわゆる留年者）を救済するためのものではありません。また、療養等により一定の期間履修することができない事由が発生した場合については、長期履修ではなく休学の対象となります（休学期間は長期履修期間に算入されませんが、休学期間中の学生納付金は、年次に係らず通常の学生と同額となります）。

< Q & A >

Q 長期履修期間が満了する前に修了要件を満たす見込みとなった場合はどうなりますか？

A 修了要件を満たす見込みが立ち、長期履修期間が満了する前に修了を希望する場合には、変更の許可を受けようとする学年開始の2ヶ月前となる1月末日（通常は修士課程1年次、博士課程2年次〔医学研究科、薬学研究科博士課程3年次〕の1月末日）までに「長期履修期間変更申請書」を提出することで長期履修期間の短縮を申請することができます。ただし、長期履修期間の変更が認められるのは1回のみですので、変更後に何らかの事情により修了できなくなった場合には、その後は通常の学生と同額の学生納付金を納める必要がありますので注意してください。

Q 長期履修期間の中でも修了する見込みが立たなくなった場合、残りの在学年限はどうなりますか？

A 長期履修が認められた場合であっても、通常の課程の学生と同様に原則として修士課程では4年間、博士課程では6年間（医学研究科、薬学研究科博士課程では8年間）を超えて在学することはできません。ただし、当初の修了予定学年開始の2ヶ月前となる1月末日（通常は修士課程2年次、博士課程3年次〔医学研究科、薬学研究科博士課程4年次〕の1月末日）までに「長期履修期間変更申請書」により申請することで、長期履修期間をもう1年間だけ延長することができます※。

※修了予定年次になってからの変更申請はできませんので注意してください。

※この場合の学生納付金の額は、長期履修の3年次と同様、在籍に係る諸経費として1年間の通常の学生納付金の額の10分の1を納付していただきます。

長期履修に関するお問い合わせ

国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス入試事務室

TEL : 03-5574-3903 FAX : 03-5574-3901

E-mail : daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

奨学金

【奨学金】

さまざまな奨学金制度がありますが、奨学金を必要とする大学院生の多くが、日本学生支援機構奨学金を利用しています。その他、自治体や財団の奨学金もありますが、採用にあたり学内選考を行うほか、奨学金を拠出する自治体、財団での選考があります。また各奨学金によって採用条件も異なり、募集が行われないこともあります。原則、入学後に申請・審査・決定となるため入学前には貸与できません。入学手続時に必要な学生納付金に充当することはできませんので注意してください。

合格者には、合格通知書とともに送付する手続要項を確認の上、利用希望者は各自お申し込みください。奨学金の利用をご検討される方は、出願時にお問い合わせいただいても結構です。

◇日本学生支援機構奨学金に関する問い合わせ先

ホームページ <https://www.jasso.go.jp/>

◇奨学金に関する問い合わせ先

国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス事務部 TEL：03-5574-3900（土日祝を除く 9：00～17：00）

修学資金・
学資ローン

名称	制度の内容	
学外教育ローン	国や民間の金融機関で取り扱う教育ローンがあります。詳細は日本政策金融公庫または民間の金融機関で確認してください。	
大学提携教育ローン	<p>本学では、入学手続時や授業料の支払い時に、株式会社オリエントコーポレーションまたは株式会社ジャックスと提携した教育ローンをご案内しています。これらは入学金や授業料などの学生納付金を提携会社が本学へ立て替え納付し、学費納入者の方より提携会社へ毎月分割で返済していただく教育ローンです。</p> <p>※本学ホームページ入試情報の「学費」内「学費サポート制度」より、本制度の詳細確認およびWEB申し込みが可能です。</p> <p>※本学の入試を受験する前に事前審査が可能です。</p>	
	<p>◇株式会社オリエントコーポレーション「学費サポートプラン」</p> <p>【問い合わせ先】 株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク TEL：0120-517-325（9：30～17：30）</p>	<p>◇株式会社ジャックス「ジャックスの教育ローン」</p> <p>【問い合わせ先】 株式会社ジャックス コンシューマデスク TEL：0120-338-817（10：00～19：00）</p>

※審査結果により各ローンのご利用が認められない場合もあります。入学手続期間内に学生納付金のお振込みができない場合には、入学手続が完了とならず、入学が認められませんので、ローンのお申し込みは十分余裕をもってお手続きください。

個人情報
の取り扱い
について

志願者の氏名、住所、その他の個人情報については、以下の用途にのみ利用し、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。ただし、入学試験の実施や入学に伴う資料の発送等については、本学が個人情報保護における安全管理等を十分に確認した上で、業務委託先へ個人情報を開示・提供する場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、この場合においても、個人情報は本学が明示する用途にのみ使用し、委託した業務内容を超えて利用することはありません。

<利用目的>

- ・入学試験の実施に伴う利用
- ・合格発表および入学手続に伴う利用
- ・入学後の修学関係等に伴う利用
- ・入学試験および入学後に行う統計資料の作成
- ・その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な場合

教育充実基金
(寄付金)の
お願い

本学では、高度な教育研究・医療福祉の環境を整備・維持することを目的として、寄付金（任意）のご協力をお願いしています。入学後にご案内いたしますので、ご理解の上ご協力くださいますようお願い申し上げます。詳しくは本学ホームページの「本学へのご支援をお考えの皆様へ（<https://www.iuhw.ac.jp/about/shien/>）」をご確認ください。

※所定の手続をしていただくことで、税制上の優遇措置を受けることができます。

Q1：研究指導教員との事前相談は必ず行う必要があるのですか？

A1：事前相談は必ず行ってください（ただし、修士課程 臨床心理学専攻志願者を除きます）。

希望する研究テーマとその研究指導教員の専門領域が一致するか、修学にあたっての留意事項など、自身で確認すべき内容を相談の上、出願する旨を研究指導教員に伝えてください。研究指導教員から出願許可を得た後、出願書類をご提出ください。相談の形式（メールや電話、面談など）については、研究指導教員の指示に従ってください。

※詳細はP.4「研究指導教員の選定と事前相談について」を参照。

Q2：研究指導教員が決められず、事前相談ができません。どうすればよいのでしょうか？

A2：研究指導教員の選定が困難な場合には各分野の窓口担当教員まで相談してください。

※各分野の窓口担当教員については、本学ホームページ参照。

Q3：研究指導教員の研究テーマや連絡先がわかりません。どうすればよいのでしょうか？

A3：本学ホームページを確認してください。

担当する課程、研究指導テーマおよび連絡先（E-mail等）が記載されています。

Q4：出願資格に該当しているかどうかわかりません。どうすればよいのでしょうか？

A4：出願資格を満たしているかどうか判断できない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室まで連絡してください。

学歴・職歴・研究歴などをお尋ねさせていただいた上で、出願資格要件について説明します。

Q5：4年制大学を卒業後に、専門学校等に入学し国家資格を取得した場合、志願票1枚目の「出願資格に該当する学歴」欄にはどの学歴を記載すればよいのでしょうか？

A5：4年制大学の学歴を記載してください。この場合、出願資格は（1）となります。また、必ず卒業した4年制大学の卒業証明書と成績証明書を提出し、可能な限り専門学校等の卒業証明書と成績証明書を提出してください。

※志願票2枚目の履歴欄には、4年制大学とその後の専門学校等の学歴も含めて、すべての学歴を記載してください。

Q6：4年制大学を卒業していなくても修士課程には出願できますか？

A6：学校教育法施行規則等の改正により、本大学院の出願資格審査を経て出願資格が認められた満22歳以上の方であれば、修士課程の受験が可能です。ただし、4年制大学を卒業していない方の場合、分野によっては国家資格を保持していることなどが審査申請の要件として設けられている場合があります。必ず各専攻・分野の出願資格および出願資格審査申請要件を確認してください。

Q7：出願資格審査とはどんな審査ですか？

A7：出願が認められるか否かを判断する書類審査です。

出願資格審査を要する方については、事前相談と同時に審査を行います（一部の分野を除く）。事前相談を行い出願の許可を得た後、出願書類とともに出願資格審査申請書や各分野で指定された書類を東京赤坂キャンパス入試事務室まで送付してください（出願資格のある方は審査は不要となります）。

※詳細はP.21～64の各専攻の「出願資格審査」の項目を参照してください。また手続の流れにつきましては、P.80「出願資格審査（医療福祉学研究科・薬学研究科）手続フローチャート」を参照してください。

Q8：修士の学位を持っていなくても博士課程 保健医療学専攻には出願できますか？

A8：本学において修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認められた場合には、修士の学位を持っていない方でも出願が可能です（詳細はP.52、53の「出願資格審査」の項目を参照してください）。

Q9：出願書類について教えてください。

A9：詳細はP.21～64の各専攻の「出願書類」の項目を参照してください。なお、出願書類中の「成績証明書」「卒業（修了）証明書」（原本またはCertified Copy）「戸籍抄本」（原本）などは取り寄せに時間がかかる場合があります。全ての書類が整った段階で正式受理となりますので、早めに準備するようにしてください。

Q10: 一般入試・社会人入試の違いは何ですか？また受験にあたり有利・不利はありますか？

A10: 本大学院では、志願者の職務経験等を考慮し、一般入試と社会人入試に入試区分を分けている分野があります。一般入試と社会人入試では選抜方法が異なり、分野によっては社会人入試の場合、一部の筆記試験が免除されている場合があります。それぞれの入試区分ごとに募集人員の人数枠はありませんので、特に合否判定での有利・不利はありません。自身の出願資格に該当する入試区分で出願してください。

Q11: 過去問題は配付していますか？

A11: 以下の専攻・分野についてのみ、過去問題の閲覧や入手ができます。

- ・臨床心理学専攻

前年度実施分の過去問題（PDF）を送付できます（無料）。

解答例はついていません。

希望される方は、daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jpまでお問い合わせください。

- ・遺伝カウンセリング分野

前年度実施分の過去問題を閲覧できます。

東京赤坂キャンパスのみとなります。

希望される方は、東京赤坂キャンパス入試事務室（03-5574-3903）までご連絡の上、お越しくください。

Q12: 学内推薦入試とはどんな入試ですか？

A12: 学内推薦入試は、国際医療福祉大学卒業（見込）者・国際医療福祉大学大学院修了（見込）者・福岡国際医療福祉大学卒業（見込）者を対象とした入試制度です。入学試験科目の一部または全てを免除する制度で、多くの分野で書類選考のみ実施しています。出願時に必ず、所定の推薦者が作成した「学内推薦入試 推薦書」の提出が必要となり、医療福祉学研究所、薬科学研究科、薬学研究科では、所定の推薦者が異なります。

※医療福祉学研究所では、看護学分野公衆衛生看護学領域〔実践（保健師）コース〕・看護教育学領域（CNEコース）、特定行為看護師養成分野、災害医療分野（修士課程のみ）、および医療通訳・国際医療マネジメント分野で、学内推薦入試を実施しません。

※医療福祉学研究所では、推薦者によっては出願後に東京赤坂キャンパス入試事務室から、卒業（見込）学科の現学科長や修士課程を修了した分野の現分野責任者に、学内推薦入試での出願を認めるか確認する場合があります。承認が得られない場合は、東京赤坂キャンパス入試事務室より志願者に連絡の上、一般入試や社会人入試での受験に変更させていただきますので、ご了承ください。

※手続の流れにつきましては、P.80「学内推薦入試（医療福祉学研究所） 手続フローチャート」を参照してください。

Q13: 学資金に不安があります。

A13: 本大学院には、国の教育ローンや日本学生支援機構奨学金等を利用している方もいます。後日の返済のことも考え、しっかりと計画を立てて学資金を準備し、研究に集中できる環境を整えた上で、出願してください。奨学金、修学資金・学資ローンについては、P.75を参照してください。

Q14: 入試日程について教えてください。

A14: 試験日や出願期間は専攻・分野により異なります。本冊子内で、出願・試験期間を第1次～第5次まで定めている専攻・分野については、本大学院にて出願書類を受理後、主にメールにて試験日や試験場を個別に調整します。詳細は本冊子をよくご確認ください。

Q15: 社会人が働きながら履修することは可能ですか？

A15: 本大学院では、在籍者の多くが社会人であり、仕事と学業を両立させています。

授業は平日の9時から21時15分の間以外に、土曜日にも開講しています。また、東京都、栃木県、千葉県、神奈川県、静岡県、福岡県に7つのキャンパスを設け、社会人が学びやすい環境を整えています。平日18時からの授業を週に3～4回程度と土曜日の授業を履修することで、ほとんどの場合は問題ありません（修士課程 臨床心理学専攻は平日昼間のみの開講であるなど、専攻・分野により異なりますので、本冊子をよく確認してください）。

自分の研究指導教員の授業は必ず履修しなければなりません。研究指導教員との事前相談の際に授業時間を確認してください。時間割は、最寄のキャンパス（P.10、11【キャンパスの所在地と連絡先】を参照）までお問い合わせください。

Q16: 国家資格は得られますか？

A16: 本大学院 修士課程 保健医療学専攻および臨床心理学専攻において下記の国家資格の申請資格または受験資格を得ることができます。

修士課程 看護学分野	所定の単位を満たすことで、 <u>養護教諭専修免許の申請資格</u> を得られる※ ※養護教諭一種免許を持っていない場合、本学の科目等履修生として、小田原保健医療学部看護学科の所定の単位を取得することで、 <u>養護教諭一種免許の申請資格</u> を得ることも可能（詳細は、事前相談時に確認すること）。履修には別途履修料が必要です。
修士課程 看護学分野 公衆衛生看護学領域〔実践（保健師）コース〕	修了時に <u>保健師国家試験受験資格</u> を得られる
修士課程 臨床心理学専攻	所定の条件・単位を満たすことで、修了時に <u>公認心理師国家試験受験資格</u> を得られる。

その他、国家資格ではありませんが、以下の専攻・分野・領域（コース）にて公的資格・民間資格の受験資格等が取得可能です。

※受験に際しては、学会員であること等が必要となるものもありますので、必ず各協会・学会等のホームページ等で確認してください。

修士課程 看護学分野 (専門看護師 (CNS))	修了時に <u>専門看護師専門看護分野特定審査への申請資格</u> を得られる※ (公益財団法人 日本看護協会) ※実務研修等の申請要件を満たす必要がある。
修士課程 臨床心理学専攻 (第1種指定大学院)	修了時に <u>臨床心理士試験の受験資格</u> を得られる (公益財団法人 日本臨床心理士資格認定協会)
修士課程 特定行為看護師養成分野 (厚生労働省 特定行為に係る看護師の研修制度 準拠)	<ul style="list-style-type: none"> 修了時に最大で21区分の<u>特定行為研修修了証</u>を得られる 修了時に<u>診療看護師 (NP) 資格認定試験の受験資格</u>を得られる (一般社団法人 日本NP教育大学院協議会)
修士課程 放射線・情報科学分野 全領域共通 医学物理コース	<ul style="list-style-type: none"> 1年以上在籍した時点で<u>医学物理士認定試験の受験資格</u>を得られる (一般財団法人 医学物理士認定機構)
修士課程 福祉支援工学分野 福祉用具管理指導者領域	<p>入学後の選択コースにより、以下の資格を取得可能</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年間の養成研修を修了すると<u>福祉用具プランナー管理指導者の申請資格</u>を得られる (公益財団法人テクノエイド協会) 養成研修を修了すると<u>リフトリーダー資格</u>を得られる (公益財団法人テクノエイド協会) カリキュラム中に<u>車いす安全整備士講座</u>があり、これを受講し筆記・実技試験に合格すると資格を得られる (一般社団法人 日本福祉用具評価センター)
修士課程 臨床検査学分野 細胞検査士養成コース	修了時に <u>細胞検査士認定試験の受験資格</u> を得られる (公益社団法人 日本臨床細胞学会)
修士課程 遺伝カウンセリング分野	修了時に <u>認定遺伝カウンセラー認定試験の受験資格</u> を得られる (日本遺伝カウンセリング学会・日本人類遺伝学会)
修士課程 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 自立支援介護学領域	修了時に <u>自立支援介護講師認定試験の受験資格</u> を得られる (一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会)

Q17: 長期履修制度はありますか？

A17: 修士課程・博士課程には長期履修制度があります。詳細はP.74の「長期履修について」の項目を参照してください。

Q18: 教育訓練給付制度は利用できますか？

A18: 一部の分野で利用できます。本大学院では、修士課程の下記の専攻・分野において、厚生労働大臣の一般教育訓練給付制度の指定を受けています（上限あり）。

【2025年4月1日現在の指定を受けている専攻・分野】

看護学分野、特定行為看護師養成分野、助産学分野有資格者・修士論文コース、理学療法学分野、作業療法学分野、言語聴覚分野、視機能療法学分野、福祉支援工学分野、リハビリテーション学分野、放射線・情報科学分野、生殖補助医療胚培養分野、医療福祉教育・管理分野（2年修了コース・1年修了コース）、臨床検査学分野、災害医療分野、遺伝カウンセリング分野、医療経営管理分野（h-MBAコース・研究コース）、診療情報アナリスト養成分野、先進的ケア・ネットワーク開発研究分野（2年修了コース・1年修了コース）、医療福祉学分野、医療福祉ジャーナリズム分野、医療通訳・国際医療マネジメント分野（2年修了コース・1年修了コース）、臨床心理学専攻

【重要：注意事項】

上記記載内容は2025年4月1日時点の状況であり、2025年4月入学者向けの教育訓練給付対象の分野となります。従いまして、2026年4月1日時点において分野によっては指定対象外となる場合があるため、2026年4月入学者へはあくまでも参考の内容となります。教育訓練給付制度のご利用を検討している場合は、東京赤坂キャンパス事務局教育訓練給付担当まで必ずお問い合わせをお願いいたします（受験する修士分野をお伝えください）。

※給付の対象は、所定の条件を満たしている社会人の方となります。（厚生労働省WEBサイト参照）

※修了時または修了後速やかに申請していただくものです。出願時にお手続いただく必要はありません。

Q19: 語学能力や海外での活動歴は、評価の対象となりますか？

A19: いずれも、書類審査・面接試験時の総合判定の要素となります。

語学に関する資格や試験スコア等は、志願票（1枚目）の「取得免許・資格」欄に記入してください。また、海外での活動歴（学歴・職歴）も、志願票（2枚目）に詳しく記入してください。

Q20: 修了の要件を教えてください。

A20: 下表のとおりです。詳細は各キャンパスの事務担当者（P.10、11【キャンパスの所在地と連絡先】を参照）までお問い合わせください。

〈医療福祉学研究科〉

修士課程	2年以上在学して、所定の単位（30単位以上 [※] ）を修得し、学位論文の審査と最終試験に合格すること ※専攻・分野・コースによって、卒業に必要な単位数・修業年限は異なります。 ※学位論文審査に代えて課題研究を行う分野・コースもあります。 ※医療福祉教育・管理分野および先進的ケア・ネットワーク開発研究分野、医療通訳・国際医療マネジメント分野には1年修了コースもあります。
博士課程	3年以上在学して、所定の単位（12単位以上）を修得し、学位論文の審査と最終試験に合格すること

〈薬科学研究科〉

修士課程	2年以上在学して、所定の単位（30単位以上）を修得し、学位論文の審査と最終試験に合格すること
------	--

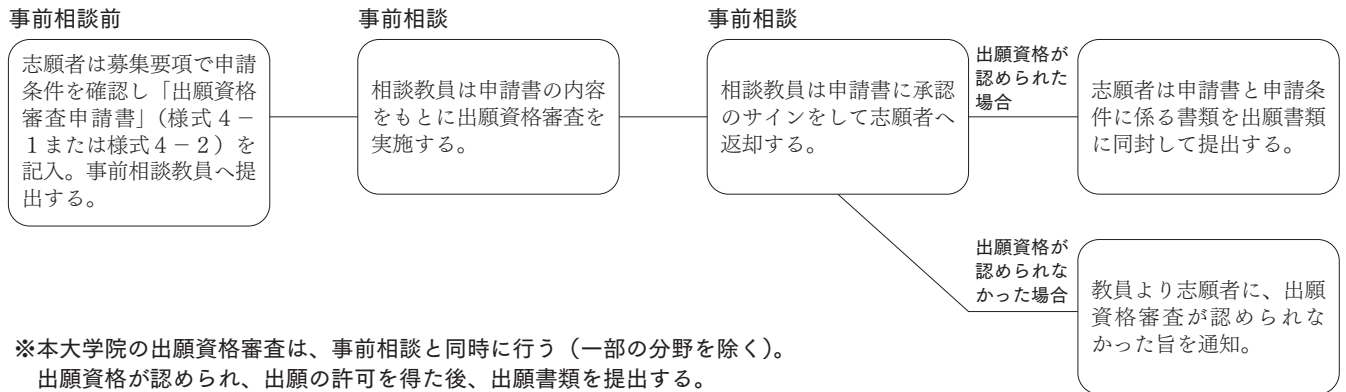
〈薬学研究科〉

博士課程	4年以上在学して、所定の単位（32単位以上）を修得し、学位論文の審査と最終試験に合格すること
------	--

○その他、下記内容については各担当者までお問い合わせください。

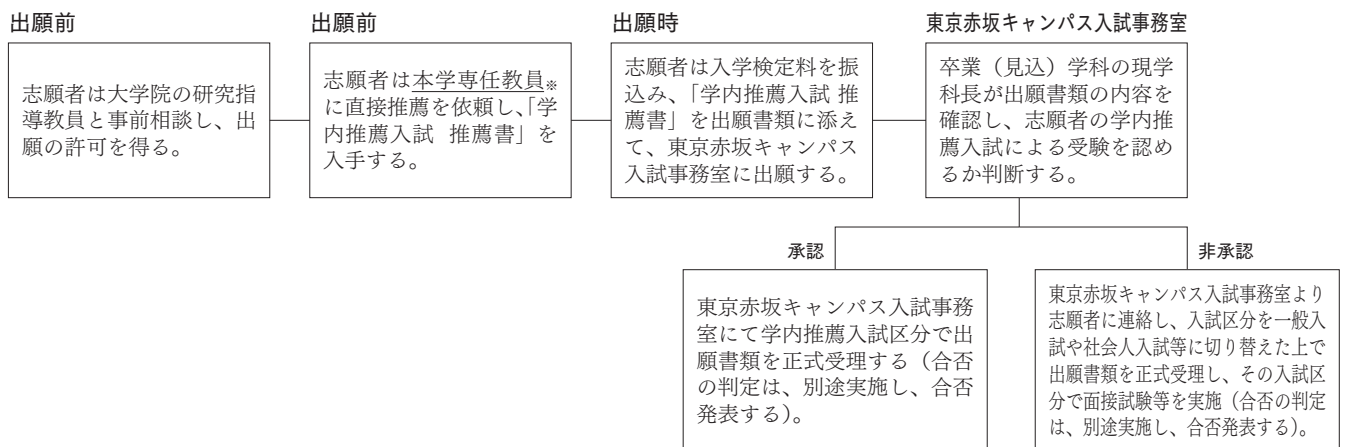
出願から入学手続までの入試全般に関する内容	▶ 東京赤坂キャンパス入試事務室 TEL：03-5574-3903 FAX：03-5574-3901 E-mail：daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp
分野の教育内容等	▶ 各分野の窓口担当教員（本学ホームページ参照）
カリキュラム等	▶ 研究指導教員もしくは各キャンパス事務担当者（P.10、11【キャンパスの所在地と連絡先】を参照）

【出願資格審査（医療福祉学研究科・薬学研究科） 手続フローチャート】



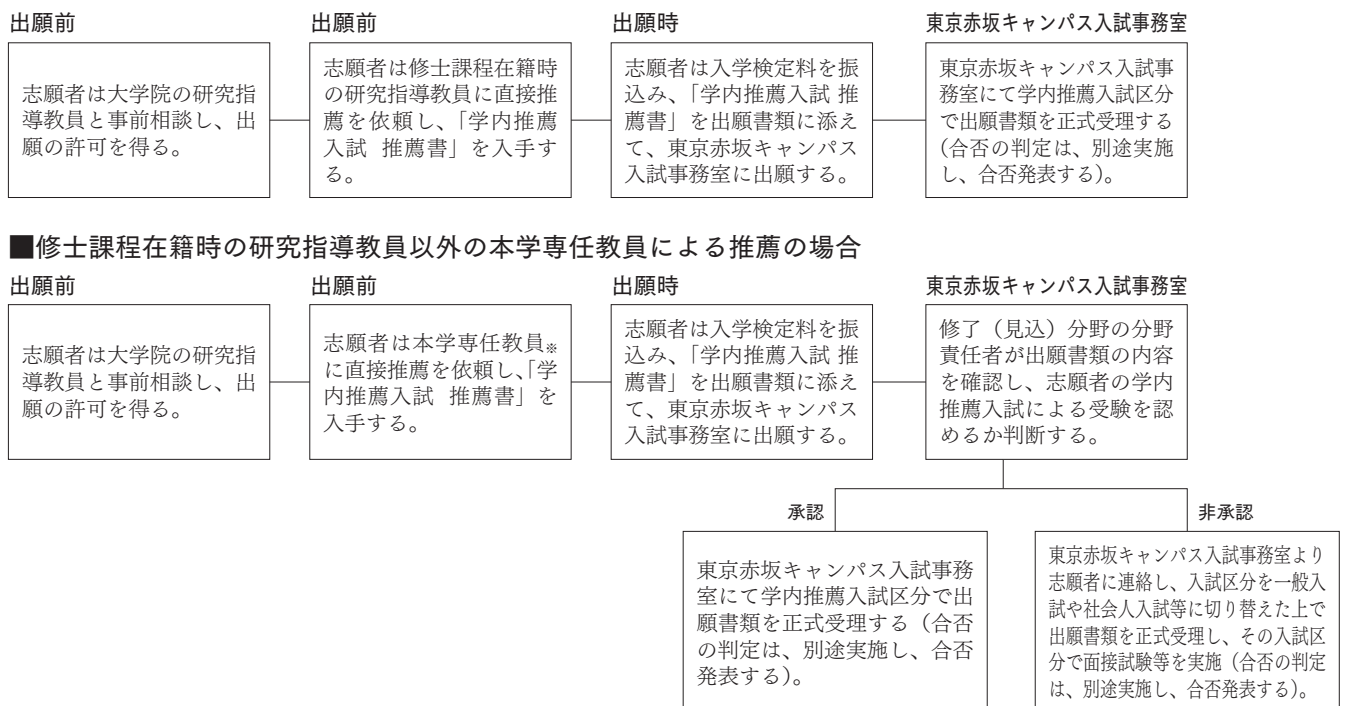
【学内推薦入試（医療福祉学研究科） 手続フローチャート】

< 修士課程 >

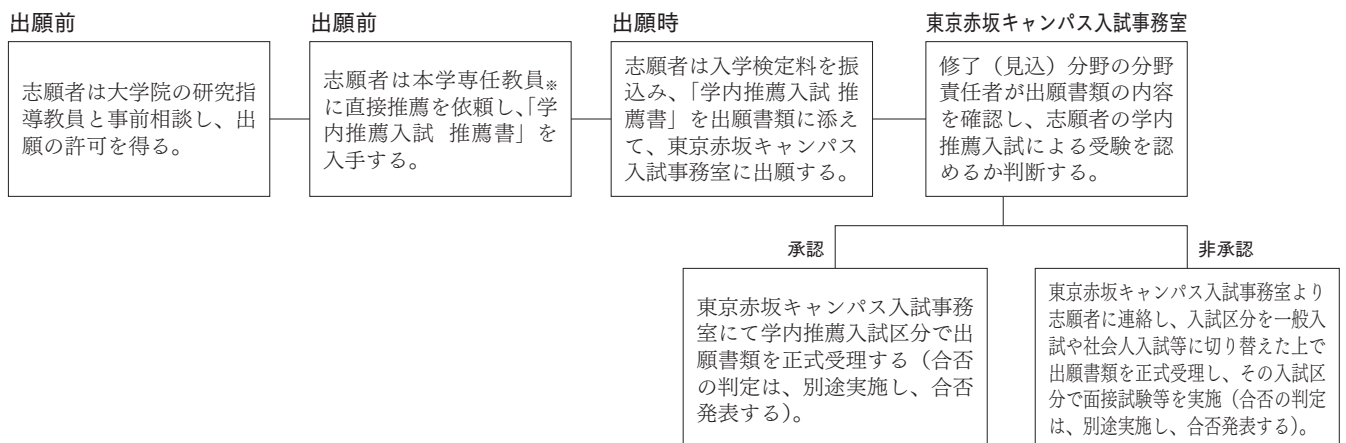


< 博士課程 >

■ 修士課程在籍時の研究指導教員による推薦の場合



■ 修士課程在籍時の研究指導教員以外の本学専任教員による推薦の場合



※出願時点で、大学・大学院を問わず、本学（全キャンパス）に在籍する教員に限る。

- ・薬学研究科では、「学内推薦入試 推薦書」の推薦者は、現薬学部長に限る。
- ・薬学研究科では、「学内推薦入試 推薦書」の推薦者は、現薬学部長もしくは現薬科学研究科長に限る（卒業または修了の状況により異なる）。どちらの推薦が必要かは、P.61 の出願資格「3. 学内推薦入試」を確認すること。

共通事項 ▶ 志願票等の記入方法（志願票）

下記の手順に従って記入してください。
記入はすべて黒のペンまたはボールペンを使用してください。

記入上の注意点

- ◎志願票は2枚組です。本学ホームページからダウンロードをし、記入例を参考にして、漏れのないように記入してください。（パソコンを使用しても可）

< 1枚目 >

- ① 氏名、フリガナ、性別、生年月日、出願時の年齢を記入し、写真（縦4cm×横3cm、正面上半身、無帽、背景なしのもの）を貼付する。
※写真の大きさが違ったり、本人であることが判別しづらい時は、再提出していただく場合がある。

- ② 出願資格に該当する学歴となる学校名、学部・学科、研究科・専攻名と在学期間を記入し、卒業（見込）・修了（見込）に○をつける。

- ③ 現職もしくは最終職歴となる勤務先名・部署・職位と在籍期間を記入する（職歴がない場合は未記入）。

- ④ 本学卒業（見込）者・修了（見込）者、本学教職員、本学附属・関連施設勤務（予定）者、本学関連大学・専門学校※卒業（見込）者は、該当するチェック欄にチェックを入れる。

※本学関連大学・専門学校：福岡国際医療福祉大学、国際医療福祉大学塩谷看護専門学校、柳川リハビリテーション学院、福岡国際医療福祉学院、大川看護福祉専門学校、福岡医療経営学院
・本学卒業（見込）者・修了（見込）者は、大学在籍時の学籍番号も記入すること。
・2枚目の履歴欄にも、その旨を必ず記入すること。

- ⑤ 入試日程連絡先および受験票等を必ず受領できる送付先の住所等を記入する。
・受験票や合格通知は、原則としてこの住所に郵送する。
・本学からの連絡は主にメールで行います。電話番号やE-mailは、必ず連絡がとれ、日常的に使用しているものを正確に記入すること。
（ハイフン、アンダーバー等分かりやすく記入）

- ⑥ 志望する専攻・分野の該当する課程欄（修士もしくは博士）に○を記入する。

- ⑦ 志望する領域名・コース名を記入する。
・修士課程 臨床心理学専攻は記入不要。
・コースのない分野・領域は未記入で可。
・以下の分野・領域の志願者は、「コース名」欄にコース名を必ず記入。


看護学分野（感染管理・感染看護学領域、精神看護学領域、在宅看護学領域、公衆衛生看護学領域）、助産学分野、福祉支援工学分野、放射線・情報科学分野、臨床検査学分野、医療福祉教育・管理分野、医療経営管理分野、診療情報アナリスト養成分野、医療通訳・国際医療マネジメント分野

- ⑧ 事前相談の上、選定した研究指導教員（予定）の氏名を記入する（必須）。
・修士課程 臨床心理学専攻は記入不要。

- ⑨ 研究指導教員（予定）以外に事前相談を行った教員がいる場合、その教員の氏名を記入する。

【記入例（1枚目）】

※記入例は、修士課程 助産学分野 助産学領域 実践（有資格者）コースの場合

2026年度		国際医療福祉大学 大学院 志願票		*大学院使用欄（記入不要）	
フリガナ			コクフク ハナコ		性別
①	氏名	国福 花子		男・ <input checked="" type="radio"/> 女	
	生年月日	西暦 1980年 4月 19日	年齢（出願時）	45才	
②	出願資格に該当する学歴	学校名	国際医療福祉大学		
		学部・学科	保健学部 看護学科		
		在学期間	西暦 2002年 4月 ~ 2006年 3月	<input checked="" type="radio"/> 卒業	<input type="radio"/> 卒業見込
		勤務先名・部署・職位	国際医療福祉大学病院 看護部		
③	最終職歴	在籍期間	西暦 2020年 10月 ~	年 月	<input type="radio"/> 退職
					<input checked="" type="radio"/> 在職中
④	※該当者のみチェック	<input checked="" type="checkbox"/> 本学卒業（見込）・修了（見込）者	本学在籍時の学籍番号		9711001
		<input type="checkbox"/> 本学教職員、本学附属・関連施設勤務（予定）者	<input type="checkbox"/> 本学関連大学・専門学校卒業（見込）者		
⑤	現住所 （入試日程連絡先・受験票等の送付先） ※正確に記入すること	〒 324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1			
		TEL: 0287 - 24 - 3200		携帯電話: 090 - 1234 - 5678	
		E-mail: kokuhuku-hanako @ iuhw.ac.jp			
	専攻・分野	修士	博士	専攻・分野	修士
		【保健医療学専攻】		【医療福祉経営専攻】	
	看護学			医療経営管理	
	特定行為看護師養成			診療情報アナリスト養成	
	助産学	<input checked="" type="radio"/>		先進的ケア・ネットワーク開発研究	
	理学療法			医療福祉学	
	作業療法			医療福祉ジャーナリズム	
	言語聴覚			医療通訳・国際医療マネジメント	
	視機能療法				
	福祉支援工学				
	リハビリテーション学				
	放射線・情報科学				
	生殖補助医療胚培養				
	医療福祉教育・管理				
	臨床検査学				
	災害医療				
	遺伝カウンセリング				
	医療機器イノベーション				
	医療遠征学				
	医療福祉経営学				
	診療情報管理・分析学				
	先進的ケア・ネットワーク開発研究				
	医療福祉学				
	医療福祉ジャーナリズム				
	臨床心理学				
	領域名			助産学	
	コース			実践（有資格者）	
⑧	研究指導教員（予定）	国際福子先生		その他事前相談教員	
⑩	授業の主たる受講地	1. 東京赤坂 2. 成田 ③ 大田原 4. 小田原 5. 熱海 6. 福岡 7. 大川			
⑪	入試区分	1. 一般入試 2. 社会人入試 ③ 学内推薦入試 4. 留学生入試			
⑫	出願資格	① 募集要項の出願資格①~③または④~⑥を記入すること ※出願資格審査申請（有・無）			
⑬	医療・保健・福祉および語学に 関係する 取得免許・資格	名称	看護師	名称	助産師
		取得年月	西暦 2006年 3月 取得	取得年月	西暦 2015年 3月 取得
		名称	TOEIC 540点		取得年月
					西暦 2020年 5月 取得

電話番号/E-mailアドレスは、入試日程調整等に使用しますので必ず連絡がとれるものを正確にご記入ください。

- ⑩ 入学後の受講希望地を1つ選択し、○で囲む。

- ⑪ 出願する入試区分の番号を1つ選択し、○で囲む。

- ⑫ 各分野の該当する出願資格の番号をカッコ内に記入する。

・募集要項の出願資格から、該当する出願資格①~⑥または④~⑥の番号を記入。
※出願資格審査を申請する者は、「有」に○を付け、必ず「出願資格審査申請書」（本学所定の用紙「様式4-1」または「様式4-2」）と必要書類を提出すること。
・大学院への出願資格を有する者は、出願資格審査申請欄の「無」に○を付けること。

- ⑬ 医療・保健・福祉および語学に関する取得免許や資格の名称・試験スコアと取得年月を記入する。

志願票等の記入方法（志願票）

◎履歴に半年以上の不明の期間があると、受理できませんので、期間に空きのないようにすべてを記入してください。

【記入例（2枚目）】

	フリガナ	コクフク ハナコ	様式 1
⑭	氏 名	国 福 花 子	*大学院使用欄（記入不要） 受験番号 *

注意事項

- 高等学校入学以後からの履歴を記入してください。
- 外国籍の者は、小学校入学以後の履歴から記入してください（日本語学校は学歴欄、兵役期間は職歴・活動歴欄に記入）。
- それぞれの履歴については、卒業（見込）、修了（見込）、転学、転入学、中退、退職、在籍等の状況を明確に記入してください。
- 職歴欄には勤務先名、部署、職位を記入してください。
- 本学教職員、本学附属・関連施設勤務予定の者は、勤務先名を記入してください。新卒等で勤務先が未定の場合は、「本学教職員、本学附属・関連施設勤務予定」と記入してください。
- 浪人（学備校または自宅学習）、無職、アルバイト等の期間も記入してください。
- 履歴に半年以上、不明の期間がないように記入してください。履歴に半年以上の不明の期間があると、受理できません。
- 学歴・職歴・活動歴欄が足りない場合は、あらかじめこの用紙をコピーして使用するか、A4サイズの任意の用紙で作成し、添付してください。
- 期間はすべて西暦で記入してください。

履 歴		
	期 間（西暦）	学 校 名 ・ 会 社 名 ・ 職 位 等
⑮ 学 歴	1996年 4月 ~ 1999年 3月	栃木県立国福高等学校 卒業
	1999年 4月 ~ 2000年 3月	国福予備校 大田原校にて受験勉強
	2000年 4月 ~ 2000年 12月	栃ノ木専門学校 看護学科 中退
	2002年 4月 ~ 2006年 3月	国際医療福祉大学 保健学部 看護学科 卒業
	2014年 4月 ~ 2015年 3月	青山看護専門学校 看護学科 助産コース 卒業
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
⑯ 職 歴 ・ 活 動 歴 等	2001年 1月 ~ 2002年 3月	アルバイト・受験勉強
	2006年 4月 ~ 2012年 3月	マロニエ総合病院 看護部
	2012年 4月 ~ 2014年 3月	青年海外協力隊にてボリビア国に派遣
	2015年 4月 ~ 2017年 6月	青山クリニック（助産師）
	2017年 7月 ~ 2020年 9月	専業主婦
	2020年 10月 ~ 年 月	国際医療福祉大学病院 看護部（助産師）在職中
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	
	年 月 ~ 年 月	

< 2枚目 >

⑭ 氏名、フリガナを記入する。

⑮ 高等学校入学以後からの学歴を記入する。

- ・それぞれの履歴については、卒業（見込）・修了（見込）・転学・転入学・中退等の状況を明確に記入すること。
例：〇〇大学 中退
- ・自宅学習・浪人等の期間も含め、期間に半年以上の空きがないように記入すること。
- ・欄が足りない場合は、あらかじめ志願票の2枚目をコピーして使用するか、A4サイズの任意の用紙で作成し、添付すること。

⑯ 職歴（アルバイト含む）・活動歴等を記入する。

- ・勤務先名、部署、職位も記入すること。
- ・出願時点で勤務先が退職・変更になる予定がある場合は、現在の勤務先のうしろに退職予定と記入し、新しい勤務先が決まっている場合は勤務開始予定年月、勤務予定先を記入すること。
- ・本学教職員、本学附属・関連施設勤務予定の者は、勤務先等を記入。勤務先が未定の場合には、「本学教職員、本学附属・関連施設勤務予定」と記入すること。
- ・海外での活動歴も、詳しく記入すること。
- ・無職等の期間も含め、期間に半年以上の空きがないように記入すること。
- ・欄が足りない場合は、あらかじめ志願票の2枚目をコピーして使用するか、A4サイズの任意の用紙で作成し、添付すること。

〈外国籍を有する者の場合〉

上記の注意事項に加えて、以下も確認してください。

- ⑮ 小学校入学を含む全学歴を正確に記入すること（日本語学校を含む）。
- ⑯ 兵役期間や海外渡航準備期間も含め記入すること。

共通事項 ▶ 志願票等の記入方法（留学生個人票）

下記の手順に従って記入してください。
記入は全て黒のペンまたはボールペンを使用し、日本語で明確に記入してください。

日本国外在住の留学希望者が海外から出願書類を郵送する場合は、出願前に必ず東京赤坂キャンパス入試事務室に連絡してください。

【記入例】

① 志望する課程・専攻の番号に○をし、志望分野・領域名を記入する。
※分野・領域がない専攻の場合は、分野・領域欄は未記入で可

② 性別、国籍を記入する。

③ 氏名をアルファベットでの表記（パスポート上での表記にて大文字で記入）、カタカナでの表記、漢字での表記（漢字名がある場合のみ）で記入する。

④ 日本国内に在住する外国籍の者は現在の在留資格を記入する。
※在留資格および在留期間が確認できるものを提出すること。

⑤ 出身国での連絡先となる保護者の氏名・フリガナ、志願者本人との続柄、住所・電話番号を記入する。

⑥ 日本における連絡先となる者の氏名・フリガナ、志願者本人との関係、住所・電話番号、勤務先名称、勤務先住所・電話番号を記入する。

⑦ 日本での学生生活を送るにあたり、志願者本人の学費および生活費を負担する者の氏名・フリガナ、志願者本人との関係、住所・電話番号、勤務先名称、勤務先住所・電話番号を必ず記入する。
※学費および生活費負担者に自筆の署名をしてもらうこと。
※受験者本人が負担する場合は、受験者本人が署名すること。

⑧ 家族の氏名（カタカナ）、続柄、年齢、職業を記入する。

2026年度 国際医療福祉大学大学院		様式2			
		* 大学院使用欄（記入不要）			
		受験番号	*		
留学生個人票					
※留学生は日本語で記入の上、必ず提出のこと					
①	課程・専攻 分野・領域	1. 修士課程 保健医療学専攻 ② 2. 修士課程 医療福祉経営専攻 3. 修士課程 臨床心理学専攻 4. 博士課程 保健医療学専攻 5. 修士課程 生命薬科学専攻 6. 博士課程 医療・生命薬学専攻	医療通訳・国際医療マネジメント 分野 性別 男 医療通訳・国際医療マネジメント 1年修了コース（英語） 領域 国籍 中国		
③	氏名	姓 (FAMILY NAME) ※パスポート上での表記にて大文字で記入	名 (FIRST NAME, MIDDLE NAME)		
		LI	ZHIMING		
		リ 李	シメイ 志明		
④	現在の在留資格（国内在住者のみ） ※該当するものを○で囲む	留学・就労・短期滞在・その他（ ）			
【保護者】					
⑤	フリガナ 氏名	リ ショウ 李 翔 続柄（ 父 ）	〒 3000000 住所 中国 福建省福州市△△区00号 TEL: 86 - XXXX - 0000000		
【日本国内の緊急連絡先】					
⑥	フリガナ 氏名	コップク タロウ 国福 太郎 志願者との関係（ 知人 ）	〒 324-0000 住所 栃木県大田原市〇〇町1234 TEL: 0287 - 24 - 0000		
	勤務先	株式会社△△商事	〒 324-9999 勤務先住所 栃木県宇都宮市××町9876 TEL: 028 - 123 - 0000		
【学費および生活費負担者】 ※志願者本人が負担する場合は、志願者本人が署名してください。					
⑦	フリガナ 氏名	リ ショウ 李 翔 志願者との関係（ 父 ）	〒 3000000 住所 中国 福建省福州市△△区00号 TEL: 86 - XXXX - 0000000		
	勤務先	△△△有限公司	〒 3000000 勤務先住所 中国 福建省福州市××区00号 TEL: 86 - △△△ - XXXXXX		
上記志願者が貴大学院に入学した際は、学費および生活費等について私が責任を持って負担します。					
氏名 李 翔					
【家族状況】					
⑧	氏名（カタカナ）	続柄	年齢	職業	備考
	リ ショウ	父	55	会社員	△△△有限公司 勤務
	カク フェイ	母	48	主婦	

《入学・卒業年度 早見表》

生年月日				年齢 (満)	高校		4年制大学		生年月日				年齢 (満)	高校		4年制大学	
					入学	卒業	入学	卒業						入学	卒業	入学	卒業
平成15年 2003年	4月2日～	平成16年 2004年	4月1日	22歳	平成31 2019	令和4 2022	令和4 2022	令和8 2026	昭和49年 1974年	4月2日～	昭和50年 1975年	4月1日	51歳	平成2 1990	平成5 1993	平成5 1993	平成9 1997
平成14年 2002年	4月2日～	平成15年 2003年	4月1日	23歳	平成30 2018	令和3 2021	令和3 2021	令和7 2025	昭和48年 1973年	4月2日～	昭和49年 1974年	4月1日	52歳	平成元 1989	平成4 1992	平成4 1992	平成8 1996
平成13年 2001年	4月2日～	平成14年 2002年	4月1日	24歳	平成29 2017	令和2 2020	令和2 2020	令和6 2024	昭和47年 1972年	4月2日～	昭和48年 1973年	4月1日	53歳	昭和63 1988	平成3 1991	平成3 1991	平成7 1995
平成12年 2000年	4月2日～	平成13年 2001年	4月1日	25歳	平成28 2016	平成31 2019	平成31 2019	令和5 2023	昭和46年 1971年	4月2日～	昭和47年 1972年	4月1日	54歳	昭和62 1987	平成2 1990	平成2 1990	平成6 1994
平成11年 1999年	4月2日～	平成12年 2000年	4月1日	26歳	平成27 2015	平成30 2018	平成30 2018	令和4 2022	昭和45年 1970年	4月2日～	昭和46年 1971年	4月1日	55歳	昭和61 1986	平成元 1989	平成元 1989	平成5 1993
平成10年 1998年	4月2日～	平成11年 1999年	4月1日	27歳	平成26 2014	平成29 2017	平成29 2017	令和3 2021	昭和44年 1969年	4月2日～	昭和45年 1970年	4月1日	56歳	昭和60 1985	昭和63 1988	昭和63 1988	平成4 1992
平成9年 1997年	4月2日～	平成10年 1998年	4月1日	28歳	平成25 2013	平成28 2016	平成28 2016	令和2 2020	昭和43年 1968年	4月2日～	昭和44年 1969年	4月1日	57歳	昭和59 1984	昭和62 1987	昭和62 1987	平成3 1991
平成8年 1996年	4月2日～	平成9年 1997年	4月1日	29歳	平成24 2012	平成27 2015	平成27 2015	平成31 2019	昭和42年 1967年	4月2日～	昭和43年 1968年	4月1日	58歳	昭和58 1983	昭和61 1986	昭和61 1986	平成2 1990
平成7年 1995年	4月2日～	平成8年 1996年	4月1日	30歳	平成23 2011	平成26 2014	平成26 2014	平成30 2018	昭和41年 1966年	4月2日～	昭和42年 1967年	4月1日	59歳	昭和57 1982	昭和60 1985	昭和60 1985	平成元 1989
平成6年 1994年	4月2日～	平成7年 1995年	4月1日	31歳	平成22 2010	平成25 2013	平成25 2013	平成29 2017	昭和40年 1965年	4月2日～	昭和41年 1966年	4月1日	60歳	昭和56 1981	昭和59 1984	昭和59 1984	昭和63 1988
平成5年 1993年	4月2日～	平成6年 1994年	4月1日	32歳	平成21 2009	平成24 2012	平成24 2012	平成28 2016	昭和39年 1964年	4月2日～	昭和40年 1965年	4月1日	61歳	昭和55 1980	昭和58 1983	昭和58 1983	昭和62 1987
平成4年 1992年	4月2日～	平成5年 1993年	4月1日	33歳	平成20 2008	平成23 2011	平成23 2011	平成27 2015	昭和38年 1963年	4月2日～	昭和39年 1964年	4月1日	62歳	昭和54 1979	昭和57 1982	昭和57 1982	昭和61 1986
平成3年 1991年	4月2日～	平成4年 1992年	4月1日	34歳	平成19 2007	平成22 2010	平成22 2010	平成26 2014	昭和37年 1962年	4月2日～	昭和38年 1963年	4月1日	63歳	昭和53 1978	昭和56 1981	昭和56 1981	昭和60 1985
平成2年 1990年	4月2日～	平成3年 1991年	4月1日	35歳	平成18 2006	平成21 2009	平成21 2009	平成25 2013	昭和36年 1961年	4月2日～	昭和37年 1962年	4月1日	64歳	昭和52 1977	昭和55 1980	昭和55 1980	昭和59 1984
平成元年 1989年	4月2日～	平成2年 1990年	4月1日	36歳	平成17 2005	平成20 2008	平成20 2008	平成24 2012	昭和35年 1960年	4月2日～	昭和36年 1961年	4月1日	65歳	昭和51 1976	昭和54 1979	昭和54 1979	昭和58 1983
昭和63年 1988年	4月2日～	平成元年 1989年	4月1日	37歳	平成16 2004	平成19 2007	平成19 2007	平成23 2011	昭和34年 1959年	4月2日～	昭和35年 1960年	4月1日	66歳	昭和50 1975	昭和53 1978	昭和53 1978	昭和57 1982
昭和62年 1987年	4月2日～	昭和63年 1988年	4月1日	38歳	平成15 2003	平成18 2006	平成18 2006	平成22 2010	昭和33年 1958年	4月2日～	昭和34年 1959年	4月1日	67歳	昭和49 1974	昭和52 1977	昭和52 1977	昭和56 1981
昭和61年 1986年	4月2日～	昭和62年 1987年	4月1日	39歳	平成14 2002	平成17 2005	平成17 2005	平成21 2009	昭和32年 1957年	4月2日～	昭和33年 1958年	4月1日	68歳	昭和48 1973	昭和51 1976	昭和51 1976	昭和55 1980
昭和60年 1985年	4月2日～	昭和61年 1986年	4月1日	40歳	平成13 2001	平成16 2004	平成16 2004	平成20 2008	昭和31年 1956年	4月2日～	昭和32年 1957年	4月1日	69歳	昭和47 1972	昭和50 1975	昭和50 1975	昭和54 1979
昭和59年 1984年	4月2日～	昭和60年 1985年	4月1日	41歳	平成12 2000	平成15 2003	平成15 2003	平成19 2007	昭和30年 1955年	4月2日～	昭和31年 1956年	4月1日	70歳	昭和46 1971	昭和49 1974	昭和49 1974	昭和53 1978
昭和58年 1983年	4月2日～	昭和59年 1984年	4月1日	42歳	平成11 1999	平成14 2002	平成14 2002	平成18 2006	昭和29年 1954年	4月2日～	昭和30年 1955年	4月1日	71歳	昭和45 1970	昭和48 1973	昭和48 1973	昭和52 1977
昭和57年 1982年	4月2日～	昭和58年 1983年	4月1日	43歳	平成10 1998	平成13 2001	平成13 2001	平成17 2005	昭和28年 1953年	4月2日～	昭和29年 1954年	4月1日	72歳	昭和44 1969	昭和47 1972	昭和47 1972	昭和51 1976
昭和56年 1981年	4月2日～	昭和57年 1982年	4月1日	44歳	平成9 1997	平成12 2000	平成12 2000	平成16 2004	昭和27年 1952年	4月2日～	昭和28年 1953年	4月1日	73歳	昭和43 1968	昭和46 1971	昭和46 1971	昭和50 1975
昭和55年 1980年	4月2日～	昭和56年 1981年	4月1日	45歳	平成8 1996	平成11 1999	平成11 1999	平成15 2003	昭和26年 1951年	4月2日～	昭和27年 1952年	4月1日	74歳	昭和42 1967	昭和45 1970	昭和45 1970	昭和49 1974
昭和54年 1979年	4月2日～	昭和55年 1980年	4月1日	46歳	平成7 1995	平成10 1998	平成10 1998	平成14 2002	昭和25年 1950年	4月2日～	昭和26年 1951年	4月1日	75歳	昭和41 1966	昭和44 1969	昭和44 1969	昭和48 1973
昭和53年 1978年	4月2日～	昭和54年 1979年	4月1日	47歳	平成6 1994	平成9 1997	平成9 1997	平成13 2001	昭和24年 1949年	4月2日～	昭和25年 1950年	4月1日	76歳	昭和40 1965	昭和43 1968	昭和43 1968	昭和47 1972
昭和52年 1977年	4月2日～	昭和53年 1978年	4月1日	48歳	平成5 1993	平成8 1996	平成8 1996	平成12 2000	昭和23年 1948年	4月2日～	昭和24年 1949年	4月1日	77歳	昭和39 1964	昭和42 1967	昭和42 1967	昭和46 1971
昭和51年 1976年	4月2日～	昭和52年 1977年	4月1日	49歳	平成4 1992	平成7 1995	平成7 1995	平成11 1999	昭和22年 1947年	4月2日～	昭和23年 1948年	4月1日	78歳	昭和38 1963	昭和41 1966	昭和41 1966	昭和45 1970
昭和50年 1975年	4月2日～	昭和51年 1976年	4月1日	50歳	平成3 1991	平成6 1994	平成6 1994	平成10 1998	昭和21年 1946年	4月2日～	昭和22年 1947年	4月1日	79歳	昭和37 1962	昭和40 1965	昭和40 1965	昭和44 1969



国際医療福祉大学大学院

入試に関するお問い合わせ：
東京赤坂キャンパス入試事務室
TEL. 03-5574-3903 FAX. 03-5574-3901
E-mail daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

大学院各キャンパス連絡先

- <栃木県> 大田原キャンパス
〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1
TEL. 0287-24-3729 FAX. 0287-20-2059
- <千葉県> 成田キャンパス
〒286-8686 千葉県成田市公津の杜4-3
TEL. 0476-20-7703 FAX. 0476-28-1159
- <東京都> 東京赤坂キャンパス
〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26
TEL. 03-5574-3900 FAX. 03-5574-3901
- <神奈川県> 小田原キャンパス
〒250-8588 神奈川県小田原市城山1-2-25
TEL. 0465-21-6500 FAX. 0465-21-6501
- <静岡県> 熱海キャンパス
〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町13-1
国際医療福祉大学熱海病院内
●大学院事務室直通
TEL. 0557-81-9197
●病院代表
TEL. 0557-81-9171 FAX. 0557-83-6632
- <福岡県> 福岡キャンパス
〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-4-16
TEL. 092-407-0434 FAX. 092-407-0474
- <福岡県> 大川キャンパス
〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1
TEL. 0944-89-2018 FAX. 0944-89-2001

ホームページ <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>